

|      |   |
|------|---|
| 新刊案内 | 2 |
|------|---|

## ジャンル別書籍紹介

|                   |    |
|-------------------|----|
| 研究書（国語・日本語・他）     | 9  |
| （上代）              | 9  |
| （中古）              | 13 |
| （中世）              | 19 |
| （近世）              | 22 |
| （近代）              | 23 |
| 教科書               | 25 |
| （上代）              | 26 |
| （中古）              | 27 |
| （中世）              | 30 |
| （近世）              | 32 |
| （近代・現代・日本語・教育・言語） | 33 |
| 一般書（上代）           | 34 |
| （中古）              | 35 |
| （中世）              | 38 |
| （近世）              | 41 |
| （近代・現代）           | 44 |
| （文学・文化全般）         | 48 |

## シリーズ別書籍紹介

|               |    |
|---------------|----|
| 新典社研究叢書       | 54 |
| 古代中世文学論考      | 62 |
| 和歌文学注釈叢書      | 63 |
| 新典社注釈叢書       | 63 |
| 青表紙本 源氏物語     | 63 |
| 影印本シリーズ       | 64 |
| 影印校注古典叢書      | 65 |
| 新典社校注叢書       | 66 |
| 大妻文庫          | 66 |
| 活字本 教科書       | 66 |
| 単行本（研究書・資料・他） | 67 |
| 日本の作家         | 67 |
| 女性作家評伝シリーズ    | 68 |
| 新典社選書         | 68 |
| 新典社新書         | 70 |
| 一般単行本         | 72 |

|          |    |
|----------|----|
| 書名索引     | 74 |
| 著者・编者索引  | 82 |
| 新典社常備店一覧 | 87 |

# 新典社 図書出版目録 2020



古代中世文学論考 第39集 古代中世文学論考刊行会 編

「兎道のみやこ」考 土佐秀里／藤花礼讃 坪美奈子／『枕草子』「大進生昌が家に」章段における「于定国がこと」 佐藤有貴／『源氏物語』における例外的「きよら／きよげ」の一考察 深田弥生／架蔵『源氏物語』帯木巻断簡について 仁平道明／『中納言俊忠卿集』の構想 穴井潤／中世文学における「蘇迷廬」と「孝」 趙秀全

ISBN978-4-7879-3539-7 A5判上製 288頁 6100円



古代中世文学論考 第40集 古代中世文学論考刊行会 編

『日本書紀』における思邦歌の位置づけ 小野諒巳／『源氏物語』真木柱巻の「見はつ」 篁尾知佳／皇女たちの懊悩と後悔の貴公子 前川暁／加賀文庫蔵写本『方丈記流水抄』考 岡山高博／センチュリー文化財団蔵(斯道文庫寄託)本からみる『平治物語絵巻』「六波羅合戦巻」の展開 滝澤みか／自己表象としての雁 草野勝／諏訪市博物館蔵『諏訪講之式』解題・翻刻・影印 間枝遼太郎／松井幸隆編『三玉和歌集類題』の撰集資料の調査報告 三村晃功／『天正二十年 聚楽第行幸記』解題・翻刻 竹内洪介

ISBN978-4-7879-3540-3 A5判上製 320頁 6400円

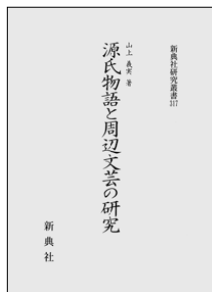


王朝物語の表現生成 —— 源氏物語と周辺の文学

末澤明子 著

I 物語と和歌 和歌の解釈／引歌放1・2／幻巻の哀傷と述懐／他／II 物語に於ける見ること・聞くこと 物語の主人公／物語に於ける「声」の問題／『狭衣物語』の「声」／他／III 品々の狭間の物語 明石君をめぐる用語について／「なかなか」に関する異同と明石君／大堰山荘の強飯／『源氏物語』に於ける「うるはし」と梗概書／他／IV 『源氏物語』の飾りと隔て 『源氏物語』の中の屏風をめぐる／水辺の追憶／『源氏物語』のガラス／他

新典社研究叢書315 ISBN978-4-7879-4315-6 A5判上製 480頁 14000円

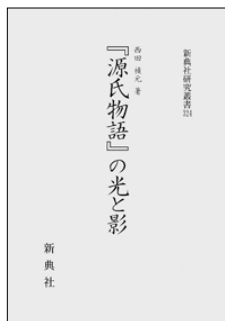


源氏物語と周辺文芸の研究

山上義実 著

第一章 『源氏物語』の主題と構想 『源氏物語』の構想に関する考察／『源氏物語』の世界／王朝時代における愛のかたち／第二章 『源氏物語』に関する諸論 式部卿宮に関する試論／朱雀院の人物像／夕霧の物語に関する試論／夕霧の巻の本文解釈をめぐる／幻の巻における光源氏像をめぐる／他／第三章 周辺文芸に関する諸論 『伊勢物語』における女性たち／『和泉式部日記』における仏教／『和泉式部日記』における自然／他

新典社研究叢書317 ISBN978-4-7879-4317-0 A5判上製 400頁 11600円

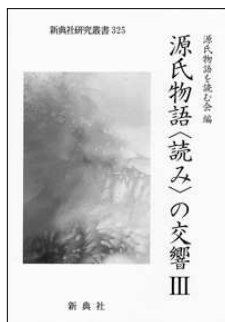


## 『源氏物語』の光と影

西田禎元 著

第一編 主題と構想 愛と求道の物語／罪と出家／相聞譚の主人公たち／挽歌の主人公たち／第二編 詠歌の構造 「紫上系」物語の詠歌／「玉鬘系」物語の詠歌／物語第二部の詠歌／「宇治十帖」物語の詠歌／第三編 素材と典拠 主人公たちの物語と中国の故事～男性編・女性編～／『白氏文集』『新楽府』をめぐる／第四編 享受と影響 『無名草子』の『源氏物語』論／『伊勢源氏十二番女合』考／上田秋成の「秋山記」／与謝野晶子の「源氏物語礼讃」歌

新典社研究叢書324 ISBN978-4-7879-4324-8 A5判上製 496頁 14800円



## 源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ 源氏物語を読む会 編

I ことば・表現との交響／II 物語史との交響／III 和歌・漢詩文との交響／IV 神話・歴史との交響／V 文化・思想との交響

(執筆者：室城秀之・松山典正・松本美耶・竹田由花子・武藤那賀子・富澤萌未・池田大輔・落谷雄輝・伊勢光・毛利香奈子・八島由香・張培華・草場英智・布村浩一・佐藤信一・三村友希・笹生美貴子・池間里代子・館入靖枝・本橋裕美・中村成里・桜井宏徳・小笠原愛子・青木慎一・阿部好臣)

新典社研究叢書325 ISBN978-4-7879-4325-5 A5判上製 736頁 21400円



## 和泉式部の方法試論

久保木寿子 著

I 和泉式部歌集論 和泉式部の詠歌方法／和泉式部和歌の表現／II 『和泉式部日記』論 『和泉式部日記』と和歌／追懐の方法／III 初期定数歌論 和泉式部の詠歌環境／初期定数歌の成立と展開／男性百首から女性百首へ／初期定数歌の歌ことば

＊和泉式部の情感豊かな歌が同時に示す、客観表現への志向。そこから和泉式部の詠作における方法意識を見出し、再評価を図る。

新典社研究叢書319 ISBN978-4-7879-4319-4 A5判上製 616頁 18000円

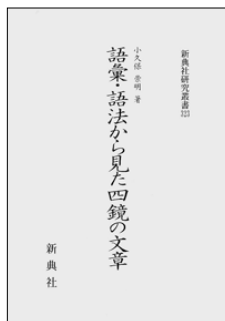


## 『夜の寝覚』から読む物語文学史

伊勢光 著

第一章 『夜の寝覚』を読む ヒロイン「中の君」という呼称／対の君論（上・下）／『夜の寝覚』の構造／第二章 『夜の寝覚』に影響を与えた物語 『住吉物語』『継母』による騙し／『落窪物語』あこきの役割／『うつほ物語』朱雀帝の葛藤／『源氏物語』『尚侍』であるということ／第三章 『夜の寝覚』が影響を与えた物語 『とりかへばや物語』苦悩する四の君／『松浦宮物語』華陽公主論／『いはでしのぶ』昔をしのぶ一品宮／『石清水物語』伊予守、木幡姫論

新典社研究叢書318 ISBN978-4-7879-4318-7 A5判上製 400頁 11600円

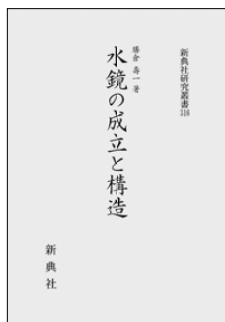


## 語彙・語法から見た四鏡の文章

小久保崇明 著

第一章 四鏡の文章 人称代名詞（自称・対称）／係助詞「なむ」をめぐって／引き歌の手法／「すべらぎ」考／第二章 『増鏡』の注釈「なになし」考／「まろ」考／「たてまつる」考／第三章 『水鏡』の語法 「つけたま口らん」考／付章 専修寺本『水鏡』声点・傍訓総索引／蓬左本『水鏡』傍訓総索引／筆者既発表『大鏡』『水鏡』などの語彙・語法の目次／他

新典社研究叢書 323 ISBN978-4-7879-4323-1 A5判上製 304頁 8700円



## 水鏡の成立と構造

勝倉壽一 著

水鏡における成立の問題／第一章 水鏡の成立と扶桑略記 水鏡「廿八代継体天皇」の問題／水鏡の皇陵名／水鏡の帝紀の記事／水鏡の歴代名／第二章 天皇紀の解釈 水鏡「二代綏靖天皇」の問題／水鏡「十一代垂仁天皇」の解釈／水鏡「十八代履中天皇」の問題／水鏡「廿一代安康天皇」の解釈／水鏡「冊八代廢帝」の解釈／第三章 水鏡と変乱 水鏡の乙巳の変解釈／水鏡の壬申の乱解釈／水鏡の承和の変解釈／第四章 水鏡における評価の問題

新典社研究叢書 316 ISBN978-4-7879-4316-3 A5判上製 352頁 10100円

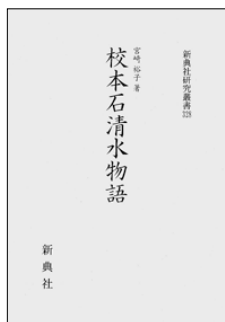


## 民間説話と『宇治拾遺物語』

廣田收 著

序章 文献説話の話型と表現の歴史性／第一章 『風土記』の在地神話と昔話、そして中世説話／第二章 昔話の話型と語り／第三章 昔話と説話分析／第四章 『宇治拾遺物語』孤立話考／第五章 『今昔物語集』との同一説話考／結章 文学史としての『宇治拾遺物語』  
＊宇治拾遺物語は、既存の民間伝承を元に、いかにして独自の新しい「説話」を作り上げたか。話型の比較などを通じて明らかにする。

新典社研究叢書 321 ISBN978-4-7879-4321-7 A5判上製 592頁 17200円



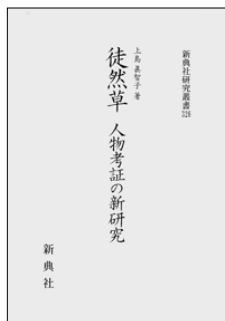
## 校本石清水物語

宮崎裕子 著

はしがき／第一章 伝本研究（『石清水物語』の伝本／底本及び校合本の選定／書誌）／第二章 校本／あとがき

＊擬古物語、或いは中世王朝物語と呼ばれる作り物語の一つ、石清水物語。四系統に分類される諸伝本の中から、主要な一二本を選定し、第一系統に属する静嘉堂文庫蔵本を底本として、全系統を対象に校合する。

新典社研究叢書 328 ISBN978-4-7879-4328-6 A5判上製 688頁 20500円



## 徒然草 人物考証の新研究

上島眞智子 著

第一章 ト部兼好と周縁の人々 207番「これとしの朝臣」と永嘉門院瑞子／第二章 『兼好法師集』65・66番歌と「従二位公世卿状」について／第三章 『徒然草』の元号の暗示と宮廷社会への視線／第四章 関東の記憶——北条時頼と四条家／第五章 個性的な人物描写と絵入版本に描かれた兼好／第六章 『徒然草』の成立論 第一部中絶と第二部再執筆の要因について／第七章 『兼好法師集』の考察  
新典社研究叢書326 ISBN978-4-7879-4326-2 A5判上製 320頁 9300円



## 神仏習合の手法 —— 中世神話から近世神話へ ——

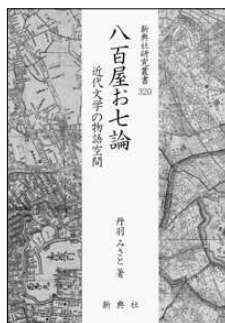
吉田唯 著

第一部 両部神道における愛染明王 東大寺大仏殿内の「両界堂」と伊勢神宮の「両宮」について／『愛染王紹隆記』に記される同体思想について／他／第二部 真宗における神の享受 『諸神本懐集』におけるアマテラス像について／四十八巻本『法然上人行状絵図』における重源の役割について／他／第三部 ホツマ文献における習合思想 ホツマ文献の注釈書における法然と親鸞の神祇記述について／ホツマ文献にみる「都鳥」について  
新典社研究叢書322 ISBN978-4-7879-4322-4 A5判上製 416頁 12100円



## 金時習『金鰲新話』と日本 —— 和刻本と受容 邊恩田 著

第一篇 日本に伝わった『金鰲新話』 金時習と『金鰲新話』／朝鮮刊本『金鰲新話』の旧所蔵者・曲直瀬正琳と蔵書印／第二篇 『金鰲新話』の和刻本 和刻本『金鰲新話』の諸本／和刻本『金鰲新話』版本の特質と成立年代／江戸時代の「書籍目録」に見る和刻本『金鰲新話』／第三篇 『金鰲新話』と日本 紀州藩石橋生庵の『家乗』と朝鮮文学『金鰲新話』／石橋生庵の『家乗』と朝鮮／『剪燈新話句解』考  
新典社研究叢書327 ISBN978-4-7879-4327-9 A5判上製 272頁 8200円



## 八百屋お七論 近代文学の物語空間

丹羽みさと 著

序章 八百屋お七諸作品概説／第一章 山崎紫紅「涙橋」論一場面設定と作劇観／第二章 岡本綺堂「お七」論—観客の視点—／第三章 真山青果「八百屋お七」論 前編—西鶴「匂い」の発見—／第四章 真山青果「八百屋お七」論 後編—近世資料受容の変遷—／第五章 太宰治「哀歌」音について 論—仮託と音響効果—／第六章 江戸川乱歩「押絵と旅する男」論—断片受容と嗜好の重層化—／終章 浸透する八百屋お七／付録 『天和笑文集』の諸本研究  
新典社研究叢書320 ISBN978-4-7879-4320-0 A5判上製 264頁 7700円



## 大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人 辰巳正明 著

I 大伴旅人と大宰府文学——解題／II 名門大伴氏の出自と旅人の経歴／III 大伴旅人の作品を読む／IV 大伴旅人の漢詩／V 大伴旅人とその周辺／VI 大伴旅人の死／VII 附1「烏梅」の歴史／VIII 附2 古代日本元号の根拠一覧（参考資料）

＊新元号の典拠、梅花の宴の主催者である大伴旅人の全作品と関連する人物の作品を読み解き、「令和」を生んだ万葉びとの文学に迫る。

ISBN978-4-7879-7864-6 A5判並製 256頁 2400円



## はじめて学ぶ仏教 インド・中国編 有働智契 著

古代のインド文化／釈尊の生涯（I 釈迦族について／II 誕生と幼少期／III 家庭と出家／IV 成道／V 各国への布教／VI 信者と弟子たち／VII 最後の旅路）／仏典成立と教団の拡散／部派仏教の成立／舍利信仰と仏像の成立／大乘仏教 I・II／中国仏教 I・II

＊インドでの仏教誕生から中国への伝播発展の様子を、僧侶でもある著者が日本の古典・豊富なイラストと共に説く斬新な仏教入門書。

ISBN978-4-7879-7863-9 A5判並製 256頁 1800円



## 入門 平安文学の読み方 保科恵 著

第一講 まずは疑ってみること—古典文学を読むために—／第二講 昔の暦の話—『古今集』はくらぬ集—／第三講 月と干支の話—平安時代のカレンダー—／第四講 地名の話—平安文学のふるさと—／第五講 本文の話—本当にそう読めるのか—／補講 古典だけに留まらないこと—本文をしっかりと読む—

＊一つの注釈書だけを頼りにせず疑問を持つ・句読点や濁点を見直す…等。具体的な本文や例題で古典を自らの力で読むためのガイド。

新典社選書96 ISBN978-4-7879-6846-3 B6判並製 208頁 1500円



## 『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋

—— 朝顔の姫君と夕顔の女君 ——

小澤洋子 著

第一章 平安京における条坊図 一条大路北と五条の辺り／第二章 朝顔の姫君と光源氏／第三章 夕顔の女君と光源氏／第四章 結び

＊源氏物語に登場する女性の中でも対照的な呼称と境遇を持つ姫君、朝顔・夕顔について、作者は植物的特性も踏まえて、どのように描き、物語を構成したのか、本文に即しつつ明らかにする。

新典社選書93 ISBN978-4-7879-6843-2 B6判並製 240頁 1700円



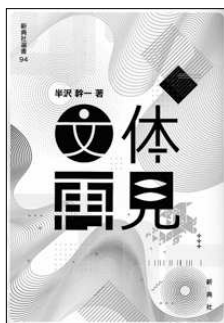
## 続・能のうた —— 能楽師が読み解く遊楽の物語 ——

鈴木啓吾 著

第1章「翁」／第2章「神」（龍田・竹生島・難波・三輪）／第3章「男」（清経・巴・通盛・頼政）／第4章「女」（井筒・采女・千手・羽衣・藤・身延・吉野静）／第5章「狂」（安宅・梅枝・小塩・鉢木・藤戸・放下僧）／第6章「鬼」（熊坂・善界・融・雷電）／第7章「番外」（鈴木三郎重家）

＊能の作者が発想を得た和歌や漢詩をやさしく、ときに大胆に能楽師が解説！ 待望の第二弾は翁、復曲能・鈴木三郎重家を含む全27曲。

新典社選書95 ISBN978-4-7879-6845-6 B6判並製 336頁 2700円



## 文体再見

半沢幹一 著

第1章 文体規定／第2章 文即人也／第3章 役割文体／第4章 文体諸相／第5章 文学文体／第6章 文体模倣／第7章 文体教本

＊「文は人なり」という。この「文」は文体のことであるが、文体とはいったい何か。じつは、専門的にも明確に規定されていないのである。その謎を解く一書。

新典社選書94 ISBN978-4-7879-6844-9 B6判並製 272頁 2000円



## 「令和」から読む万葉集

辰巳正明 著

Ⅰ「梅花の歌」の漢文序とその典拠／Ⅱ「梅花の歌三十二首」を読む／Ⅲ なぜ、「梅花」だったのか？／Ⅳ 旅人と大宰府の文学／Ⅴ 元号と東アジア文化

＊改元は、もとは時代の状況を変える国家的な気分転換だった？ 「令和」の典拠となった万葉集の梅花の宴と主催者大伴旅人、元号の歴史をたどることで、新元号の背景と、改元の意義を明らかにする。

新典社新書78 ISBN978-4-7879-6178-5 新書判並製 128頁 800円



## 平家物語とその周辺 —— 女性たちの物語 ——

濱中修 著

横笛伝承考—法華寺・天野別所—浄瑠璃姫—矢作宿の神話—巴の神話学—

『源平盛衰記』を中心に—／千手前と重衡／建礼門院妙音菩薩考

＊源平の争乱を扱う物語の中で、波乱に満ちた生涯が語られる五人の女性たち。その物語を追うことで、関わりある武将の知られざる一面や中世の人々が女性に抱いていた宗教的幻想をも明らかにする。

新典社新書79 ISBN978-4-7879-6179-2 新書判並製 160頁 1000円



## 新 うたの神話学

福寛美 著

月光／私とワルツを／残酷な天使のテーゼ／魂のルフラン／異邦人—シルクロードのテーマ—／天界／さくら／夏の終わり／ワダツミの木／君ヲ想フ／月のしずく／泪月—oboro—／ナライブサン／ロストレター（K氏へ）

＊名曲・ヒット曲の中には、論理的ではないが、聴く者の印象に残るフレーズがしばしば含まれる。歌詞を神話学的に読み解くことにより、歌が持つ日本の神話的イメージの一端を明らかにする。

ISBN978-4-7879-7926-1 新書判並製 128頁 1100円



## 親と子の人間関係 —— 幼児より青少年まで —— 中田雅敏 著

第一章 幼児期から感性の育成を／第二章 親子の関係性の大切さ／第三章 責任感と自分で考える力／第四章 周囲の働きかけと社会性／第五章 続く「いじめ」はどうすればなくせるのか

＊人間が成長していく過程にあって、親子関係は極めて重要な要素である。望ましい親子関係の作り方や、起こりうる「いじめ」への対処法など、家庭内で親は子にどう向き合うべきかを考える一書。

ISBN978-4-7879-7925-4 新書判並製 176頁 1000円

## ◆◆ 研究書（国語・日本語・他）◆◆

尾崎知光 著

新典社研究叢書 231

### 国語学史の探求

ISBN978-4-7879-4231-9 A5上製 288頁 8200円

半藤英明 著

新典社研究叢書 304

### 日本語基幹構文の研究

ISBN978-4-7879-4304-0 A5上製 248頁 7200円

小松光三 著

### 日本語文法

— 言葉は川の流れるように — 応用編

ISBN978-4-7879-5510-4 A5上製 384頁 11000円

中村幸弘 著

新典社研究叢書 259

### 和歌構文論考

ISBN978-4-7879-4259-3 A5上製 416頁 12000円

竹田晃 編

新典社注釈叢書 23

### 柳宗元古文注釈

— 説・伝・騒・弔 —

ISBN978-4-7879-1523-8 A5上製 512頁 15800円

橋本進吉・時枝誠記の二大文法を取り上げた近代論と、本居宣長・春庭の先行研究に近代以降の国語学史に対する考えをにじませた近世論とから成り、それぞれの新事実を明らかにした好著。

係助詞によって主體的に判断文を作る構文を日本語基幹構文と位置づけ、主語・「取り立て」・題目・「二分結合」などの文法項目を検証しつつ、主観性・客観性の観点から文の諸相を原理的に解き明かす。

基礎編で学んだ〈日本語表現文法〉の原理を応用し、講義形式で多くの用例とともに日本語の文法と表現を学ぶ。待望の応用編が刊行。単語の体系・文法の単位の確認に便利なカード付き。

『万葉集』から八代集に至る頃までの和歌の、いわゆる語法の上から見た問題点や疑問点について、丹念な調査と考察を行い、高校や大学における古典の授業でみられる諸問題の解決を目指す。

中唐期の詩人・文人として古文復興を主唱し「唐宋八大家」の一人にも数えられ中国古典文学史上にその名を留める柳宗元。その文章を精読するための訳注と論考・参考資料を収めた。

## ◆◆ 研究書（上代）◆◆

針原孝之 編

新典社研究叢書 215

### 古代文学の創造と継承

ISBN978-4-7879-4215-9 A5上製 624頁 17800円

佐藤隆 編著

中京大学文化科学叢書 17

### 東海の「道」から見た上代文学

— 東海・東山道を基軸に —

ISBN978-4-7879-5512-8 A5上製 312頁 3900円

小村宏史 著

新典社研究叢書 219

### 古代神話の研究

ISBN978-4-7879-4219-7 A5上製 320頁 9200円

伊藤剣 著

新典社研究叢書 211

### 日本上代の神話伝承

ISBN978-4-7879-4211-1 A5上製 384頁 11000円

家持歌の諸相、万葉歌の発想と技法、平城京の時代と文学者、伝承と儀礼の論理、古代文学の受容と継承。総勢35名の豪華執筆陣が多彩な角度から論じた、文学の創造と継承の軌跡をたどる一書。

東海地方に設けられた二つの官道、東海道・東山道を中心に、各地にまつわる伝承やうた、記録をひもとき、古代の東海地方に生まれた文学・文化の有り様を究明する。

神話は歴史的事実ではないが、現実と無関係なところに生まれる物ではない事も事実である。日本古代の神話記事を考察対象とし、神話テキストの生成にあたって、何が期待されたのか明らかにする。

古代の伝承を考える上では、異伝の研究が不可欠となる。日本上代における神話伝承の形成とその展開を見届けることを目指し、異伝研究から伝承形成過程の論理を見定める。第28回上代文学会賞受賞

|                         |                                        |                                                                                            |
|-------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 松本弘毅 著                  | 新典社研究叢書 217                            | 歴史叙述と伝承（王権の周辺・伝承の形成）古事記の歴史叙述（歴史叙述の方法・ホムツワケの位置・ヤマトタケルの位置）。古事記を中心に歴史の綴られ方、作られ方とはいかなるものかを論じる。 |
| 古事記と歴史叙述                | ISBN978-4-7879-4217-3 A5上製 400頁 11400円 |                                                                                            |
| 藤澤友祥 著                  | 新典社研究叢書 283                            | 従来の形成論や神話論を踏まえながらも、三巻構成の（歴史）書として巧みに編纂された一つの構造体として『古事記』を捉え、その様相を明らかにする、新しい『古事記』の作品論。        |
| 古事記構造論<br>— 大和王権の〈歴史〉 — | ISBN978-4-7879-4283-8 A5上製 256頁 7400円  |                                                                                            |
| 鈴木啓之 著                  | 新典社研究叢書 221                            | 第一部・古事記の文章、第二部・古事記の享受史、第三部・古事記の諸問題。綿密な考証・調査により、神話の文章や、成立と伝承の問題を明らかにする。                     |
| 古事記の文章とその享受             | ISBN978-4-7879-4221-0 A5上製 304頁 8700円  |                                                                                            |
| 山崎かおり 著                 | 新典社研究叢書 249                            | 古事記に登場する八名の「天后」はそれぞれ伝承上重要な位置を占める存在である。日本書紀の「天后」よりも大きな力を持つ後の存在は何故描かれたのか。古事記の特徴的な叙述に注目し追究。   |
| 『古事記』天后伝承の研究            | ISBN978-4-7879-4249-4 A5上製 480頁 14000円 |                                                                                            |
| 尾崎知光 著                  | 新典社研究叢書 286                            | 別天神について、序に記された句についてなど、30年近くにわたって書き続けた古事記に関する論考を一冊にまとめ、資料として本居宣長記念館蔵「古事記雑考」の影印を収めた。         |
| 古事記續考と資料                | ISBN978-4-7879-4286-9 A5上製 224頁 6500円  |                                                                                            |
| 山田純 著                   | 新典社研究叢書 301                            | 『日本書紀』にみえる漢籍を典拠とする表現の数々はどうのような意図で使用されているのか。出典文脈との比較を行い、その表現効果を分析することで、『日本書紀』を文学的に読解する。     |
| 日本書紀典拠論                 | ISBN978-4-7879-4301-9 A5上製 400頁 11800円 |                                                                                            |
| 神田典城 著                  | 新典社研究叢書 273                            | 『古事記』・『日本書紀』・『風土記』について、説話の形成過程・文脈理解と神話の表現・解釈の諸問題に迫り続けてきた著者による、学界待望の一冊。全四部構成からなり、詳細な索引も付した。 |
| 記紀風土記論考                 | ISBN978-4-7879-4273-9 A5上製 480頁 14000円 |                                                                                            |
| 金澤和美 著                  | 新典社研究叢書 237                            | 応神天皇の子ウヂノワキイラツコは、古事記では天皇と同格の表現が用いられるが、日本書紀、万葉集ではそれぞれ異なる描き方をされている。各作品が構築した「古代」の意図を探る。       |
| ウヂノワキイラツコ物語の研究          | ISBN978-4-7879-4237-1 A5上製 208頁 6000円  |                                                                                            |
| 津田大樹 著                  | 新典社研究叢書 287                            | 『万葉集』を中心に、古代和歌における、歌の核となる表現である、心情語・景物・死の表現、地名などをつぶさに確かめ、表現機構が成立する経緯と史的な展開を明らかにする。          |
| 古代和歌表現の機構と展開            | ISBN978-4-7879-4287-6 A5上製 432頁 12400円 |                                                                                            |
| 川上富吉 著                  | 新典社研究叢書 279                            | 聖徳皇子、有間皇子、中大兄皇子、大海人皇子、弓削皇子、額田王、そして大伴家持。著者のライフワークである萬葉歌人たちの伝承ならびに歌に関する研究を一書に集成。             |
| 萬葉歌人の伝記と文芸              | ISBN978-4-7879-4279-1 A5上製 416頁 12000円 |                                                                                            |
| 井上さやか 著                 | 新典社研究叢書 214                            | 長歌という選択／対句への志向／短歌における発想／『万葉集』における赤人歌の位置付け／他。山部赤人が表現した歌からその歌人像を捉える試み。古代和歌と古代における赤人歌を解明する。   |
| 山部赤人と叙景                 | ISBN978-4-7879-4214-2 A5上製 320頁 9200円  |                                                                                            |

古代中世文学論考刊行会 編  
古代中世文学論考

第23集 『うつほ物語』俊蔭一族と宰相の上親子の織りなす血縁の世界 戸田瞳／『枕草子』男は、女親亡くなりて男親の一人ある」の段をめぐる 石垣佳奈子／『源氏物語』草のゆかり考 太田美知子／隠蔽されゆく柏木の個的情念 笹生美貴子／鷹司信房「さころもの哥きゝ書」についての考察 須藤圭／『一条摂政御集』「とよかげ」の部のテーマ設定 堤和博／『とはずがたり』における『源氏物語』の罪意識の受容 古屋明子／『異名分類抄』の基礎的考察 曾根誠一／〔翻刻〕豊嶋要之助筆『高安流 間狂言応答』（一） 飯塚恵理人

ISBN978-4-7879-3523-6 A5上製 288頁 6100円

第24集 神代紀第五段一書第二・第六について 伊藤剣／伝承の形成と歌 松本弘毅／王朝女流文学の隆盛 平沢竜介／『伊勢物語』狩の使章段と日本武尊 本橋裕美／平安貴族社会の「禄」と「被物」 保坂綾／「窓打つ雨の音」を聞く女 加藤和泉／朱雀帝御世の政治と詩 笹川勲／陰陽五行としての音楽 田代幸子／『聖徳太子御意法玄恵註抄』の『燈前夜話』利用についての覚書 野上潤一／入江昌喜『異名分類抄』の増補について（付翻刻） 曾根誠一／〔翻刻〕豊嶋要之助筆『高安流 間狂言応答』（二） 飯塚恵理人

ISBN978-4-7879-3524-3 A5上製 320頁 6400円

第25集 『枕草子』と「結縁八講」 園山千里／藤原公信考 東望歩／『源氏物語』と『枕草子』の〈七夕〉 坪美奈子／傘をさす光源氏 岩原真代／『源氏物語』手習巻の浮舟の〈老い〉と官能性 中西智子／「歌菩薩」と和歌 本多潤子／和歌曼陀羅の世界 三村晃功／『太平記鈔』・『徒然草寿命院抄』と『謡抄』 野上潤一／文明本『節用集』と『燈前夜話』 野上潤一／〔翻刻〕豊嶋要之助筆『高安流 間狂言応答』（三） 飯塚恵理人

ISBN978-4-7879-3525-0 A5上製 320頁 6400円

第26集 下巻の臣下の諸相 藤澤友祥／在原業平の和歌 坪美奈子／〈あの日の未来〉の作り方 津島知明／若菜〈上巻〉論 中井賢一／『源氏物語』における女房「中将」 千野裕子／『源氏物語』の浮舟 塩見優／〈三日の儀式〉考 江波曜子／「狭衣三箇秘訣切紙」の方法 須藤圭／『管絃音義』の構成要素および成立における諸問題 田代幸子／『新続歌仙』撰者考 佐藤智広／一条兼良『代始和抄』の享受と清原宣賢『日本書紀抄』断章 野上潤一

ISBN978-4-7879-3526-7 A5上製 368頁 7300円

第27集 「みやび」と「風流」の間隙 池原陽斉／亀裂に巣食う〈花山院〉 津島知明／「御なからひなめり」考 畠山瑞樹／『源氏物語』宿木巻の中君 櫻井清華／江侍伝再考 諸井彩子／『狭衣物語』女二宮密通譚の表現意図 岡田貴憲／歴史を仮名文で「書く」ということ 桜井安德／八帖本平家物語の周辺 谷口耕一／定数歌概観 中尾彰男

ISBN978-4-7879-3527-4 A5上製 320頁 6400円

第28集 「笑い」論の展開と文学における笑いの領域 金小英／『孝経』に関わる平安漢詩 趙秀全／雪山の記憶 坪美奈子／寛元本『和泉式部日記』と『和泉式部正集』E歌群日記歌について 渦巻恵／「手」の相承 武藤那賀子／『源氏物語』の柑子 荻田みどり／『源氏物語』において「かろがろし」という言葉が果たした役割 吉村研一／建久期九条家歌壇における和歌表現について 大野順子／『石清水物語』における『夜の寝覚』の影響 伊勢光

ISBN978-4-7879-3528-1 A5上製 288頁 6100円

第29集 稲舂歌考 金井由貴子／『うつほ物語』俊蔭巻にみる「孝」 趙秀全／『蜻蛉日記』中巻における蛇の夢 石田莉奈／『蜻蛉日記』下巻「養女求婚記事」における手紙 庄司敏子／『和泉式部物語』紅葉狩り記事試論 岡田貴憲／〈記憶〉を担う藤原齊信 津島知明／方法としての夢 山本佳苗／藤原頼通文化世界における『枕草子』摂取の二様相 和田律子／「このついで」本文改訂試案 松本裕喜／題詠における後朝 長谷川美奈／藤原清輔の内昇殿 芦田耕一／鷹首首「たかやまに」類伝本考 大坪舞

ISBN978-4-7879-3529-8 A5上製 320頁 6400円

第30集 『萬葉集』伝来史上における『赤人集』の位置 池原陽斉／『本朝編年録』『本朝通鑑』と『懷風藻』 土佐朋子／『源氏物語』の「致仕」をめぐる 松本美耶／天理図書館蔵『うつほ物語』（外題・内題『和泉式部日記』）解題・翻刻 岡田貴憲・戸田瞳／『六百番歌合』における「乞巧奠」題 蔡雅如／清原宣賢『日本書紀抄』享受について 野上潤一

ISBN978-4-7879-3530-4 A5上製 280頁 6100円

第31集 「近江天皇を思ふ歌」存疑 土佐秀里／奪回された〈定子の記憶〉 津島知明／離婚状態の時の道綱母の歌 堤和博／女房の裳着 諸井彩子／『和泉式部日記』における二つの〈山の端の月〉 松島毅／紫野斎院の内院と有栖川の位置関係 太田美知子／谷崎源氏の挿画研究 本宮洋幸／内閣文庫蔵三冊本『紫明抄』の独自性 カラーヌワット・タリン／大蔵虎明『語間之抄』典拠小考 野上潤一

ISBN978-4-7879-3531-1 A5上製 272頁 6000円

第32集 『枕草子』『殿などのおはしまさでのち』の段を読み解く 津島知明／知られざる「躑躅」の歌と、定子辞世「別れ路」の歌 坏美奈子／鴻臚館の光る君 笹川勲／「家」を逸脱する『とりかへばや』の左大臣家 菊地一実／北条得宗家と和歌 佐藤智広／林羅山『本朝神社考』の清原宣賢『日本書紀抄』利用に関する基礎的検討 野上潤一

ISBN978-4-7879-3532-8 A5上製 264頁 5900円

第33集 天孫の母 青柳まや／『万葉集』の「モミチ」の一考察 孫瑋／「珠手次 懸けの宣しく」考 土佐秀里／「白雲書庫本懐風藻」の本文とその性格 土佐朋子／『伊勢物語』の和歌と、定子のことば 坏美奈子／『浜松中納言物語』の〈風〉と寒暖語 山際咲清香／主人公を「騙す」脇役たち 伊勢光

ISBN978-4-7879-3533-5 A5上製 288頁 6100円

第34集 釈文のよみ方 西崎亨／『萬葉集』及び『人麿集』五系統歌番号対校表 池原陽斉・藤田洋治・朝比奈英夫／懐風藻校本 本文篇一 土佐朋子／『源氏物語』における大君の死の表現 山崎和子／『今鏡』における源有仁家の描き方 梅田径／新出『義経記』巻八零本の紹介と位置付け 和田琢磨／近世禁裏仙洞における源氏物語古注釈の書写活動について 酒井茂幸

ISBN978-4-7879-3534-2 A5上製 336頁 6700円

第35集 懐風藻校本 本文篇二 土佐朋子／『土左日記』の語り手と視点 ゼバスティアン・バルメス／『貫之』享受本文の変遷 荒井洋樹／犬君のゆくえ 佐藤洋美／光源氏の人物呼称 牧野裕子／宇治八の宮邸の構造についての再考 加藤伸江／ヤマタ訳『源氏物語』における和歌の翻訳 常田慎子／後水尾院の伊勢物語講釈について 酒井茂幸

ISBN978-4-7879-3535-9 A5上製 304頁 6300円

第36集 大伴坂上郎女の「祭神歌」を読む 野口恵子／『万葉集』巻九・一七四二、一七四三番歌に関する一試論 桐生貴明／懐風藻校本 本文篇三 土佐朋子／『伊勢物語』の短章段 近藤さやか／平安時代にはどのような『伊勢物語』が読まれていたか 藤井輝／柏木物語と『伊勢物語』六十五段 竹田由花子／『源氏物語』における浮舟の「峰の雨雲」歌 山崎和子／『源氏物語』における「まもる」毛利香奈子

ISBN978-4-7879-3536-6 A5上製 304頁 6400円

第37集 石上堅魚・大伴旅人におけるホトトギス詠について 孫瑋／懐風藻校本 本文篇四 土佐朋子／『うつほ物語』から『源氏物語』へ 山際咲清香／道綱母と時姫の二組の贈答歌 堤和博／塩湯浴歌考 木村尚志／『六百番歌合』の「九月九日」題 蔡雅如／『平家物語』千手前の朗詠・今様とその文化史的背景 須藤あゆ美

ISBN978-4-7879-3537-3 A5上製 296頁 6200円

第38集 神聖なる王権への助走 鈴木雅裕／留め得ぬものへの哀願と諦念 桐生貴明／六条院の馬場殿の規模について 加藤伸江／慶滋保胤「池亭記」のスタイル 宋吟／藤原実政考 長見菜子／狭衣の女二の宮への恋 太田美知子／『建礼門院右京大夫集』における平資盛像とその意義 邱春泉／『十六夜日記』と為しの「不孝」 趙秀全／〔百日和歌〕（後土御門天皇宸翰草） 紹介と翻刻 石澤一志／大阪城天守閣蔵『聚楽行幸記』解題・翻刻 竹内洪介・石塚靖通

ISBN978-4-7879-3538-0 A5上製 376頁 7600円

第39集 「兎道のみやこ」考 土佐秀里／藤花礼讃 坏美奈子／『枕草子』「大進生昌が家に」章段における「于定国がこと」 佐藤有貴／『源氏物語』における例外的「きよら／きよげ」の一考察 深田弥生／架蔵『源氏物語』帯木巻断簡について 仁平道明／『中納言俊忠卿集』の構想 穴井潤／中世文学における「蘇迷盧」と「孝」 趙秀全

ISBN978-4-7879-3539-7 A5上製 288頁 6100円

第40集 『日本書紀』における思邦歌の位置づけ 小野諒巳／『源氏物語』真本柱巻の「見はつ」 篁尾知佳／皇女たちの懊悩と後悔の貴公子 前川暁／加賀文庫蔵写本『方丈記流水抄』考 岡山高博／センチュリー文化財団蔵（斯道文庫寄託）本からみる『平治物語絵巻』「六波羅合戦巻」の展開 滝澤みか／自己表象としての雁 草野勝／諏訪市博物館蔵『諏訪講之式』解題・翻刻・影印 間枝遼太郎／松井幸隆編『三玉和歌集類題』の撰集資料の調査報告 三村晃功／『天正二十年 聚楽第行幸記』解題・翻刻 竹内洪介 ISBN978-4-7879-3540-3 A5上製 320頁 6400円

# ◆◆ 研究書 (中古) ◆◆

阿久澤忠 著

新典社研究叢書 288

## 平安時代語の仮名文研究

ISBN978-4-7879-4288-3 A5上製 440頁 12600円

畠山大二郎 著

新典社研究叢書 282

## 平安朝の文学と装束

ISBN978-4-7879-4282-1 A5上製 400頁 11500円

後藤康文 著

新典社研究叢書 233

## 日本古典文学読解考

—『万葉』から『しのびね』まで—

ISBN978-4-7879-4233-3 A5上製 256頁 7500円

廣田收 編

新典社研究叢書 265

## 日本古典文学の方法

ISBN978-4-7879-4265-4 A5上製 432頁 12600円

原慎子 著

新典社研究叢書 239

## 斎王物語の形成

—斎宮・斎院と文学—

ISBN978-4-7879-4239-5 A5上製 368頁 10500円

信州平安文学研究会 編

新典社研究叢書 187

## 平安文学場と表現

ISBN978-4-7879-4187-9 A5上製 304頁 8500円

末澤明子 著

新典社研究叢書 315

## 王朝物語の表現生成

—源氏物語と周辺の文学—

ISBN978-4-7879-4315-6 A5上製 480頁 14000円

坪美奈子 著

新典社研究叢書 199

## 王朝文学論

—古典作品の新しい解釈—

ISBN978-4-7879-4199-2 A5上製 468頁 13400円

坪美奈子 著

新典社研究叢書 312

## 続・王朝文学論

—解釈的発見の手法と論理—

ISBN978-4-7879-4312-5 A5上製 704頁 20500円

宮崎莊平 著

新典社研究叢書 210

## 王朝女流文学論攷

—物語と日記—

ISBN978-4-7879-4210-4 A5上製 384頁 11000円

源氏物語・伊勢物語・土左日記・枕草子・更級日記など、平安期の仮名で書かれた文における語に着目し、語彙・語法、文字・表記、文章展開の各面から、作品とその文章意図を読み解く。

平安文学に描かれる装束の復元を試みつつその機能を考察し、また文学における表現から当時の人々の認識や生活を考察する。付録として「装束生地見本」封入。第5回池田亀鑑賞受賞

竹取物語・伊勢物語・枕草子を中心とする平安朝仮名文学や万葉集・蜻蛉日記などの和歌・作中歌について、現存本文に固執する従来説に疑問を提起し誤写の可能性ほか読解の新たな手法を考える。

文学としての史料の読み直しや、比較研究の成熟など、分析的視点や手法に新しい切り口があれば、そこに方法的意識は必ずや存在している。国文学の新たな手法を切り拓く11本の論考を収録。

伊勢神宮や賀茂大神に奉仕する内親王(女王)として様々な文学に現れる斎王を検証し、斎王が文学に取り入れられていく過程と文学の創造者としての役割を担った要因について究明する。

信州を拠点とする研究会による第一論文集。第一部では、表現の読み解きとその背景に関する考察を中心とした論文を収め、第二部では、信州の地名と文学との結びつきについて論じる。

物語はその内容を記すにあたってどのような表現を用い、どのような取捨選択をしたのか。源氏物語を中心とした王朝物語や和歌における表現のありようの考察を通して、物語の特性を追求する。

古典研究史上の問題について、『枕草子』(随想)・物語・和歌という三基軸のもとに考察する。古典作品の魅力を見取るために、これまででない視点で新しい王朝文学論を展開してゆく。

万葉集から古今集・伊勢物語、そして枕草子・源氏物語に至るまで、和歌を基軸に主要な作品の知られざる意味を新しく読み解き、「解釈的発見」の意義と手法をあざやかに示す。

王朝女流文学—主に源氏物語と日記文学に関して—、学術的な論攷、短くまとめた解説なども含む小論、学術的思考の具現である講演、書評、座談会の五項目からなる研究・考察の集大成。

|                                       |                                        |                                                                                                 |
|---------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎莊平 著                                | 新典社研究叢書 276                            | 中古から中世にかけ、数多く記し残された女流日記文学について、総合論、作品論、時間論、表現論、女房日記論、中世女流日記論、関連論の七つの視点から考察し、その本質をとらえる。           |
| <b>女流日記文学論 輯</b>                      | ISBN978-4-7879-4276-0 A5上製 928頁 26800円 |                                                                                                 |
| 久保木寿子 著                               | 新典社研究叢書 319                            | 感情の歌人と目されがちな和泉式部。が、歌集には、溢れる情感を客観視しようとした形跡が残る。初期定数歌・日記を含め、その表現における独自の方法意識を見出し、再評価を図る。            |
| <b>和泉式部の方法 試論</b>                     | ISBN978-4-7879-4319-4 A5上製 616頁 18000円 |                                                                                                 |
| 柳田忠則 著                                | 新典社研究叢書 306                            | 伊勢物語ならびに大和物語研究を重ねてきた著者の集大成として、研究篇に本文・異本研究を収載し、資料篇には伊勢物語文格と大和物語追考（甲斐侍従筆）の架蔵本2冊の解説と影印を収める。        |
| <b>物語文学の生成と展開</b><br>—— 伊勢・大和とその周辺 —— | ISBN978-4-7879-4306-4 A5上製 660頁 20000円 |                                                                                                 |
| 内田美由紀 著                               | 新典社研究叢書 251                            | 各伝本の本文と成立、物語内の漢詩解釈と影響関係、平安時代の旅程の変遷等歴史地理の観点からの考察、史書から探る時代背景など、『伊勢物語』の成立を多角的に考察する。第22回関根賞受賞       |
| <b>伊勢物語考</b><br>—— 成立と歴史的背景 ——        | ISBN978-4-7879-4251-7 A5上製 328頁 9600円  |                                                                                                 |
| 柳田忠則 編                                | 作品別研究文献 2                              | 大和物語に関する文献で、明治23年9月より平成18年12月に至る間に刊行されたものを集成。単行本・単行本所収論文や資料など、あらゆる文献を網羅した、大和物語研究必携書。            |
| <b>大和物語文献集成</b>                       | ISBN978-4-7879-2722-4 A5上製 376頁 11200円 |                                                                                                 |
| 久喜の会 編                                | 新典社注釈叢書 18                             | 『古今和歌集』の中でも他巻とは明らかに異質な巻二十。なぜこの巻は存在するのか。綿密な注釈と七編の論考により、歌謡性を持つこの巻の論理や価値観を明らかにし、新たな存在意義を提示する。      |
| <b>『古今和歌集』巻二十</b><br>—— 注釈と論考 ——      | ISBN978-4-7879-1518-4 A5上製 436頁 13000円 |                                                                                                 |
| 畑恵里子 著                                | 新典社研究叢書 212                            | 現存する最古の継子物語の一つ、『落窪物語』に焦点をあて、継子が遭遇する擬似的な「死と再生」に着目し、そこに関与する霊的な力のたらしきを分析する。第7回全国大学国語国文学会賞受賞        |
| <b>王朝継子物語と力</b><br>—— 落窪物語からの視座 ——    | ISBN978-4-7879-4212-8 A5上製 272頁 7500円  |                                                                                                 |
| 日記文学研究会 編                             |                                        | 『蜻蛉日記』におけるミウチ史の創造／『蜻蛉日記』考／仕立物の依頼／ホトギスを待つ女／二つの大藏卿正光／『海道記』「西路の帰願」小論／『風に紅葉』と『とはずがたり』の共通基盤／他。13本収録。 |
| <b>日記文学研究第三集</b>                      | ISBN978-4-7879-4953-0 A5上製 288頁 8600円  |                                                                                                 |
| 石坂妙子 著                                | 新典社研究叢書 205                            | 紫式部・和泉式部・蜻蛉・讃岐公侍など、平安期仮名日記の執筆意図、また書き手である女性たちの社会的立場、歴史証人としての自覚とは。個々の作品論にまで言及する日記文学研究の決定版。        |
| <b>平安期日記の史的世界</b>                     | ISBN978-4-7879-4205-0 A5上製 256頁 7500円  |                                                                                                 |
| 片桐洋一・関西私家集研究会                         | 和歌文学注釈叢書 1                             | 色ごのみの宮と呼ばれた元良親王と女たちの恋の歌である『元良親王集』の全注釈。私家集制作の場や、女性と和歌の在り様など十世紀後半の文学史の実体を照射する。                    |
| <b>元良親王集全注釈</b>                       | ISBN978-4-7879-1701-0 A5上製 304頁 9000円  |                                                                                                 |
| 石井文夫・杉谷寿郎                             | 和歌文学注釈叢書 2                             | 選子内親王を中心とした斎院たちの日常贈答歌を集めた歌集に詳細な全注釈を施した。大斎院文壇の動静を知る資料としても重要な価値を持つ、私家集研究の新たな礎となる一書。               |
| <b>大斎院御集全注釈</b>                       | ISBN978-4-7879-1702-7 A5上製 320頁 10000円 |                                                                                                 |

## 肥 後 集 全 注 釈

ISBN978-4-7879-1703-4 A5上製 352頁 11000円

渡辺仁史 著 新典社研究叢書 230

## 文 芸 史 の 可 能 性

— 平安文芸史新攷 —

ISBN978-4-7879-4230-2 A5上製 240頁 6900円

本宮洋幸 著 新典社研究叢書 311

## う つ ほ 物 語 の 長 編 力

ISBN978-4-7879-4311-8 A5上製 304頁 8800円

松野彩 著 新典社研究叢書 269

## う つ ほ 物 語 と 平 安 貴 族 生 活

— 史実と虚構の織りなす世界 —

ISBN978-4-7879-4269-2 A5上製 304頁 8800円

妹尾好信 著 新典社研究叢書 307

## 源氏物語 読解と享受資料考

ISBN978-4-7879-4307-1 A5上製 640頁 18400円

辻和良 著 新典社研究叢書 223

## 源 氏 物 語 の 王 権

— 光源氏と〈源氏幻想〉 —

ISBN978-4-7879-4223-4 A5上製 352頁 10000円

中西智子 著 新典社研究叢書 310

## 源氏物語 引用とゆらぎ

ISBN978-4-7879-4310-1 A5上製 344頁 10000円

佐藤勢紀子 著 新典社研究叢書 293

## 源氏物語の思想的研究

— 妄語と方便 —

ISBN978-4-7879-4293-7 A5上製 272頁 7800円

山上義実 著 新典社研究叢書 317

## 源氏物語と周辺文芸の研究

ISBN978-4-7879-4317-0 A5上製 400頁 11600円

西田禎元 著 新典社研究叢書 324

## 『源氏物語』の光と影

ISBN978-4-7879-4324-8 A5上製 496頁 14800円

古屋明子 著 新典社研究叢書 295

## 『源氏物語』の罪意識の受容

ISBN978-4-7879-4295-1 A5上製 432頁 12600円

京極関白師実に仕え、堀川院歌壇の一翼を担った女流歌人肥後は、勅撰集に多く入集し、幾つかの物語作者にも擬せられている才女。その家集「肥後集」に全注釈を施した。

ジャンル史、歌壇史を除くとこれまで論じられる事の少なかった平安文芸史について、その可能性や方法、文体、歴史学との関わりなど詳細に論じ、「文芸史」研究の有意性を明らかにする。

日本初の長編物語『うつほ物語』の生成における、「主題性の刷新」の様相を捉え、『源氏物語』をはじめとした物語研究、和歌研究や歴史学なども援用し、作品を開く。第8回池田亀鑑賞受賞

日本現存最古の長編物語『うつほ物語』に描かれた貴族の生活の中から、貴族の官職・皇妃・年中行事・通過儀礼を当時史料と併せて検討し、物語の表現に隠された意味を明らかにする。

源氏物語はどう読まれてきたか。中世の古注釈からはじまり、里村紹巴が三条西公条の講釈聞書をまとめた紹巴抄を検討し、近世の資料にまで至る。著者架蔵近世梗概本の紹介・翻刻・作中歌索引付。

『源氏物語』はどのように当時の史的事実を取り込み、展開したのか。物語のこぼに表れた表現の論理を腑分けし、表だっては見えにくい主題的狀況を浮き彫りにする。

作り手が、読み手との間の解釈の「ゆらぎ」の不可避性を利用して物語世界を構築した痕跡をたどり、源氏物語の「引用」の創造性と共有される記憶とのかかわりについて新たに考究する。

『源氏物語』の思想的基盤の一つでありながら、注目される機会の少なかった仏教の方便思想について、その影響を解き明かし、主要人物の人生観がどのように描かれているかを探る。

源氏物語及びその周辺の文学作品について、文芸学的な視点から本文の丹念な読解を基に作品の主題・構想、文学的特質を論じ、特に源氏物語の主題と構想に関して独自の大胆な仮説を提案する。

源氏物語の特質や魅力はどこにあるのか。作品の主題・構想・人物・和歌の面から探るとともに、素材・典拠となった中国古典や、源氏物語が影響を与えた後代の日本文学との関わりの深さに迫る。

『源氏物語』に表れた密通等に対する罪意識が、中世から近代までの作品にどのように受容されてきたかを考察し、罪意識を表す語の使われ方やその効果、各作者の意図について検証する。

|                                        |                                        |                                                                                             |
|----------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 佐藤信雅 著                                 | 新典社研究叢書 284                            | 『源氏物語』における物語創出の手法を確認するために、草子地・「けり」止め・無敬語表現・意図的敬語使用の語りを丹念に分析。桐壺巻から若紫巻までの物語演出の跡を探る。           |
| <b>源氏物語 草子地の考察</b><br>——「桐壺」～「若紫」      | ISBN978-4-7879-4284-5 A5上製 344頁 10200円 |                                                                                             |
| 佐藤信雅 著                                 | 新典社研究叢書 299                            | 『源氏物語』の本文に着目し、草子地・「けり」止め・無敬語表現の用法・物語創出の手法をつぶさに分析し、文章に込められた紫式部の意図に迫る意欲作第2巻。末摘花巻～花宴巻を検証する。    |
| <b>源氏物語 草子地の考察 2</b><br>——「末摘花」～「花宴」   | ISBN978-4-7879-4299-9 A5上製 408頁 12000円 |                                                                                             |
| 源氏物語を読む会 編                             | 新典社研究叢書 263                            | 「交響する人々」をテーマに、今まであまり論じられてこなかった『源氏物語』作中人物の間に新たな関係性を見出し、物語に潜む新たな魅力を引き出した10編の論考を収録。好評シリーズ第2弾。  |
| <b>源氏物語〈読み〉の交響Ⅱ</b>                    | ISBN978-4-7879-4263-0 A5上製 350頁 9900円  |                                                                                             |
| 源氏物語を読む会 編                             | 新典社研究叢書 325                            | 「ことば・表現」「物語史」「和歌・漢詩文」「神話・歴史」「文化・思想」の5つのテーマを軸に25名の執筆陣の〈読み〉が響き合う、『源氏物語』研究の「今」を映す一書。好評シリーズ第3弾。 |
| <b>源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ</b>                    | ISBN978-4-7879-4325-5 A5上製 736頁 21400円 |                                                                                             |
| 中井賢一 著                                 | 新典社研究叢書 292                            | 『源氏物語』の展開や人物像がいかなる仕組みによって制御され、また、その仕組みはいかなる組み上げられかたをしているか、いわゆる物語構造論の観点から検証する一書。             |
| <b>物語展開と人物造型の論理</b><br>— 源氏物語〈二層〉構造論 — | ISBN978-4-7879-4292-0 A5上製 400頁 11500円 |                                                                                             |
| 太田敦子 著                                 | 新典社研究叢書 238                            | 源氏物語に登場する人物、なかでも姫君たちに用いられる造型する表現（ふるまい）に注目し、それらの表現が物語にどのような要素を呼び込み、いかなる物語世界を構築しているのかを追究する。   |
| <b>源氏物語 姫君の世界</b>                      | ISBN978-4-7879-4238-8 A5上製 320頁 9200円  |                                                                                             |
| 天野紀代子 著                                | 新典社研究叢書 220                            | 仮名文字が書かれ始めてわずか百年ほどで、傑作『源氏物語』は誕生した。和歌を修めた紫式部が、漢詩文の教養との相克を経て、一字一句を仮名で綴った『源氏物語』のその創作の方法を探る。    |
| <b>源氏物語 仮名ぶみの熟成</b>                    | ISBN978-4-7879-4220-3 A5上製 328頁 9600円  |                                                                                             |
| 湯浅幸代 著                                 | 新典社研究叢書 297                            | 冒頭「いづれの御時にか」からして時代設定を問うかける物語、源氏物語。その中で歴史への意識、解釈、史実との関わりはどう描かれているのか、各治世のありようや人物から明らかにする。     |
| <b>源氏物語の史的意識と方法</b>                    | ISBN978-4-7879-4297-5 A5上製 400頁 11500円 |                                                                                             |
| 呉羽長 著                                  | 新典社研究叢書 264                            | 『紫式部日記』における紫式部の独自の思考の形は、『源氏物語』世界にも反映している。それが物語の進展とどのように関わっているか迫ることにより、創作の経緯を明らかにする。         |
| <b>源氏物語の創作過程の研究</b>                    | ISBN978-4-7879-4264-7 A5上製 384頁 11000円 |                                                                                             |
| 原豊二 著                                  | 新典社研究叢書 250                            | 一条兼良の営為を中心とした源氏物語の受容とその再創造の営み。平安文学に不可欠な要素である七絃琴や琵琶を通じた日中の音楽交流・文学交流。源氏物語研究の第一人者池田亀鑑の事績など。    |
| <b>源氏物語 文化論</b>                        | ISBN978-4-7879-4250-0 A5上製 350頁 10000円 |                                                                                             |
| 森野正弘 著                                 | 新典社研究叢書 262                            | 『源氏物語』に描かれた音楽を、実体としては捉えずに、あくまでもことばとして見据え、読解し、音楽と時間によって形づくられた『源氏物語』の表現と構造を明らかにする。            |
| <b>源氏物語の音楽と時間</b>                      | ISBN978-4-7879-4262-3 A5上製 496頁 14200円 |                                                                                             |

佐伯雅子 著 新典社研究叢書 209  
**源氏物語における「漢学」**  
— 紫式部の学問的基盤 —  
ISBN978-4-7879-4209-8 A5上製 336頁 9600円

仁平道明 編 新典社研究叢書 213  
**源氏物語と東アジア**  
ISBN978-4-7879-4213-5 A5上製 368頁 10000円

仁平道明 編 新典社研究叢書 226  
**源氏物語と白氏文集**  
ISBN978-4-7879-4226-5 A5上製 336頁 9600円

飯沼清子 著 新典社研究叢書 302  
**源氏物語と漢世界**  
ISBN978-4-7879-4302-6 A5上製 468頁 13800円

有馬義貴 著 新典社研究叢書 260  
**源氏物語続編の人間関係**  
付 物語文学教材試論  
ISBN978-4-7879-4260-9 A5上製 368頁 10600円

堤康夫 著 新典社研究叢書 216  
**源氏物語注釈史の資料と研究**  
ISBN978-4-7879-4216-6 A5上製 816頁 23400円

中西健治 著 新典社研究叢書 235  
**源氏物語のなごり**  
— 梗概本・後期物語など —  
ISBN978-4-7879-4235-7 A5上製 240頁 6900円

濱田寛 注釈 新典社注釈叢書 24  
**世俗諺文全注釈**  
ISBN978-4-7879-1524-5 A5上製 720頁 21000円

今浜通隆 注釈 新典社注釈叢書 5・8・15・25

## 本朝麗藻全注釈一～四

- ①ISBN978-4-7879-1505-4 A5上製 424頁 16990円  
②ISBN978-4-7879-1508-5 A5上製 560頁 〔品切〕  
③ISBN978-4-7879-1515-3 A5上製 624頁 17600円

伊藤守幸 著 新典社研究叢書 255  
**更級日記の遠近法**  
ISBN978-4-7879-4255-5 A5上製 352頁 10000円

紫式部が持つ「漢学」の素養が、宮廷の雅として華麗に演出され、源氏物語は王朝の雅を描きだす。第一部ではいわゆる「ごえ（才）」について、第二部・第三部では「漢文学」作品として。

『源氏物語』の構想・表現と、中国を中心とした東アジアの文芸・歴史・思想・文化等との関わり方、また違いについて、全15編の論文を収録。今後の『源氏物語』比較文学的研究の指針となる一書。

古注以来、多くの研究・指摘がおこなわれてきた源氏物語及びその作者における白氏文集の受容について、新しい知見を加え、新たな展望をひらく研究成果を提示する。研究文献目録収載。

日本文学において、人が心を寄せたモノは帯・冠・漢詩・水石・蘭・菊・賢人・酒・茶…と多岐にわたる。それらをめぐる人々の実態・文化・文学を、中国との比較や日本の史料を通して捉え直す。

『源氏物語』のいわゆる続編、光源氏没後の物語を、作中の人間関係分析から読み解き、その構造や性格の一端を明らかにするとともに、学習指導要領を踏まえ、古典教育の改善に向けた提言を行う。

古典作品の注釈は知的な営みとして、母胎となった作品から切り離してその意義が重視されるべき物である。源氏物語注釈における先人達の軌跡を解明する論考編と、貴重な資料の翻刻からなる資料編。

『源氏物語』が持つ広大な文学的裾野の中で、近世期の梗概書および源氏の影響を受けて成立した平安後期物語を基軸に考察し、『源氏物語』が成立後どのような形で受容・享受されてきたかをたどる。

平安中期の成句辞書・世俗諺文の編纂意図とは何か。詳細な原典考証から作品理解を深め、作品から導かれる編者源為憲の学問の実態そして当時の学問の在り方を探求する。全注釈、解説、索引付。

上巻は前田家蔵金沢文庫旧蔵本の残巻写本、下巻は上野図書館蔵森氏旧蔵本の写本を底本に、群書類従・新校群書類従・日本古典全集・日本詩紀との校異を記し、訓読・通釈・語釈・作者・評説を加えた。

④ISBN978-4-7879-1525-2 A5上製 636頁 18000円

時間と空間の倒錯的な距離感に着目し、時間構造や孝標女の作家的視点などから『更級日記』の新たな読み直しを試みる。英語圏の更級日記研究についての論及、ならびに英語論文も収載。

|                                                                                                                                                                          |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 須藤圭 著                                                                                                                                                                    | 新典社研究叢書 246         | 『狭衣物語』が読みつがれた受容の諸相を解明することにより、その評価や文学史に及ぼした影響を考察し、『源氏物語』を中心とした物語文学史を捉えなおす。第3回池田亀鑑賞受賞                                                                                                                                                           |
| <b>狭衣物語 受容の研究</b>                                                                                                                                                        |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4246-3 A5上製 404頁 11500円                                                                                                                                   |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 伊勢光 著                                                                                                                                                                    | 新典社研究叢書 318         | 夜の寝覚は、先行する物語を取り込みながら新たな人物像等を生み出し、それらは後代の作品に継承された。作品世界の大胆な読み解きから、寝覚の多様な魅力を発掘し、王朝文学史を見つめ直す。                                                                                                                                                     |
| <b>『夜の寝覚』から読む物語文学史</b>                                                                                                                                                   |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4318-7 A5上製 400頁 11600円                                                                                                                                   |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 大倉比呂志 著                                                                                                                                                                  | 新典社研究叢書 236         | 「狭衣物語」「夜の寝覚」など平安後期物語、「あきぎり」「海人の刈藻」など中世王朝物語、「とはずがたり」と物語文学。それぞれの物語の意義を掘り下げ、同時代文学の関連性を概観する。                                                                                                                                                      |
| <b>物語文学集 攷</b><br>— 平安後期から中世へ —                                                                                                                                          |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4236-4 A5上製 576頁 16500円                                                                                                                                   |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 加藤静子・桜井宏徳 編                                                                                                                                                              | 新典社研究叢書 271         | 『栄花物語』に始まり、『大鏡』『今鏡』以下の鏡物へと連なる平安時代の歴史物語群を、相互の連関と他ジャンルとの交響の相のもとに捉え、仮名文の歴史叙述の内実と有機的な展開のありように迫る。                                                                                                                                                  |
| <b>王朝歴史物語史の構想と展望</b>                                                                                                                                                     |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4271-5 A5上製 704頁 20000円                                                                                                                                   |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 桜井宏徳 著                                                                                                                                                                   | 新典社研究叢書 203         | 物語論の王道は歴史物語論にあること、そして物語論が書かれたテキストとしてあることが、いかに戦略的であるかを論じきった一冊。(学習院大学教授 神田龍身氏推薦文より)                                                                                                                                                             |
| <b>物語文学としての大鏡</b>                                                                                                                                                        |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4203-6 A5上製 448頁 13000円                                                                                                                                   |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 小久保崇明 著                                                                                                                                                                  | 新典社研究叢書 243         | 『大鏡』とその周辺作品の語彙語法研究に多くの業績を有する著者による最新の論文集。大鏡の接尾語や助動詞などの注釈・読解の問題、四鏡の文章や擬声語、中古中世語を取り扱った。                                                                                                                                                          |
| <b>大鏡の注釈 ところどころ</b>                                                                                                                                                      |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4243-2 A5上製 304頁 8700円                                                                                                                                    |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 柳澤良一 注釈                                                                                                                                                                  | 新典社注釈叢書 16・17・19・20 | ①『新撰朗詠集』解説(『新撰朗詠集』の魅力・『新撰朗詠集』の成立)/『新撰朗詠集 上巻』注釈(目録・「春」部 [1~134])/校異/文献<br>②『新撰朗詠集 上巻』注釈(「夏」部 [135~183]・「秋」部 [184~331]・「冬」部 [332~370])/校異/文献<br>③『新撰朗詠集 下巻』注釈(目録・「雑」部 [371~601])/校異/文献<br>④『新撰朗詠集 下巻』注釈(「雑」部 [602~746]・奥書・識語)/校異/文献/『新撰朗詠集』作者索引 |
| <b>新撰朗詠集全注釈 一～四</b>                                                                                                                                                      |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ①ISBN978-4-7879-1516-0 A5上製 614頁 18000円<br>②ISBN978-4-7879-1517-7 A5上製 672頁 19400円<br>③ISBN978-4-7879-1519-1 A5上製 664頁 19400円<br>④ISBN978-4-7879-1520-7 A5上製 640頁 18500円 |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 片山ふゆき 著                                                                                                                                                                  | 新典社研究叢書 314         | 現存とりかへばやは、異性装という新奇なモチーフを、前代からの類型化した表現により描き出す。物語「史」を内包した表現の「変奏」に着目し、この物語の新たな物語世界構築のあり方に迫る。                                                                                                                                                     |
| <b>『とりかへばや』の研究</b><br>— 変奏する物語世界 —                                                                                                                                       |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4314-9 A5上製 256頁 7400円                                                                                                                                    |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 紙宏行 著                                                                                                                                                                    | 新典社研究叢書 296         | 和歌の難義語について、その釈義を追求した、顕昭による注釈書『袖中抄』。注釈へ向かう問題意識や注釈方法と内容の特質を明らかにしつつ、顕昭歌学の位置づけ・課題について考察する。                                                                                                                                                        |
| <b>袖中抄の研究</b>                                                                                                                                                            |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-4296-8 A5上製 336頁 9700円                                                                                                                                    |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 今浜通隆 注釈                                                                                                                                                                  | 新典社注釈叢書 26          | 大宰府に左遷された菅原道真が思いを切実に綴った漢詩は史料価値のみならず、その技巧性など文学的価値も高い。原詩・訓読・通釈・語釈・評説を近体詩読解の観点から丁寧なほどこした全注釈。                                                                                                                                                     |
| 菅家 叙意 一百韻全注釈                                                                                                                                                             |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| ISBN978-4-7879-1526-9 A5上製 712頁 20000円                                                                                                                                   |                     |                                                                                                                                                                                                                                               |

## ◆◇ 研究書（中世） ◇◆

中本真人 著

新典社研究叢書 245

### 宮 廷 御 神 楽 芸 能 史

ISBN978-4-7879-4245-6 A5上製 424頁 12200円

神事としての性格のみならず、天皇と公家による饗宴の場でもあった宮廷御神楽とはいかなるものか。文献資料に基づく基礎的研究によって論じ、その芸能史を描き出す。第31回志田延義賞受賞

武井和人 著

新典社研究叢書 277

### 中 世 古 典 籍 之 研 究

— どこまで書物の本姿に迫れるか —

ISBN978-4-7879-4277-7 A5上製 688頁 19800円

中世は古典籍研究が花開いた時代である。その中世に成立した歌学書を中心に、中世古典籍資料の読み直し、資料紹介、新攷を試み、古典籍研究の原点を知るとともに新たな道筋を見出す。

平田英夫 著

新典社研究叢書 240

### 和 歌 的 想 像 力 と 表 現 の 射 程

西行の作歌活動

ISBN978-4-7879-4240-1 A5上製 368頁 10500円

西行の和歌を論の軸に据え、中世和歌の表現を思想・宗教・芸能・民俗といった種々の視点から照射する。激動の中世、衰退が見え始めていたはずの和歌は、いかにしてその力を取り戻したのか。

鏑武彦 著

新典社研究叢書 228

### 鎌 倉 時 代 中 後 期 和 歌 の 研 究

ISBN978-4-7879-4228-9 A5上製 432頁 12400円

勅集の奏覧をはじめ、盛んに和歌が詠作された鎌倉時代中後期。冷泉家の祖・冷泉為相と高階家の私撰集を編んだ高階宗成、和漢兼作者という語をキーワードにこの時代の和歌を読み解く。

鹿野しのぶ 著

新典社研究叢書 261

### 冷 泉 為 秀 研 究

ISBN978-4-7879-4261-6 A5上製 542頁 16000円

和歌史への影響著しい冷泉家の礎を築いたとされる冷泉為秀について、新出の冷泉家文書を中心とした事蹟、和歌、書写活動の考察と、資料として全歌集、注釈、年譜等を収録した画期的な一書。

酒井茂幸 著

新典社研究叢書 278

### 愚 問 賢 注 古 注 釈 集 成

ISBN978-4-7879-4278-4 A5上製 460頁 13500円

二条派の和歌はなぜ近世に至るまで尊重されたのか。二条良基の問いに頓阿が答えた『愚問賢注』の古注釈五本の解題・翻刻から、近世堂上派における『愚問賢注』享受の様相と注釈史を俯瞰する。

山本啓介 著

新典社研究叢書 196

### 詠 歌 としての和歌 和歌会作法・字余り歌

— 付〈翻刻〉和歌会作法書 —

ISBN978-4-7879-4196-1 A5上製 576頁 15000円

和歌の「詠歌」としての側面に光をあて、往時の歌人がいかにその「場」や「音声」を重視してきたか、また二条派歌壇への評価および存続性の意義にも迫る。和歌会作法書の翻刻付。

酒井茂幸 著

新典社研究叢書 254

### 禁 裏 本 と 和 歌 御 会

ISBN978-4-7879-4254-8 A5上製 528頁 15400円

天皇家に伝来した古典籍・古文書である「禁裏本」。目録学的・文献学的研究、周辺歌書の書誌的研究、和歌御会研究を通して、その諸相をあますところなく論じた画期的な一書。

廣木一人 著

新典社研究叢書 300

### 連 歌 とい う 文 芸 と その 周 辺

— 連歌・俳諧・和歌論 —

ISBN978-4-7879-4300-2 A5上製 472頁 13700円

時代的にも形式的にも和歌と俳諧の間に位置づけられる文芸、連歌。連歌が行われた場である連歌会席の文化的なあり方や、担い手、季節感、文化圏などについて、和歌・俳諧も往還しつつ論じる。

神田邦彦 著

新典社研究叢書 285

### 山 鹿 文 庫 本 発 心 集

— 影印と翻刻 附解説 —

ISBN978-4-7879-4285-2 A5上製 432頁 12400円

鴨長明による仏教説話集である『発心集』。その研究において重用されてきた神宮文庫本の誤写や誤脱を補訂しうる伝本として重視すべき、山鹿文庫本の影印と翻刻を初刊行。

|                                        |             |                                                                                             |
|----------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小久保崇明 著                                | 新典社研究叢書 323 | 大鏡・今鏡・水鏡・増鏡について、人称代名詞や係助詞「なむ」などに着目し、それぞれの文章や語彙をつぶさに解明する。増鏡の「なにがし」「まろ」の注釈、水鏡の語法についての論考も収録。   |
| <b>語彙・語法から見た四鏡の文章</b>                  |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4323-1 A5上製 304頁 8700円  |             |                                                                                             |
| 勝倉壽一 著                                 | 新典社研究叢書 316 | 初代神武天皇から55代仁明天皇までの事蹟を記す歴史物語である水鏡について、その成立事情と歴史記述の典拠、物語作者独自の解釈を精緻に考察。従来の水鏡評価を覆す契機となる一書。      |
| <b>水鏡の成立と構造</b>                        |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4316-3 A5上製 352頁 10100円 |             |                                                                                             |
| 宮崎裕子 著                                 | 新典社研究叢書 257 | 擬古物語或いは中世王朝物語と呼ばれる作り物語の一つ、石清水物語。四系統に分類される諸伝本の中で最も伝本数の多い第三系統のうち主要な四本を選定し本居宣長記念館蔵本を底本として校合。   |
| <b>石清水物語の研究</b><br>— 第三系統伝本の校本と影印 —    |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4257-9 A5上製 640頁 18400円 |             |                                                                                             |
| 宮崎裕子 著                                 | 新典社研究叢書 328 | 擬古物語或いは中世王朝物語と呼ばれる作り物語の一つ、石清水物語。四系統に分類される諸伝本の中から主要な12本を選定し、第一系統に属する静嘉堂文庫蔵本を底本として全系統を対象に校合。  |
| <b>校本石清水物語</b>                         |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4328-6 A5上製 688頁 20500円 |             |                                                                                             |
| 和田琢磨 著                                 | 新典社研究叢書 270 | 日本を代表する軍記物語の一つ『太平記』について、作品生成と表現世界における内外両面からの検討、成立後の作品読解・享受の検討を行い、『太平記』研究を新たに切り拓く。           |
| <b>『太平記』生成と表現世界</b>                    |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4270-8 A5上製 512頁 14200円 |             |                                                                                             |
| 小秋元段 著                                 | 新典社研究叢書 298 | 近世初期に始まる活字印刷は後の文化に大きく貢献した。その初期に行われた古活字版について、江戸期の大ベストセラー太平記の本文・書誌・出版経緯等から考察。三本の新考を加えた増補版。    |
| <b>増補太平記と古活字版の時代</b>                   |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4298-2 A5上製 432頁 12600円 |             |                                                                                             |
| 金木利憲 著                                 | 新典社研究叢書 305 | 日本文学に多大な影響を与えた漢詩文集『白氏文集』には複数の本文系統が存在する。『太平記』諸本に見える本文引用の状況を元に伝来・流布の過程を辿り、『白氏文集』受容の特性を明らかにする。 |
| <b>太平記における白氏文集受容</b>                   |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4305-7 A5上製 376頁 11000円 |             |                                                                                             |
| 上島眞智子 著                                | 新典社研究叢書 326 | 名随筆・徒然草はどのようにして誕生したか。家集や史料の丹念な調査により、執筆当時の兼好を取り巻く人間環境、社会状況を明らかにし、兼好の生涯や作歌背景、徒然草の執筆意図に迫る。     |
| <b>徒然草 人物考証の新研究</b>                    |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4326-2 A5上製 320頁 9300円  |             |                                                                                             |
| 高木浩明 著                                 | 新典社研究叢書 225 | 中院通勝真筆本『つれつれ私抄』の全文翻刻に、校異を併せて掲載。さらに『徒然草寿命院抄』の解題や貴重な影印資料などを収録し、中世末から近世の『徒然草』注釈および享受に一石を投じる。   |
| <b>中院通勝真筆本『つれつれ私抄』</b><br>— 本文と校異 —    |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4225-8 A5上製 278頁 8400円  |             |                                                                                             |
| 石黒吉次郎 著                                | 新典社研究叢書 229 | 第一部では能の作品や能楽論を、第二部では平家物語・芸道論・御伽草子などをめぐる論考を収録。能楽論と関わる歌論や連歌論、謡曲文学と関わる説話文学など、中世芸能と文学に正面から切り込む。 |
| <b>中世の芸能・文学試論</b>                      |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4229-6 A5上製 304頁 8700円  |             |                                                                                             |
| 松田存 著                                  | 新典社研究叢書 248 | 観阿弥生誕680年・世阿弥生誕650年記念に刊行する積年に亘る謡曲（能）文学論の集大成。後世にも大きな影響を及ぼす能（謡曲）の特性・作品論・周辺について多彩な視点から論究する。    |
| <b>謡曲（能）文学論考</b>                       |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-4248-7 A5上製 432頁 12400円 |             |                                                                                             |

|                                        |             |                                                                                             |
|----------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小井土守敏 監修<br>二松學舎大学附属図書館蔵<br>奈良絵本       | 新典社研究叢書 290 | 保元・平治の合戦を生き生きと描き出す挿絵に、美麗な筆跡が特徴的な二松學舎大学蔵・奈良絵本『保元物語』と『平治物語』の全翻刻と全図版。カラー口絵、解題、校異注も収載。          |
| ISBN978-4-7879-4290-6 A5上製 358頁 10800円 |             |                                                                                             |
| 松田存 著                                  | 新典社研究叢書 275 | 能楽でよく知られ、奈良絵本も作成された「威陽宮」をはじめ、「張良」や『源氏物語』「雲隠」、「住吉物語」の貴重な資料の翻刻と絵を収載。文学作品としての奈良絵本絵巻に迫る。        |
| ISBN978-4-7879-4275-3 A5上製 276頁 8200円  |             |                                                                                             |
| 廣田収 著                                  | 新典社研究叢書 321 | 文献として伝わる説話と、口承の民間説話とは、どのような関係性にあるか。話型の比較などを通じて、宇治拾遺物語が、既存の伝承を元になかにして新しい説話を作り上げたのかを明らかにする。   |
| ISBN978-4-7879-4321-7 A5上製 592頁 17200円 |             |                                                                                             |
| 山岡敬和 著                                 | 新典社研究叢書 253 | 叙述と集成の複合体として成立する説話集。口承を活かした『宇治拾遺物語』と、集としての作者が顕在化した『古今著聞集』を中心に、表現や話型の方法を探る。                  |
| ISBN978-4-7879-4253-1 A5上製 368頁 10500円 |             |                                                                                             |
| 石黒吉次郎 著                                | 新典社研究叢書 308 | 中世の多様な文学に宗教や信仰はいかに描かれているか。説話や芸能における思想の側面から読み解く第一部。信仰の地としての伏見・白山や歌枕となった東北を風土の観点から読み解く第二部。    |
| ISBN978-4-7879-4308-8 A5上製 368頁 10600円 |             |                                                                                             |
| 吉田唯 著                                  | 新典社研究叢書 322 | 両部神道を中心とした神仏習合史、浄土真宗における神祇許容の問題、さらにそれらの流れを受けて創作されたホツマ文獻を考察することで、中世から近世における神仏習合思想の一端を究明する。   |
| ISBN978-4-7879-4322-4 A5上製 416頁 12100円 |             |                                                                                             |
| 高橋忠彦・高橋久子 編著                           | 新典社研究叢書 256 | 基礎教育書、手習書として広く用いられた庭訓往来について、編著者架蔵の寛永五年版本の影印、索引、訓読、訳、注釈などを収載。庭訓往来を日本語学の立場から取り上げ、新たな知見を加える。   |
| ISBN978-4-7879-4256-2 A5上製 624頁 18400円 |             |                                                                                             |
| 高橋忠彦・高橋久子 編著                           | 新典社研究叢書 313 | 室町時代最大の往来物・新撰類聚往来。内閣文庫蔵慶安元年版本影印の他、索引・訓読・現代語訳・校注等を収載。東京大学文学部国語研究室蔵天正四年写本の影印と日本教科書大系の正誤一覧つき。  |
| ISBN978-4-7879-4313-2 A5上製 784頁 23000円 |             |                                                                                             |
| 柴田幸子 著                                 | 新典社研究叢書 244 | 幸若歌謡はどう謡われどう演じられてきたのか。失われた芸能の当時の姿を求め、多角的な分析を試みつつ、記録類から享受形態をも考察する。資料編には幸若歌謡集十四本の翻刻を収載。       |
| ISBN978-4-7879-4244-9 A5上製 518頁 15000円 |             |                                                                                             |
| 井黒佳穂子 著                                | 新典社研究叢書 267 | 御伽草子・絵巻物・絵入り本・浮世絵におけるテクニストと絵画を比較し、物語の中でのそのふたつの関わりと絵画の役割を追う。専修大学図書館蔵『源氏物語画帖』、『月百姿』など図版も多数収録。 |
| ISBN978-4-7879-4267-8 A5上製 388頁 11500円 |             |                                                                                             |
| 酒井茂幸 著                                 | 新典社研究叢書 303 | 中世後期から近世の二条派・堂上派における百人一首受容の様相とは。中院通勝・通村・通茂の三代の注釈書五種について、注釈史上での位置づけや意義を考証し、信頼性の高い伝本の翻刻を収めた。  |
| ISBN978-4-7879-4303-3 A5上製 568頁 16500円 |             |                                                                                             |

## ◆◆ 研究書 (近世) ◆◆

江口正弘 編

新典社研究叢書 207

### 天草版平家物語影印編

ISBN978-4-7879-4207-4 A5上製 448頁 12800円

ポルトガル宣教師の日本語教科書『天草版平家物語』が影印版でよみがえる。当時の音韻・ローマ字を知る上で価値の高い大英図書館蔵本。ポルトガル式綴りローマ字表記の解説つき。

江口正弘 編

新典社注釈叢書 21

### 天草版伊曾保物語 言葉の和らげ 影印及び全注釈 言葉の和らげ 影印及び翻刻翻訳

ISBN978-4-7879-1521-4 A5上製 480頁 13800円

宣教師の日本語教科書であった天草版。「平家物語」と合綴されている「伊曾保物語」の影印及び全注釈、さらに平家・伊曾保の難解語句を解説した「言葉の和らげ」の影印及び翻刻翻訳を収録。

阿部一彦 著

新典社研究叢書 204

### 近世初期軍記の研究

ISBN978-4-7879-4204-3 A5上製 384頁 11000円

秀吉や信長の武勲の物語である『太閤記』や『信長記』。それら一次資料の空白を補いうる資料として主に『武功夜話』を活用し、近世初期軍記の実態、展開、受容などを明らかにする。

邊恩田 著

新典社研究叢書 327

### 金時習『金鰲新話』と日本 —— 和刻本と受容

ISBN978-4-7879-4327-9 A5上製 272頁 8200円

朝鮮王朝初期の伝奇小説・金鰲新話は、訓点つきの和刻本として日本で出版され、江戸の知識人に愛読された。日本に現存する版本から受容の様相を探り出し、日本朝鮮中国の文化交流を見据える。

石川洋子 著

新典社研究叢書 268

### 近世における『論語』の訓読に関する研究

ISBN978-4-7879-4268-5 A5上製 528頁 15000円

『論語』は日本に伝来して以来どのように訓読されてきたか。近世における漢学の隆盛と、江戸や地方の様々な『論語』の訓読法、今後の研究の課題について考察する。

鈴木俊幸・山本英二 編

新典社研究叢書 266

### 信州松本藩崇教館と多湖文庫

ISBN978-4-7879-4266-1 A5上製 320頁 9200円

信州大学附属図書館中央図書館が所蔵する貴重書「多湖文庫」。文庫の来歴や、藩校である崇教館、ながく藩儒をつとめた多湖家、松本藩版に関する論考の集大成。多湖文庫の目録つき。

大城悦子 著

新典社研究叢書 289

### 芭蕉の俳諧構成意識 —— 其角・蕪村との比較を交えて ——

ISBN978-4-7879-4289-0 A5上製 528頁 15100円

芭蕉が手がけた俳諧（連句）・画賛（俳文）・俳書を読み解き、さらに其角や蕪村といった芭蕉の後に続く俳人と比較することで、芭蕉の俳諧構成意識と特質とを明らかにする。

田中善信 注釈

新典社注釈叢書 22

### 全 釈 続 み な し ぐ り

ISBN978-4-7879-1522-1 A5上製 368頁 11000円

芭蕉が新しく蕉風俳諧を開いた貞享年間。門人の其角により秀作も駄作も収めた『続みなしぐり』には、現在ではタブーとされる題材も含む、多彩な俳諧世界が窺える。そのあるがままの姿を全釈。

小財陽平 著

新典社研究叢書 280

### 菅茶山とその時代

ISBN978-4-7879-4280-7 A5上製 496頁 14200円

近世後期を代表する漢詩人・菅茶山と他の江戸漢詩人の詩業に着目することで近世漢詩文の流れを概観し、茶山を客観的に分析した。菅茶山・近世漢詩文研究の決定版。第9回日本古典文学学術賞受賞

津本信博 著

新典社研究叢書 241

### 江戸後期紀行文学全集 —— 第二巻 ——

ISBN978-4-7879-4241-8 A5上製 464頁 13000円

江戸時代後期紀行日記文学の翻刻・解題を収める全集の第二巻。多種多様な経歴を有する有名無名の作家・作品群に光をあて、近世の紀行日記文学の実態とその歴史的展開を明らかにする。

津本信博 著 新典社研究叢書 274  
江戸後期紀行文学全集  
— 第三卷 —  
ISBN978-4-7879-4274-6 A5上製 288頁 8000円

吉丸雄哉 著 新典社研究叢書 218  
式亭三馬とその周辺  
ISBN978-4-7879-4218-0 A5上製 288頁 8200円

播本眞一 著 新典社研究叢書 206  
八犬伝・馬琴研究  
ISBN978-4-7879-4206-7 A5上製 544頁 15600円

倉橋・桑原・小池・齊藤・光延 編 新典社研究叢書 291  
青江戸歌舞伎年代記集成  
ISBN978-4-7879-4291-3 A5上製 966頁 28000円

鈴木堅弘 著 新典社研究叢書 294  
春 画 論  
—— 性表象の文化学  
ISBN978-4-7879-4294-4 A5上製 608頁 17600円

大和博幸 著 新典社研究叢書 309  
江戸期の広域出版流通  
ISBN978-4-7879-4309-5 A5上製 448頁 13000円

シリーズ完結となる第三巻。幕臣の娘、国学者、神社宮司、幕末志士、歌人、藩医など、有名無名の作家・作品群に光をあて、近世の紀行日記文学の実態とその歴史的展開を明らかにする。

式亭三馬の著述を中心に、周辺作品との比較や他分野の芸術との交流を重視し、三馬の著述の特徴および、戯作者の近世社会における位置づけを解明した画期的な一書。

読まれざる古典『南総里見八犬伝』の数々の誤解や類推を改め、作品と著者曲亭馬琴への理解を深める。『八犬伝』の構想とテーマ・典拠・諸問題・馬琴研究・馬琴初期の読み本、全五章の論考。

歌舞伎の上演年月・劇場・作品・役者等を一元化した江戸時代の著作物—いわゆる年代記—から未刊の三タイトル『役者名声牒』『続名声戯場談話』『続芝居年代記』を翻刻、解題を付す。

春画の性表象における多面的なイメージはいかにして生まれたのか。古代から続く、性を巡る人類学・宗教学的イメージが、近世以降、春画の性表象へと結実していく様相を考察。

出版文化が花開いた江戸時代、京都・大坂・江戸以外の地方都市において、製作や流通はどのように行われたか。地方と三都の交流、問屋の兼業、地方独自路線などをひもとき、当時の様相を明らかにする。

## ◆◆ 研究書 (近代) ◆◆

丹羽みさと 著 新典社研究叢書 320  
八百屋お七論  
近代文学の物語空間  
ISBN978-4-7879-4320-0 A5上製 264頁 7700円

杉本完治 編著 新典社研究叢書 272  
森 鷗 外 『舞 姫 』  
本文と索引  
ISBN978-4-7879-4272-2 A5上製 264頁 7700円

桃澤匡行 著 新典社研究叢書 281  
根岸短歌会の証人 桃澤茂春  
— 『庚子日録』『曾我蕭白』 —  
ISBN978-4-7879-4281-4 A5上製 408頁 12000円

名木橋忠大 著 新典社研究叢書 247  
立 原 道 造 新 論  
ISBN978-4-7879-4247-0 A5上製 288頁 8300円

近世文学の八百屋お七諸作品を、近代作家達はどのように理解し、利用していったのか。五人の作家による翻案作品をもとに、典拠の解釈や表現様式を分析し、近代お七物の系譜を新たに提示する。

大正4年『塵泥』掲載の『舞姫』と明治23年『国民之友』掲載の『舞姫』を対照し、自筆草稿との校異、語義の頭注をつけた。品詞分類つきの精細な索引も収載し、研究者・国語科指導者必携の一冊。

歌人・桃澤茂春の『庚子日録』の翻刻と影印から、正岡子規晩年の根岸短歌会の様相を知り、また画人・趣味人としても多才であった茂春を数々の資料から読み解く。豊富なカラー口絵つき。

詩人・建築家として日本回帰の時期を生きた立原道造について、その詩形成における根本原理を探索し、立原と音楽、本歌取り、リルケ、芳賀檀、建築美学の関連から、精神的位置を探る一書。

大谷哲 著 **新典社研究叢書 224**  
**内 田 百 閒 論**  
他者と認識の原画  
ISBN978-4-7879-4224-1 A5上製 416頁 12000円

第一・第二創作集『冥途』『旅順入城式』所収のテキストを研究対象とし、構造論的考究により、近代文学における内田百閒の文学の新たな位置づけの可能性とともに、〈作者〉像を見出す。

野村幸一郎 編  
**松井石根 アジア主義論集**  
ISBN978-4-7879-5513-5 A5上製 292頁 8500円

東京裁判で死刑判決を受け、処刑された陸軍軍人・松井石根が生前に発表した中国問題や大亜細亜主義に関する文章を復刻。近代日本思想史上における松井の位置を俯瞰するための資料集。

土屋忍 著 **新典社研究叢書 242**  
**南 洋 文 学 の 生 成**  
訪れることと想うこと  
ISBN978-4-7879-4242-5 A5上製 368頁 10500円

地政学的実体と詩的幻想の間で生成する南洋文学。荷風・横光・芥川らが取り組み、南方・南洋・東南アジアなどを描くそれらを、テキストの読解を出発点に論述し、研究の俎上に乗せる。

太田昌孝 著 **新典社研究叢書 234**  
**西 脇 順 三 郎 論**  
— 〈古代〉そして折口信夫 —  
ISBN978-4-7879-4234-0 A5上製 256頁 7500円

言語芸術の内部に生きた詩人・西脇について、その精神的基層を形成した小千谷の民俗と、折口信夫及び松尾芭蕉受容に代表される日本的な言語情調・詩情への傾斜を中心に考究し、解明する。

川鍋義一 著 **新典社研究叢書 252**  
**吉 本 隆 明 初 期 詩 篇 論**  
—— 我と我々と  
ISBN978-4-7879-4252-4 A5上製 400頁 11500円

吉本隆明『固有時との対話』『転位のための十篇』の二作品を初期吉本の集大成かつ節目と位置づけ、その読みから初期吉本像を探る。これまで十分に論じてこられなかった吉本詩の本源に肉薄。

# ◆◆ 教科書 ◆◆

伊地知鉄男 編

## 増補改訂 仮名変体集

ISBN978-4-7879-0410-2 B6並製 64頁 350円

平安時代初期から室町時代にいたる間の古典作品・古筆切等に実際に使用されている字形を草がな・片かなの順にそれぞれ五十音順に集字配列。巻末に異体・略体・俗字体を画数順に付けた。

かな研究会 編

## 実用変体がな

ISBN978-4-7879-0423-2 A5並製 112頁 600円

平安から江戸時代までの古写本・古筆切等から集字。右頁に草がなを五十音順に配列し、左頁に該当する短文または和歌を掲げ、その右傍に字母と読みを示した。片かなと読みをつけた用例付。

かな研究会 編

## 画引き かな解説字典

ISBN978-4-7879-0427-0 A5並製 112頁 600円

読めない字の検索に不便であったこれまでの手引書を根本的に見直し、画数で容易に引けるように工夫した、画期的な「かな解説」の決定版。文学作品上で実際に使用されている字形を用いた。

くずし字研究会 編

## 画引き くずし字解説字典

— 増補改訂・索引付 —

ISBN978-4-7879-0428-7 A5並製 128頁 800円

平安～江戸の写本・版本・古筆切等に実際に使用されている字形を集字。異体・略体・俗字体も含めた。当該画数の前後にも掲載し、類似した字形をまとめるなど、誤読を防ぐ工夫もした画期的な書。

小島孝之 著

古筆切で読む

## くずし字練習帳

ISBN978-4-7879-0626-7 B5並製 64頁 1000円

古筆切を鑑賞しながら見開き2ページを1課題、1日1題×3週間のステップアップ方式でくずし字の基本を無理なく無駄なくマスター。豊富な豆知識や解説付きで、初心者の方あなたに絶対のお勧め！

田代圭一・山中悠希・和田琢磨 編

## 変体がなで読む日本の古典

ISBN978-4-7879-0639-7 A4並製 80頁 1000円

竹取物語・源氏物語・平家物語など、古典作品の名場面を変体がなで読むテキスト。この一冊で変体がなを基礎から習得しつつ、作品の解説や書誌学に関するコラムも楽しめる。

塚原鉄雄 著

## 新講古典文法

ISBN978-4-7879-0610-6 A5並製 144頁 1300円

学生の古典読解に役立つ指導が可能な文法書。原則として見開き二頁で処理。上段に簡潔な文法事項の説明、下段に豊富な用例を古典作品から長文で掲げるなど、教室での実際に即応させた。

竹尾利夫・本間洋一・濱中修・安保博史 編

## 古典文学概論

— キーワードで読む原典 —

ISBN978-4-7879-0619-9 A5並製 272頁 2380円

キーワードを軸に原典を読む為のテキスト。雅び・色好み・数奇・わび等文学理念上の鍵語と異郷・境界・遊女・やつし・漂泊等文学に関わる鍵語を収録し解説・参考文献・原典・注に影印・年表付。

山岸徳平 編

## 作品中心 日本文学史

ISBN978-4-7879-0603-8 A5並製 228頁 1000円

記述式を排して作品理解と史的流れに重点をおき、実際に教室で使える文学史を意図した教材。上代から近世までの各期の初めに簡単な解説、項目に講義題目となるタイトル、巻末に年表付。

山岸徳平 編

## 日本文学研究のために——

ISBN978-4-7879-0607-6 A5並製 192頁 1200円

現在行われている日本文学の研究方法を紹介、各時代の作家・作品の具体的な研究成果を最新の研究水準として示し、研究の基礎的知識と実践的方法を具体的に記したユニークな入門教材。

青木・糸賀・井上・木村・濱口・藤平・森本 編

## 女 流 の 文 学

— 古典編 —

ISBN978-4-7879-0605-2 A5並製 256頁 1600円

古典和歌研究会 編

## 日 本 詩 歌 選

〔改訂版〕

ISBN978-4-7879-0601-4 A5並製 248頁 1000円

中村幸弘・碁石雅利 著

## 日本古典 文・和歌・文章の構造

ISBN978-4-7879-0629-8 A5並製 282頁 2700円

中村幸弘・杉本完治 著

## 漢 文 文 型 訓 読 の 語 法

ISBN978-4-7879-0630-4 A5並製 392頁 3800円

日本文学検定委員会 編

## 日 本 文 学 検 定 公 式 問 題 集

〔古典・近現代〕 3級

ISBN978-4-7879-7901-8 A5並製 256頁 1500円

日本文学検定委員会 編

## 日 本 文 学 検 定 公 式 問 題 集

〔古典〕 2級・〔近現代〕 2級

〔古典〕 7902-5 352頁 〔近現代〕 7903-2 368頁 各2000円

古典文学の中で、大きな役割を果たしてきた女性の作品を一堂に集め、彼女たちの生きた記録や苦悩、文学活動の史的・位置・影響関係などが、つづさに分るように編集した好教材。総説・年表付。

上代から近代までの和歌を中心に詩歌全体を収め、日本独特の詩歌形式と複雑な和歌の流れを、立体的に把握できるように工夫した好教材。各期ごとに概説を付し、的確な頭注を施した。

古典の文章を的確に読みとることができる、その学習法と教授法について、高校古典文法から脱却し、文章構造や形式・表現・展開からの読み方を体得する。古典を教える人・学ぶ人のための必携書。

漢文を文章として通読するための実践術を記した全く新しい学習参考書。豊富な用例と解説、実用的な付録を備え、古典を教えている指導者、センター試験・大学試験に挑む受験生にも必携の一書。

日本文学に関する基本的な知識のほか、古典作品の意外な内容や、文豪たちの知られざる逸話など、知って得する小話・雑学も満載。受験対策のスタートからゴールまでをサポートする一冊。

毎年8月開催の日本文学検定。作者の素顔や作品の舞台裏など専門知識を深める。上代～近世の古典編。明治以降の近現代編。監修：松本直樹・阿部好臣・和田琢磨・長島弘明・井上隆史・猪狩友一

## ◆◆ 教科書（上代） ◆◆

辰巳正明 監修

## 古 事 記 歌 謡 注 釈

歌謡の理論から読み解く古代歌謡の全貌

ISBN978-4-7879-0634-2 A5並製 288頁 2600円

林田正男 編

新典社校注叢書 3

## 校 注 万 葉 集 筑 紫 篇

ISBN978-4-7879-0803-2 B6上製 272頁 1900円

桜井満・並木宏衛 校注

影印校注古典叢書 10

## 万 葉 集

— 巻一・二 —

ISBN978-4-7879-0210-8 A5並製 112頁 1100円

川上富吉 編

## 影印本 万 葉 集 略 解 抄

ISBN978-4-7879-0424-9 A5並製 160頁 1600円

古事記に収められる歌謡は神話物語の中に登場するが、後付けされたと考えられ物語と緊密な関係にはない。古事記歌謡をそれぞれ独立した歌謡として捉え、本来の性質を追究する画期的な一書。

万葉集の筑紫に関する歌335首と参考歌40首を収録。西本願寺本を底本に諸本によって校訂し、右頁に原文、校異・人名・地名等を頭注。左頁に読み下しを対照させ、解釈・出典等を頭注した。

万葉集の伝本中でもっとも信頼されている西本願寺本を定本とし、巻一と巻二の全文を一冊に収めた。上段に訓み下し文、下段に全文の影印、横に講読上必要な注をつけた。

簡潔な注釈によって多くの人々に愛用された橘千蔭『万葉集略解』の安政三年補刻版を基に代表的な作者二十八人の作品を選抄し文学史的に作者別・年代順に配列し直した好教材。解説付。

鈴木淳・吉村誠 編

## 影印本 万葉新採百首解

ISBN978-4-7879-0430-0 A5並製 208頁 1845円

辰巳正明 著

懐

風

藻

古代日本漢詩を読む

ISBN978-4-7879-0646-5 A5並製 392頁 3600円

宝暦二年に田安宗武の命により真淵が執筆呈上。歌評は万葉風の手本。大文字屋と三兵衛と河内屋喜兵衛による京坂二書肆相合板の大本二冊を全文影印。歌頭に通し番号、解題・解説・索引付。

現存する最古の漢詩集『懐風藻』。全注釈の成果を踏まえ、原文・訓読・現代語訳・校異・解説を完備しながら読みやすい体裁を実現した、漢詩を学ぶ人、飛鳥・奈良朝の文学を学ぶ人にとって必携の一冊。

## ◆◆ 教科書（中古） ◆◆

片桐洋一 編

## 竹 取 物 語

ISBN978-4-7879-0415-7 原寸大並製 104頁 1000円

片桐洋一 編

## 影印本 伊勢物語

ISBN978-4-7879-0402-7 A5並製 164頁 1100円

小林茂美 校注

影印校注古典叢書 6

## 伊 勢 物 語

ISBN978-4-7879-0206-1 A5並製 184頁 1700円

橋りつ 校注

影印校注古典叢書 3

## 古 今 集 一

ISBN978-4-7879-0203-0 A5並製 144頁 1300円

萩谷朴 編

## 影印本 土左日記

(新訂版)

ISBN978-4-7879-0403-4 A5並製 112頁 800円

柳田忠則 編

新典社校注叢書 5

## 校注 大 和 物 語

ISBN978-4-7879-0805-7 B6並製 216頁 1600円

小町谷照彦 編著

## 絵とあらすじで読む源氏物語

— 溪斎英泉『源氏物語絵尽大意抄』 —

ISBN978-4-7879-5507-4 A5上製 512頁 4600円

山岸徳平・今井源衛 監修

## 青表紙本 源氏物語

全五十四帖別冊二

ISBN978-4-7879-0001~0056 樹型 総6294頁 揃価54650円

通行本系統の高松官家蔵本を樹型のまま複製し、簡潔的確な解説を別冊で付けた。現存写本中でもとくに筆跡が美しく、「竹物語」とうつけ書きに外題を記している由緒ある善本である。

流布本系統の最善本、千歳文庫所蔵の正徹奥書、蛸川智蘊蔵本を全文影印。底本と伝定家筆天福本・中院通勝筆武田本・伝東常縁筆武田本との相異を頭注に示し、定家本系統『伊勢物語』の実態を明らかに。

天福本系統の古写本、三条西家旧蔵、学習院大学蔵の伝定家筆本を底本として、上段に翻刻、下段に全文の影印、横に注をつけた。定家自筆の面影を忠実に留めた証本の一つ。

定家本の貞応本と考えられる東洋大学図書館蔵、伝二条為世筆本を底本とし、仮名序から巻第三夏歌までを収めた。右頁に全文の影印、左頁上段に翻刻、下段に注をつけた。

為家自筆本を忠実に書写した桃園文庫所蔵青谿書屋本の全文を影印した。本文解釈の最高権威の編者が、新しく発見された為家自筆本との校合に基づいて大改訂を行い、最新の改訂版とした。

為家本を底本に全文を翻刻し、最近の学術的成果を盛り込んだ人名・地名・校異を頭注した。和歌には出典明記。付録に和歌初句索引・明治23年～昭和60年までの『大和物語』関連文献を全網羅。

江戸時代に『源氏物語』の入門書として広く読まれた『源氏物語絵尽大意抄』を中心に、美麗な源氏絵を多数収録。懇切なあらすじと解説を添え、絵とことばの両面から楽しむことのできる新しいわたちの源氏入門書。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』を全帖帖別原寸大で複製し各帖末に一流専門家による解題・登場人物関係図・注をつけた優雅な完本。三条西実隆の花押付。別冊2冊をつけて完備。分売可。

井上八雲 編・中田武司 監修

変体仮名で読む 源氏物語全和歌

ISBN978-4-7879-0628-1 B5並製 240頁 3800円

久下晴康・元吉進 編

新注 源氏物語抄

ISBN978-4-7879-0611-3 A5並製 192頁 1600円

山岸徳平 校注

影印校注古典叢書 1

桐 壺

ISBN978-4-7879-0201-6 A5並製 80頁 850円

大養廉・奥出文子 校注

影印校注古典叢書 17

帚 木

ISBN978-4-7879-0217-7 A5並製 144頁 1250円

有吉保・安藤亨子 校注

影印校注古典叢書 25

若 紫 ・ 末 摘 花

ISBN978-4-7879-0225-2 A5並製 232頁 1800円

神作光一・遠藤和夫 校注 影印校注古典叢書 34

紅 葉 賀 ・ 花 宴 ・ 葵

ISBN978-4-7879-0234-4 A5並製 236頁 1800円

伊藤欽也 編

ハーバード  
大学美術館蔵 『源氏物語』 「須磨」

ISBN978-4-7879-0631-1 A5並製 186頁 1600円

伊藤欽也 編

ハーバード  
大学美術館蔵 『源氏物語』 「蜻蛉」

ISBN978-4-7879-0632-8 A5並製 210頁 1800円

伊藤欽也・阿部江美子・浅川慎子 編

国立歴史民俗  
博物館蔵 『源氏物語』 「鈴虫」

ISBN978-4-7879-0637-3 A5並製 154頁 1800円

伊藤欽也・浅川慎子 編

国文学研究  
資料館蔵 橋本本 『源氏物語』 「若紫」

ISBN978-4-7879-0640-3 A5並製 178頁 1400円

橋誠 校注

影印校注古典叢書 18

須 磨 ・ 明 石

ISBN978-4-7879-0218-4 A5並製 224頁 1800円

定家筆の青表紙本を書写したことを時の有識者・三条西実隆が証した、由緒ある源氏物語（宮内庁書陵部蔵）。その流麗な写本から和歌部分のみを抜き出し、翻刻・字母・解釈を添えた好教材。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』を底本として、主要な出来事の部分を抄出し翻刻した。省略部分については、それぞれ梗概を掲げ、全体の流れが把握できるよう配慮した。頭注は校異、古注付。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の桐壺の巻を底本に、翻刻を上段に掲げ、下段に該当の影印を対照させた完本。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の帚木の巻を底本として、翻刻を上段に掲げ、下段に全文の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の若紫・末摘花の巻を底本に、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の紅葉賀・花宴・葵の巻を底本として上段に翻刻、該当の影印を下段に対照させ、写本の読み方も分かるよう留意。懇切丁寧な注や校異はその頁の横に付けた。

米国ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』 「須磨」巻は現存する『源氏物語』でも書写年代の古い、極めて貴重な古写本である。この影印と翻字本文について、各頁上下段で対照できるよう掲げた。

米国ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』 「蜻蛉」巻は、「須磨」巻と共に現存する『源氏物語』でも書写年代の古い貴重な古写本である。この影印と翻字本文を各頁上下段に対照できるよう掲げた。

国立歴史民俗博物館蔵、通称中山家本『源氏物語』 「鈴虫」のカラー影印と翻字を対照して掲載。既刊「須磨」「蜻蛉」についても新たな方針「変体仮名翻字版」に則った改訂版翻字を収めた。

『源氏物語』における貴重な古写本の影印と翻字を一頁内の上下で対照して読めるシリーズの第四弾。特異な本文を伝えるとされる橋本本『源氏物語』より「若紫」を刊行。解説つき。

宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の須磨と明石の巻を底本として翻刻を上段に、下段に全文の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。

|                       |                                       |                                                                                           |
|-----------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 守屋省吾 校注               | 影印校注古典叢書 28                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の澤標・蓬生・関屋の三巻を底本として、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるように留意した。  |
| 澤 標 ・ 蓬 生 ・ 関 屋       | ISBN978-4-7879-0228-3 A5並製 208頁 1700円 |                                                                                           |
| 野口元大 校注               | 影印校注古典叢書 35                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の絵合・松風・薄雲の巻を底本として、上段に翻刻、下段に該当の影印を対照させ、写本の読み方も分かるようにした。注や校異はその頁の横に付けた。    |
| 絵 合 ・ 松 風 ・ 薄 雲       | ISBN978-4-7879-0235-1 A5並製 220頁 1800円 |                                                                                           |
| 武山隆昭 校注               | 影印校注古典叢書 38                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の槿・乙女の巻を底本として、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。懇切丁寧な注と校異を横に掲げ、写本の読み方も分かるよう留意した。     |
| 槿 ・ 乙 女               | ISBN978-4-7879-0238-2 A5並製 206頁 1700円 |                                                                                           |
| 小山利彦 校注               | 影印校注古典叢書 33                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の玉鬘・初音の巻を底本として、翻刻を上段に、下段に該当の影印を対照させた。注は横に掲げ、写本の読み方も分かるよう留意した。            |
| 玉 鬘 ・ 初 音             | ISBN978-4-7879-0233-7 A5並製 184頁 1700円 |                                                                                           |
| 中田武司 校注               | 影印校注古典叢書 29                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の篝火・野分・行幸・藤袴の巻を底本として、上段に翻刻、該当の影印を下段に対照させ、写本の読み方も分かるように留意。注はその横に掲げた。      |
| 篝 火 ・ 野 分 ・ 行 幸 ・ 藤 袴 | ISBN978-4-7879-0229-0 A5並製 200頁 1700円 |                                                                                           |
| 井爪康之 校注               | 影印校注古典叢書 37                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の真木柱・梅ヶ枝・藤裏葉の巻を底本として上段に翻刻、下段に影印を対照させ、写本の読み方も分かるようにした。注や校異はその頁の横に付けた。     |
| 真 木 柱 ・ 梅 ヶ 枝 ・ 藤 裏 葉 | ISBN978-4-7879-0237-5 A5並製 236頁 1800円 |                                                                                           |
| 岡野道夫 校注               | 影印校注古典叢書 14                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の柏木の巻を底本として、翻刻を上段に掲げ、下段に該当の影印を対照させた完本。懇切丁寧な注は横に掲げ、写本の読み方も分かるよう留意。        |
| 柏 木                   | ISBN978-4-7879-0214-6 A5並製 126頁 1100円 |                                                                                           |
| 森本元子 校注               | 影印校注古典叢書 36                           | 宮内庁書陵部蔵青表紙本『源氏物語』の橘姫・椎本の巻を底本に、翻刻を上段に掲げ、該当の影印を下段に対照させ、写本の読み方も分かるよう留意した。注は横に掲げた。            |
| 橘 姫 ・ 椎 本             | ISBN978-4-7879-0236-8 A5並製 224頁 1942円 |                                                                                           |
| 平田喜信 校注               | 影印校注古典叢書 22                           | 宮内庁書陵部蔵、三条西実隆筆『和泉式部日記』を底本とし、翻刻を上段に掲げ、下段に該当の影印を対照させた完本。注は横に掲げ、写本の読み方もわかるように留意した。           |
| 和 泉 式 部 日 記           | ISBN978-4-7879-0222-1 A5並製 124頁 1200円 |                                                                                           |
| 鈴木一雄・伊藤博 編            |                                       | 三条西家旧蔵本・寛元本系諸本・応永本系諸本の三系統が伝わるが、本書は応永本系統の最善本、書陵部蔵本を初めて全文影印した。諸本との異同、難語句、地名など、的確な頭注・解題を加えた。 |
| 影印本 和 泉 式 部 物 語       | ISBN978-4-7879-0404-1 A5並製 112頁 1000円 |                                                                                           |
| 萩谷朴 編                 | 新典社校注叢書 2                             | 宮内庁書陵部蔵黒川本を底本として『全注釈』の本文に準拠し、80の章段に分けて全文を翻刻した。参考に関連の深い『栄花物語』『日記歌』からの引用と作中人物一覧、和歌各句索引を付した。 |
| 校 注 紫 式 部 日 記         | ISBN978-4-7879-0802-5 B6並製 160頁 1500円 |                                                                                           |

小久保崇明 校注 影印校注古典叢書 9・30・39

## 大 鏡 上・中・下

㊤ISBN978-4-7879-0209-2 A5並製 136頁 1200円

塚原欽雄・神尾暢子 校注 影印校注古典叢書 7・13

## 堤 中 納 言 物 語 上下

㊤ISBN978-4-7879-0207-8 A5並製 112頁 1000円

大倉比呂志 編 新典社校注叢書 11

## 校注 堤 中 納 言 物 語

ISBN978-4-7879-0811-1 B6並製 136頁 1350円

大養廉 編

## 影印本 更 級 日 記

ISBN978-4-7879-0406-5 A5並製 208頁 1300円

小谷野純一 編 新典社校注叢書 10

## 校注 更 級 日 記

ISBN978-4-7879-0810-0 B6上製 168頁 1700円

久下晴康・堀口悟 編 新典社校注叢書 4

## 校注 狭 衣 物 語 卷一・卷二

ISBN978-4-7879-0804-9 B6上製 224頁 1700円

小谷野純一 編 新典社校注叢書 9

## 校注 讃 岐 典 侍 日 記

ISBN978-4-7879-0809-4 B6上製 160頁 1650円

大妻女子大学国文学会 編 大妻文庫 2

## 詞 花 和 歌 集

ISBN978-4-7879-6062-7 B6並製 328頁 2500円

千葉氏本系統の宮内庁書陵部蔵、桂宮家旧蔵本甲三冊本を底本とし、上段に翻刻、下段に影印を対照させ、横に注をつけた完本。巻頭に簡潔な解題。㊤0230-6 176頁 1600円・㊤0239-9 168頁 1500円

今井似閑が書写献上した上賀茂神社蔵の三手文庫本を底本とし、上段に翻刻、下段に影印を対照、横に注をつけた完本。上巻に最初の6編を、下巻に残り5編を収めた。㊤0213-9 A5並製 152頁 1200円

底本は高松宮家本を中心とし、適宜漢字をあてルビをふり、送り仮名や反復記号、濁点、句読点を付した。巻末に学習者の参考に資する参考文献や「はいずみ」の参考資料を掲載。

御物本「更級日記」の全文を影印。定家晩年の円熟した筆勢による本文、傍注その他にもきわめて鮮明な影印を心がけた。頭注や巻末の補注・略系図にも可能な限り新見を加え、年表も付した。

底本に御物本を使用。誤写と思われるものは検証訂正し本文を整定。103章節に区分、頭注し、解説、頭注語句・和歌各句索引、主要研究文献目録付。底本末尾の奥書・勘物も完備した。

第一類本系統の最善本、内閣文庫蔵「さころも」四冊本を底本に、巻一・二の全文をできるだけ忠実に活字化しながら段落及び小見出しを設け、頭注は引歌及び参考歌程度にとどめた好教材。

底本は群書類従本を使用。23本の伝本によって校定を加え、誤謬と判断されるものは検証の上改訂するなど本文整定を試みた最新の書。44章節に区分して頭注し、解説・改訂本文・索引付。

大妻女子大学所蔵の善本を順次刊行する「大妻文庫」シリーズ第二回配本は六番目の勅撰和歌集『詞花和歌集』。後小松院と飛鳥井雅教により書写された旨の極札を有する。影印・翻刻・解題を掲載。

## ◆◆ 教科書（中世） ◆◆

浅見和彦・天野文雄・小島孝之・田村柳壺 編  
編 年 中 世 の 文 学

— 中世文学小事典 —

ISBN978-4-7879-0612-0 A5並製 320頁 2000円

長崎健・桑原博史 編 新典社校注叢書 1

## 校注 方 丈 記・徒 然 草

ISBN978-4-7879-0801-8 B6上製 224頁 1700円

新しい工夫をこらした立体的なテキスト。1151～1600年までを50年ごとに区分（解説・年表付）し、作品を韻文・散文・芸能に大別、成立順（含推定）に配列。脚注を付し豊富に参考記事を掲出した。

方丈記は重要文化財指定の最善本「伝長明筆 大福光寺本方丈記」を、徒然草は東京大学国語研究室蔵、通称細川幸隆本「徒然草」を底本として全文翻刻した。人名・地名他を頭注。

|                                        |             |                                                                                              |
|----------------------------------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小内一明 校注                                | 影印校注古典叢書 11 | 伝本中最古・最善と考えられる大福光寺本を底本とし、右頁に全文の影印、左頁の上段に翻刻、下段に注。補注に、事件の記録類や出典・類想表現・古注等を収録した最良の教材。            |
| 大福光寺本                                  |             |                                                                                              |
| 方 丈 記                                  |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0211-5 A5並製 112頁 1100円  |             |                                                                                              |
| 田中裕 編                                  |             | 定家自筆本が、その一部を失う以前の完全な姿を伝える陽明文庫蔵「近代秀歌」と、堯孝自筆本「詠歌大概」を全文影印し、静嘉堂文庫蔵「毎月抄」を翻刻で収めた。適切な解題と注付。         |
| 影印本 定家歌論集                              |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0405-8 A5並製 102頁 1000円  |             |                                                                                              |
| 麻原美子・春田宣・松尾葦江 編                        |             | 屋代本は國學院大学図書館蔵と京都府立総合資料館蔵、高野本は東大国語学研究室蔵を底本に、見開き頁で対照。①は1〜4、屋代本解説②は5〜8、高野本解説③は9〜12、屋代本抜書・剣巻、総説。 |
| 屋代本高野本                                 |             | ②0614-4 400頁 3000円 ③0615-1 552頁 [品切]                                                         |
| 対照 平家物語 (全三巻)                          |             |                                                                                              |
| ①ISBN978-4-7879-0613-7 A5並製 400頁 3000円 |             |                                                                                              |
| 有吉保・犬養廉・橋本不美男 校注                       | 影印校注古典叢書 2  | 宮内庁書陵部蔵、兼載筆「百人一首」卷子一卷を底本とし、一頁に二首ずつ、上段に翻刻、下段に影印を対照させた。各歌ごとの作者略伝・出典・注・参考を横につけた。                |
| 百人一首 (兼載筆)                             |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0202-3 A5並製 64頁 700円    |             |                                                                                              |
| 有吉保・犬養廉・橋本不美男 編                        |             | 宮内庁書陵部蔵の兼載筆卷子本一卷を、全文影印した。宗祇注「百人一首」との本文の相異・地名・難語句を頭注し、作者伝・出典・参考など、本文理解の補助となるものを巻末に付載した好教材。    |
| 影印本 百人一首                               |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0401-0 A5並製 80頁 750円    |             |                                                                                              |
| 有吉保・神作光一 校注                            | 影印校注古典叢書 5  | 百人一首最古の古注群の一つ、有吉保氏蔵本を底本として、右頁に全文の影印、左頁上段に翻刻、下段に注をつけた。飛鳥井流古注の実体を示す好資料。巻頭に解題をつけた。              |
| 小倉山庄色紙和歌                               |             |                                                                                              |
| — 百人一首古注 —                             |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0205-4 A5並製 168頁 1400円  |             |                                                                                              |
| 大倉比呂志・鈴木泰恵 編                           | 新典校注叢書 12   | 宮内庁書陵部蔵の孤本を底本に翻刻・校訂・注釈。同時代に成立した中世王朝物語との相互関係に注目し、同時代文学という観点から捉えていくべき本作を授業などで広く用いやすい一冊とした。     |
| 校注 風に紅葉                                |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0812-4 B6並製 128頁 1280円  |             |                                                                                              |
| 渡辺静子 校注                                | 影印校注古典叢書 31 | 安永9年の奥書を持つ藤原宗城の自筆本一冊、平野神社(蹴鞠神社)蔵本を右頁に全文影印、左頁上段に翻刻、下段に注をつけての初紹介。飛鳥井雅有の多面性を見ることのできる好作品。        |
| 春のみやまぢ                                 |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0231-3 A5並製 216頁 1800円  |             |                                                                                              |
| 一瀬・江口・長崎 校注                            | 影印校注古典叢書 4  | 東京大学総合図書館蔵「阿仏十六夜日記」(伝池田光政筆本)を底本として、右頁に影印を掲げ、左頁上段に翻刻、下段に注をつけた完本。巻頭に解説・変体仮名初出一覧表をつけた。          |
| 十六夜日記                                  |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0204-7 A5並製 96頁 1000円   |             |                                                                                              |
| 松村雄二 編                                 | 新典校注叢書 6    | 宮内庁書陵部本を底本に適宜漢字を当てて段落を設け、漢字にはできるだけ多くふり仮名を付し、とくに敬語接頭語「御」には意を用いて区別を明確にした。人名・地名・引歌を頭注した。        |
| 校注 とはずがたり                              |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-0806-3 B6並製 272頁 2000円  |             |                                                                                              |
| 大妻女子大学国文学会 編                           | 大妻文庫 1      | 大妻女子大日本文学科・同短大国文科所蔵の善本を順次刊行する新シリーズ。永禄六年書写の奥書が残る『徒然草』は、享受・流布を考証する上で貴重な写本である。影印・翻刻・解題を収録。      |
| 徒 然 草                                  |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6061-0 B6並製 528頁 3800円  |             |                                                                                              |

|                          |                                                                                 |                                                                                         |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 西沢・石黒 校注                 | 影印校注古典叢書 16                                                                     | 唯一の完本である東京大学附属図書館蔵の奈良絵本「およふのあま」と、国立国会図書館蔵の奈良絵本「玉もの前」を底本として上段に翻刻、下段にさし絵を含めた全文の影印、横に注付。   |
| お伽草子 一<br>— およふの尼・玉もの前 — | ISBN978-4-7879-0216-0 A5並製 112頁 1100円                                           |                                                                                         |
| 大妻女子大学国文学会 編             | 大妻文庫 3・4・5                                                                      | 古活字本研究資料としても有益な大妻女子大学蔵の十一行古活字本影印を収載。漢字をあてて読みやすくした翻刻からは流布本への過渡的な様相を呈する本文内容が読み取れる。校異注つき。  |
| 曾我物語 上・中・下               | ④ISBN978-4-7879-6063-4 B6並製 432頁 3200円<br>④6064-1 560頁 4100円 ⑤6065-8 512頁 3700円 |                                                                                         |
| 川平ひとし・大伏春美 編             |                                                                                 | 「六歌仙」「八景和歌」等、三十余の歌集から、五九六首の〈数〉に関わる和歌を蒐集した江戸期の歌集『鳴の羽搔』を全文影印。懇切な解題と和歌・作者索引を付した好教材。        |
| 影印本 鳴の羽搔                 | ISBN978-4-7879-0431-7 A5並製 288頁 2000円                                           |                                                                                         |
| 廣木一人 編                   |                                                                                 | 書陵部蔵、続群書類従写本による紫野千句第一百韻／石山百韻／宝徳千句第一百韻／熊野法楽千句第一百韻／新口筑波祈念百韻／尼子晴久夢想披百韻／明智光秀張行百韻の七種を影印。頭注付。 |
| 影印本 連歌作品集                | ISBN978-4-7879-0425-6 A5並製 128頁 1300円                                           |                                                                                         |

## ◆◆ 教科書 (近世) ◆◆

|                       |                                                                                     |                                                                                                   |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本間洋一 編                |                                                                                     | 林鶯峰・梅洞父子の編になる平安時代人士の詩文にまつわる逸話の書を忠実に翻刻。頭注付。編纂素材や後世への影響の一斑を小研究で併載。版本影印と人名・引用詩文句索引付。                 |
| 史館茗話                  | ISBN978-4-7879-0620-5 A5並製 192頁 1900円                                               |                                                                                                   |
| 佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦 編 |                                                                                     | 連句の世界を学ぶためのテキスト。基本的事項や史的展開を概説し、代表的作品を影印・翻刻で掲げ脚注を施す。とくに芭蕉一座の四歌仙と蕪村一座の二歌仙は最善本により影印で掲出。              |
| 連句の世界                 | ISBN978-4-7879-0618-2 A5並製 128頁 1300円                                               |                                                                                                   |
| 峯岸義秋・扇畑忠雄・片野達郎 編      |                                                                                     | 断片的、網羅的な傾向を排し、江戸時代を代表する三作家に焦点を絞ったのが本書の特徴。各作家の生涯と作品、厳選された本文に懇切な頭注をつけた。巻末に芭蕉・近松・西鶴の略年表付。            |
| 芭蕉・近松・西鶴              | ISBN978-4-7879-0604-5 A5並製 174頁 1000円                                               |                                                                                                   |
| 雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又 編   |                                                                                     | I、『大坂独吟集』『古今誹諧師手鑑』『好色一代男』『好色五人女』他、II、『日本永代蔵』『世間胸算用』『西鶴置土産』他、代表作品を収録。厳選された全文の影印に懇切な頭注、簡潔的確な解説を付けた。 |
| 影印版頭注付<br>西鶴の世界 I・II  | I ISBN978-4-7879-0622-9 A5並製 128頁 1300円<br>II ISBN978-4-7879-0623-6 A5並製 128頁 1300円 |                                                                                                   |
| 景山正隆・松崎仁 編            |                                                                                     | 『平家物語』の鬼界が島の部分、謡曲『俊寛』、浄瑠璃『平家女護島』二段目を翻刻し、簡潔な頭注を付けた。同一素材がジャンルによって変わる様子が容易に学習できるようにした教材。影印付。         |
| 俊寛                    | — 平家・謡曲・浄瑠璃 —<br>ISBN978-4-7879-0609-0 A5並製 160頁 1300円                              |                                                                                                   |
| 雲英末雄・佐藤勝明 編           |                                                                                     | 蕉門のすぐれた一大撰集として高く評価されている『猿蓑』を全文影印し、『猿蓑』解説上有益な資料であり、現在唯一の完本である『猿蓑箋注』を付録として翻刻した。参考文献目録付。             |
| 影印本 元禄版猿蓑             | — 『猿蓑箋注』翻刻付 —<br>ISBN978-4-7879-0426-3 A5並製 192頁 1845円                              |                                                                                                   |

森修 編

## 影印本 曾 根 崎 心 中

— 加賀掾直伝 —

ISBN978-4-7879-0409-6 A5並製 74頁 750円

景山正隆 編

## 影印本 心中重井筒・今宮の心中

ISBN978-4-7879-0414-0 A5並製 168頁 1300円

大阪府立図書館八行二十五丁本を底本とし、加賀掾正本・八行二十六丁本他により、落丁・破損・汚損部分を補って全文を影印した。本文の相異・典拠・地名・特殊用語・曲節などについて頭注。

『心中重井筒』は八行三十二丁本、山本九兵衛・山本九右衛門版、『今宮の心中』は八行四十丁本、同上版を全文影印。作品の成立を中心に基本的事項を解説し、義太夫節丸本の節付を略説した。

## ◆◆ 教科書（近代・現代・日本語・教育・言語） ◆◆

京都橘大学日本語日本文学科 編

## 新版 作品で読む20世紀の日本文学

ISBN978-4-7879-0643-4 A5並製 88頁 1000円

京都橘大学日本語日本文学科 編

## 新版 作品で読む明治文学

ISBN978-4-7879-0645-8 A5並製 122頁 1100円

京都橘大学日本語日本文学科 編

## 新版 作品で読む宮沢賢治

ISBN978-4-7879-0644-1 A5並製 88頁 1000円

赤木孝之 編

## 注 釈 『 晩 年 』 抄

ISBN978-4-7879-0616-8 A5並製 224頁 1748円

池田重 監修

## 中 級 か ら の 日 本 語

— 読解中心 —

ISBN978-4-7879-8100-4 B5並 192頁 別冊24頁 2000円

伊藤善隆・小森潔 監修

## 日 本 語 リ テ ラ シ ー

ISBN978-4-7879-0627-4 B5並製 64頁 1000円

夏目漱石『坊っちゃん』森鷗外『雁』芥川龍之介『地獄変』中島敦『山月記』坂口安吾『桜の森の満開の下』計5編を収めた。教材としての使いやすさを考慮し、4編は抄出。作家・作品紹介つき。

明治という時代を文学から知るべく、森鷗外『舞姫』、樋口一葉『たけくらべ』、泉鏡花『高野聖』、田山花袋『蒲団』、夏目漱石『三四郎』、谷崎潤一郎『刺青』の6編（5編は抄出）を収めた。

宮沢賢治とはいかなる作家であったか、代表作の抄出から読む。注文の多い料理店・オツベルと象・なめとこ山の熊・よだかの星・グスコーブドリの伝記・銀河鉄道の夜。賢治の生涯と文学の解説つき。

太宰治の第一創作集『晩年』から、葉/思ひ出/魚服記/列車/道化の華/猿面冠者/逆行/陰火の8作を選び、各作品に解説、見開き頁に本文と注釈、末尾に参考文献付。太宰の特徴あふれるテキスト。

中級程度の日本語能力を有する外国人学習者が、上級レベルに達する読解力を養うための教材。様々な分野からデータを集め、準備から読後討論までを網羅。漢字は総ルビ。別冊に語彙リスト。

自己紹介、スピーチ、手紙、メール、履歴書、面接等、全14のコンテンツを書き込み式で習得。就職活動の大学生に、社会の中で生きる全ての人に。日本語コミュニケーション上達のための一冊。

## ◆◆ 一般書（上代） ◆◆

- |                                                                                                    |                              |                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>中西進・辰巳正明 編<br/><b>郷歌</b><br/>— 注解と研究 —<br/>ISBN978-4-7879-6772-5 B6並製 272頁 1800円</p>            | <p>新典社選書 22<br/><b>歌</b></p> | <p>「郷歌（ヒャンガ）」は、万葉仮名の原典であると同時に、東アジア文化圏の古代歌謡を知る原典でもある。古代朝鮮半島の新羅に残された貴重な古代歌謡の全貌が、いま明らかになる。</p>      |
| <p>辰巳正明 著<br/><b>歌垣</b><br/>—— 恋歌の奇祭をたずねて<br/>ISBN978-4-7879-6127-3 新書判並製 160頁 1000円</p>           | <p>新典社新書 27<br/><b>垣</b></p> | <p>多くの男女が集い、お互いに歌をやりとりしながら思いを通わせてゆく恋歌の祭典、歌垣。中国の現行や日本のかつての姿をさぐり、万葉集以来、今なお息づく歌の文化とそのルーツにせまる。</p>   |
| <p>廣川晶輝 著<br/><b>死してなお求める恋心</b><br/>—「菟原娘子伝説」をめぐる—<br/>ISBN978-4-7879-6108-2 新書判並製 160頁 1000円</p>  | <p>新典社新書 8</p>               | <p>二人の男性に求愛され、女が選んだ道とは!? 万葉集では歌のモデルとなり、物語や謡曲、そして森鷗外の作品の題材にまでなった菟原娘子。人々につむがれてきたひとつの文学のかたち。</p>    |
| <p>川上富吉 編<br/><b>萬葉集名花百種鑑賞</b><br/>ISBN978-4-7879-7855-4 A5並製 224頁 3400円</p>                       |                              | <p>『萬葉集』に登場する植物百種を選び、和歌と鑑賞文、フルカラー写真を見開き二頁で対照鑑賞する。華道家が本書のために製作した挿花と、古代文学の研究者総勢21名による解説。コラム付き。</p> |
| <p>菊池威雄 著<br/><b>万葉恋歌の装い</b><br/>ISBN978-4-7879-6779-4 B6並製 208頁 1400円</p>                         | <p>新典社選書 29</p>              | <p>美しい日本語の原点、『万葉集』。今なお人々を惹きつけてやまない恋歌を、日本画家・佐藤平八氏による美麗な挿絵（全点描き下ろし）とともに楽しむ。人はなぜ歌を詠むのか。恋歌の表現とは。</p> |
| <p>廣岡義隆 著<br/><b>萬葉の散歩みち</b><br/>— 上巻・下巻 —<br/>ISBN978-4-7879-6111-2 新書判並製 128頁 各800円</p>          | <p>新典社新書 11・12</p>           | <p>萬葉集を様々な視点からながめてみると、鮮明に見えてくるもの。物語や、人々の思い、そして今や知る人も少ない美しいことばの数々…。萬葉びとの世界をすずろ歩く楽しい散歩みち。上・下巻</p>  |
| <p>廣岡義隆 著<br/><b>萬葉の散歩みち</b><br/>— 続 —<br/>ISBN978-4-7879-6163-1 新書判並製 128頁 800円</p>               | <p>新典社新書 63</p>              | <p>日本文化の根底をなす華、『萬葉集』。そこに収められた歌の詠み手や詠み込まれたみやび、歌の背景など。様々な視点で萬葉びとの豊かな世界を眺めゆったりとすずろ歩く散歩みちに待望の続編。</p> |
| <p>井上さやか 著<br/><b>万葉集からみる「世界」</b><br/>ISBN978-4-7879-6159-4 新書判並製 160頁 1000円</p>                   | <p>新典社新書 59</p>              | <p>人々の恋愛観・天皇の日常、万葉集には遠い時代のきららしい「世界」が詰まっている。歌一首一首を愉しみ、その文化に憧憬しながら、多様な世界の切り口と垣間見のしかたを案内する一書。</p>   |
| <p>城崎陽子 著<br/><b>万葉集を訓んだ人々</b><br/>—「万葉文化学」のこころみ—<br/>ISBN978-4-7879-6149-5 新書判並製 128頁 800円</p>    | <p>新典社新書 49</p>              | <p>『万葉集』はどう訓み解かれてきたのか。平安京における万葉仮名の訓じ方、契沖・宣長ら江戸の国学者たちの解釈、そして近代まで。訓む人々の情熱や時代のあり方が見える『万葉集』の享受史。</p> |
| <p>濱口博章 著<br/><b>万葉集宮廷歌人全注釈</b><br/>— 虫麻呂・赤人・金村・千年 —<br/>ISBN978-4-7879-6774-9 B6並製 272頁 2000円</p> | <p>新典社選書 24</p>              | <p>高橋虫麻呂、山部宿禰赤人、笠朝臣金村、車持朝臣千年。万葉集から4人の宮廷歌人に焦点をあて、その全てに注釈を施した。「芦屋萬葉集を読む会」における20年来の成果を集大成。</p>      |

|                                        |          |                                                                                                  |
|----------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 辰巳正明 著                                 | 新典社新書 78 | 改元は、もとは時代の状況を変える国家的な気分転換だった？「令和」の典拠となった万葉集の梅花の宴と主催者大伴旅人、元号の歴史をたどること、新元号の背景と改元の意義を明らかにする。         |
| <b>「令和」から読む万葉集</b>                     |          |                                                                                                  |
| ISBN978-4-7879-6178-5 新書判並製 128頁 800円  |          |                                                                                                  |
| 辰巳正明 著                                 |          | 新元号の典拠となった梅花の宴の主催者はどのような人物だったのか。現在残る大伴旅人の全作品と関連する人物の作品を読み解くことで、「令和」を生み出した万葉びとの文学に迫る。参考資料付。       |
| <b>大 伴 旅 人</b>                         |          |                                                                                                  |
| 「令和」を開いた万葉集の歌人                         |          |                                                                                                  |
| ISBN978-4-7879-7864-6 A5並製 256頁 2400円  |          |                                                                                                  |
| 西條勉 著                                  | 新典社新書 38 | 千と千尋はなぜこんなにもおもしろいのか。数ある異郷訪問型のストーリーと比較しつつ、神話学の観点から千と千尋を読みとく。トンネルの向こうの、不思議の町に仕組まれた神話の構造とは？         |
| <b>千 と 千 尋 の 神 話 学</b>                 |          |                                                                                                  |
| ISBN978-4-7879-6138-9 新書判並製 160頁 1000円 |          |                                                                                                  |
| 志水義夫 著                                 | 新典社新書 37 | 古事記従来の研究成果を踏まえつつ、アニメコミック世代向けエンターテインメントとしての読み方を提供。痛快なオリジナル訳と一こまマンガで通説からの脱却、さらには成立論にも挑む。           |
| <b>古 事 記 の 仕 組 み</b>                   |          |                                                                                                  |
| — 王権神話の文芸 —                            |          |                                                                                                  |
| ISBN978-4-7879-6137-2 新書判並製 160頁 1000円 |          |                                                                                                  |
| 山田利博 著                                 | 新典社新書 51 | 難解・高尚なものとして敬遠されがちな古典だが、その要素はアニメやマンガに用いられ、作品を魅力的に彩っている。いまや世界に誇る文化となった日本アニメの中で生き続ける日本古典文学・文化の要素とは。 |
| <b>アニメに息づく日本古典</b>                     |          |                                                                                                  |
| — 古典は生きている —                           |          |                                                                                                  |
| ISBN978-4-7879-6151-8 新書判並製 128頁 800円  |          |                                                                                                  |
| 岩坪健 著                                  | 新典社新書 57 | よく知っている日本古典文学の知られざる舞台裏をご紹介します。知らなかった裏側に目を向けて、いつもと違う角度から見れば「ただ丸暗記でつまらない」と思っていたものもこんなに楽しくなる。       |
| <b>ウ ラ 日 本 文 学</b>                     |          |                                                                                                  |
| — 古典文学の舞台裏 —                           |          |                                                                                                  |
| ISBN978-4-7879-6157-0 新書判並製 128頁 800円  |          |                                                                                                  |
| 志村有弘 著                                 | 新典社選書 69 | 日本各地の「超人役行者小角」が存在する風景を、著者撮影の写真で紹介しつつ、その写真から見えてくる姿を通して役行者の歴史上の存在意義を考察。役行者ゆかりの寺院と神社一覧も収録。          |
| <b>役 行 者 の い る 風 景</b>                 |          |                                                                                                  |
| — 寺社伝説探訪 —                             |          |                                                                                                  |
| ISBN978-4-7879-6819-7 B6並製 120頁 1000円  |          |                                                                                                  |

## ◆◆ 一般書 (中古) ◆◆

|                                       |          |                                                                                           |
|---------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保科恵 著                                 | 新典社選書 96 | 古典作品をどう読んだらよいか。注釈書を見比べて疑問を持つ・暦と生活の密接な関わりを知る・句読点や濁点を見直す…など。具体的な本文や例題から自分で考える力を鍛える、他にないガイド。 |
| <b>入門 平安文学の読み方</b>                    |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-6846-3 B6並製 208頁 1500円 |          |                                                                                           |
| 稲賀敬二 著                                | 新典社選書 25 | 中務の歌を、その人となりや愛した著者が、珠玉の歌から辿る中務の人物伝。短歌雑誌『礫』への連載から、遺稿を含むすべての原稿を収録し、さらには関連前著への書評も収めた、待望の完全版！ |
| <b>女 流 歌 人 中 務</b>                    |          |                                                                                           |
| — 歌で伝記を辿る —                           |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-6775-6 B6並製 384頁 2800円 |          |                                                                                           |
| 増田繁夫 著                                | 日本の作家 9  | 三十六歌仙の一人で本朝三美人に数えられる才色兼備の女性。平安女流作家中ただ一人の家庭婦人。その結婚生活を綴った蜻蛉日記は女流日記の白眉。当時の結婚像も含めて明快に描く。      |
| <b>右 大 将 道 綱 母</b>                    |          |                                                                                           |
| 蜻蛉日記作者                                |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-7009-1 B6上製 272頁 1700円 |          |                                                                                           |

|                                          |                                        |                                                                                                 |
|------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 原國人 著                                    | 新典社選書 54                               | 「物語のいでき始めのおや」といわれる一方、その成立状況には謎の多い『竹取物語』を丁寧に読み解く。内容と構造、言語遊戯（洒落、修辞法）の二つを軸に、物語成立の謎に迫る。             |
| <b>物語のいでき始めのおや</b><br>——『竹取物語』入門         | ISBN978-4-7879-6804-3 B6並製 160頁 1100円  |                                                                                                 |
| 吉海直人 著                                   | 新典社選書 42                               | 古本を失った『住吉物語』。改作本へと継承されているであろう、物語における不変のモチーフ・表現などを切り口に、『源氏物語』以前の古典として『住吉』を論じ、停滞する研究を切り拓く。        |
| <b>『住吉物語』の世界</b>                         | ISBN978-4-7879-6792-3 B6並製 276頁 2400円  |                                                                                                 |
| 藤本宗利 著                                   | 日本の作家 11                               | 「をかし」の文学精神で知られる『枕草子』の作者。その簡潔な文章の中には、清新な感性と才気があふれる。華やかで謎多き生涯を叙情的かつ着実に追究した自信の一書。                  |
| 感性のきらめき<br><b>清 少 納 言</b>                | ISBN978-4-7879-7011-4 B6上製 272頁 2100円  |                                                                                                 |
| 宮崎莊平 著                                   | 新典社新書 35                               | 高慢な才媛？ 近代、突如として不当な非難にさらされた清少納言。『青鞨』、新しい女に代表される時代風潮の中で遭遇した清少納言の“受難”を明らかにし、フェミニズム問題の行方を問いかける。     |
| <b>清少納言“受難”の近代</b><br>——「新しい女」の季節に遭遇して—— | ISBN978-4-7879-6135-8 新書判並製 128頁 800円  |                                                                                                 |
| 藤本宗利 著                                   | 新典社選書 44                               | 定子後宮で繰り広げられる知的競技のような応酬には、同時代の女房日記とは異なる、後宮女房ならではの公的な場での駆け引きの見事さがある。「後宮文学」として読み直す『枕草子』の魅力。        |
| <b>『枕草子』をどうぞ</b><br>——定子後宮への招待——         | ISBN978-4-7879-6794-7 B6並製 176頁 1300円  |                                                                                                 |
| 妹尾好信 著                                   | 新典社新書 45                               | よく知られた古典でありながら、断片的な章段のみ扱われがちな伊勢物語。主人公の人間性、物語に仕掛けられた謎など、全体を通してこそ分かる魅力を昔男の「青年期」から読み解く。            |
| <b>昔 男 の 青 春</b><br>——『伊勢物語』初段～16段の読み方—— | ISBN978-4-7879-6145-7 新書判並製 160頁 1000円 |                                                                                                 |
| 稲賀敬二 著                                   | 日本の作家 12                               | 物語文学の代表的作品である源氏物語は、中宮彰子の許へ出仕する前から書き続けられ、宮中の話題となっていた。平安の物語き女性の覚めた目が人間の真実をどのようにとらえたかを解き明かす。       |
| 源氏の作者<br><b>紫 式 部</b>                    | ISBN978-4-7879-7012-1 B6上製 272頁 1700円  |                                                                                                 |
| 廣田收 著                                    | 新典社選書 55                               | 『源氏物語』作者として知られる紫式部について、その歌および家集『紫式部集』の性質と独自性について分析する。物語作者である紫式部は儀式や行事の中でなにを歌い、なにを託したか。          |
| <b>家集の中の「紫式部」</b>                        | ISBN978-4-7879-6805-0 B6並製 256頁 1800円  |                                                                                                 |
| 原慎子 著                                    | 新典社選書 75                               | 斎王は、どのような時代に生まれ、どのような生き方をしたのか。歴史に描写された斎王を紹介しながら、わかりやすく概論し、文学において物語化された斎王、虚構の斎王にも言及する。           |
| <b>神に仕える皇女たち</b><br>——斎王への誘（いざな）い——      | ISBN978-4-7879-6825-8 B6並製 224頁 1600円  |                                                                                                 |
| 吉海直人 著                                   | 新典社選書 82                               | 源氏物語には他の古典作品にない特殊な表現や用法が見られる。美的表現・特殊表現・物語表現の全三部に分類し、時めく・上衆めく・ひとりごつ・さしつぎなどから、物語の読みを深める。          |
| <b>『源氏物語』の特殊表現</b>                       | ISBN978-4-7879-6832-6 B6並製 304頁 2200円  |                                                                                                 |
| 伊藤欽也 編                                   |                                        | 『源氏物語大成』をなした池田亀鑑の業績を再確認し、今後の本文研究の道を開くとともに、新たな『源氏』研究を目指す。「知りたい」の思いを共有し、池田亀鑑や写本を通じて『源氏物語』を見直す第一歩。 |
| もっと知りたい<br><b>池田亀鑑と「源氏物語」第1集</b>         | ISBN978-4-7879-6051-1 A5並製 272頁 2400円  |                                                                                                 |

伊藤欽也 編

もっと知りたい

## 池田亀鑑と「源氏物語」第2集

ISBN978-4-7879-6052-8 A5並製 384頁 3000円

池田亀鑑の軌跡を辿るシリーズ第二集。第一回池田亀鑑賞の詳細、源氏本文を読むための論考、亀鑑を知る連載やコラムを豊富に収載し、資料として過去の源氏展目録、亀鑑のアルバムも収めた。

伊藤欽也 編

もっと知りたい

## 池田亀鑑と「源氏物語」第3集

ISBN978-4-7879-6053-5 A5並製 336頁 2700円

池田亀鑑の軌跡を辿るシリーズ第三集。好評連載群のほか、本集では第二回池田亀鑑賞授賞式・記念講演会の様子を収録し、亀鑑の小説と随筆集『花を折る』の前半部も復刻掲載。

小町谷照彦 著

新典社選書 32

## あらすじで楽しむ源氏物語

ISBN978-4-7879-6782-4 B6並製 224頁 1600円

百人一首板本の源氏絵、源氏かるた絵合風の香図趣意絵など、図版満載でめぐる源氏物語の世界。寺子屋以来の教養涵養の一つのあり方として、絵とあらすじを用いたやさしいいざない。

久保朝孝 編

新典社選書 65

## 女たちの光源氏

ISBN978-4-7879-6815-9 B6並製 208頁 1500円

二人の嫡妻、零落した姫君、求愛を拒み通した女君など、光源氏との恋における一方の当事者である女君たちの立場や視線から『源氏物語』を読みなおすことで、絶対者・光源氏の相対化を図る。

清水婦久子 著

新典社新書 1

## 光源氏と夕顔

— 身分違いの恋 —

ISBN978-4-7879-6101-3 新書判並製 160頁 1000円

『源氏物語』で人気のヒロインの一人、夕顔。彼女の人物像が、一つの和歌をどう読むかで一変する！ 通説の矛盾に鋭く迫り突き崩す中から、古典の面白さ、光源氏と夕顔二人の本当の恋の姿が見えてくる。

小澤洋子 著

新典社選書 93

## 『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋

— 朝顔の姫君と夕顔の女君 —

ISBN978-4-7879-6843-2 B6並製 240頁 1700円

源氏物語に登場する女性の中でも対照的な呼称と境遇を持つ姫君、朝顔・夕顔について、作者は植物的特性も踏まえて、どのように描き、物語を構成したのか、本文に即しつつ明らかにする。

西原志保 著

新典社新書 72

## 『源氏物語』女三の宮の〈内面〉

ISBN978-4-7879-6172-3 新書判並製 160頁 1000円

『源氏物語』の女君の中でも特に「内面がない」とみなされがちな人物、女三の宮。しかし先入観を排除してその言葉に耳を傾ければ、現代の女性にも似通うその人物像が明らかになる。

鷲山茂雄 著

新典社新書 5

## 源氏物語

— 語りのからくり —

ISBN978-4-7879-6105-1 新書判並製 160頁 1000円

「紫の上」——ヒロインの名前に隠された危険な真実——物語の語り手たちによって繰り出される言葉のトリックに注目すれば、『源氏物語』はもっと面白くなる！

渋谷栄一 著

新典社新書 15

## 源氏物語の季節と物語

— その典型的表現 —

ISBN978-4-7879-6115-0 新書判並製 160頁 1000円

春の誕生、夏の恋、秋の離別、冬の寿賀…人間模様を季節を添わせることで、物語はより情緒の深いものとなる。源氏物語に描かれた生・病・死・恋・別れなどを、季節の描写やその背景から読む。

岩坪健 著

新典社新書 19

## 光源氏とティータイム

ISBN978-4-7879-6119-8 新書判並製 128頁 800円

衣装・マナー・恋愛・出産・死生観…。『源氏物語』のおもしろい箇所、王朝文化の魅力ばかりをセレクトした一冊は、光源氏とともに人生を歩んできた、ある青年がおくるティータイムのおしゃべり。

熊谷義隆 著

新典社新書 31

## 源氏物語 二つのゆかり

— 継承の主題と変化 —

ISBN978-4-7879-6131-0 新書判並製 160頁 1000円

紫のゆかりと復権のゆかりが、光源氏の運命を定めた三つの予言の間にたゆたい、長編物語を構築する。作者紫式部の隠された意図をも乗せて、一貫して源氏物語を支えているものとは。

天野紀代子 著 **新典社新書 40**  
**跳んだ『源氏物語』**  
— 死と哀悼の表現 —  
ISBN978-4-7879-6140-2 新書判並製 128頁 800円

仮名で物語をつづることがはじめてられて間もない頃、空前絶後の傑作、『源氏物語』は誕生した。死と哀悼を縦軸に、筆者紫式部が目にしていく「絵」に焦点をあて、源氏物語が跳んだ軌跡を辿る。

太田敦子 著 **新典社新書 50**  
**源氏物語 姫君のふるまい**  
ISBN978-4-7879-6150-1 新書判並製 128頁 800円

ふとした合間に描かれた“ふるまい”にこそ姫君の思いはこめられている。冷淡だと思われがちな葵の上。女三宮が立ち上がる意義。死にゆく紫の上の手の行方……。深窓の姫君たちの真実は。

山田利博 著 **新典社新書 67**  
**知ったか源氏物語**  
ISBN978-4-7879-6167-9 新書判並製 128頁 800円

誰もが知っているけど、実際に読んだ人は少ない作品『源氏物語』。『平家物語』との関係は? 「光源氏の仕事は?」など、さまざまな質問に、専門家である著者が明快に回答。

小谷野純一 著 **新典社新書 28**  
**紫式部日記の世界へ**  
ISBN978-4-7879-6128-0 新書判並製 160頁 1000円

おのが心の奥底に「暗闇」をかかえた紫式部は、研ぎ澄まされた鋭利な眼差しで周囲と自らを見つめ、自在に日記を紡いでいく。単なる記録の営みから飛躍する『紫式部日記』を鋭く読み解く。

堤和博 著 **新典社新書 41**  
**和歌を力に生きる**  
— 道綱母と蜻蛉日記 —  
ISBN978-4-7879-6141-9 新書判並製 160頁 1000円

散文だけでは蜻蛉日記の真相は分からない。愛情も嫉妬も全ては和歌にこめられている。とくに上巻前半部、和歌の重要性に目を向け、あえて書かれなかった真実や道綱母の意図を明かす。

繁田信一 著 **新典社選書 86**  
**下級貴族たちの王朝時代**  
『新猿楽記』に見るさまざまな生き方  
ISBN978-4-7879-6836-4 B6並製 200頁 1500円

王朝時代の漢学者藤原明衡が記した新猿楽記には、博徒・武者など現代からすれば意外な職能に従事する貴族が描かれる。貴族社会で最下層にあった下級貴族たちの多様にして魅力的な生き様とは。

深沢徹 著 **新典社新書 23**  
**都市空間の文学**  
— 藤原明衡と菅原孝標女 —  
ISBN978-4-7879-6123-5 新書判並製 128頁 800円

藤原明衡と菅原孝標女。仏教的厭世観ただよう平安京において、文化的な立場が大きく異なるふたりはどんなしぐさやことを書きつけたのか。領域を超えた出会いに見出す新しい意味。

小谷野純一 著 **新典社選書 36**  
**更級日記への視界**  
ISBN978-4-7879-6786-2 B6並製 368頁 2700円

『更級日記』は単なる紀行文ではない。上洛の記は内なる視点から旅の秩序化がはかられ、少女期の物語への没入は夢を通じた信仰世界への啓示や論告という特質がある。その文学世界に果敢に踏み込む。

小谷野純一 著 **新典社選書 43**  
**讃岐典侍日記への視界**  
ISBN978-4-7879-6793-0 B6並製 368頁 2700円

病苦にあえぐ堀河帝を愛し凝視し続ける上巻。下巻では藤原長子が帝亡き後に狂気に襲われる。平安日記としても異彩を放つ『讃岐典侍日記』の叙述世界に踏み込み、つぶさに読み解く。

## ◆◆ 一般書（中世） ◆◆

中本真人 著 **新典社新書 68**  
**宮廷の御神楽**  
— 王朝びとの芸能 —  
ISBN978-4-7879-6168-6 新書判並製 160頁 1000円

平安時代の天皇を魅了し、貴族たちを夢中にさせた御神楽とは、どのような行事であったのか。知られざる王朝びとの芸能文化に光を当てる本格的な御神楽入門書。

|                                        |             |                                                                                             |
|----------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 佐伯雅子 著                                 | 新典社新書 16・17 | 平氏の栄華から没落までを鮮烈に描いた平家物語。過酷な状況の中で登場人物たちは、自らの「死」をどのようにとらえ、そして向き合ったのか。物語を読み解きながら、壮絶な死生観にせまる。    |
| 平家物語の死生学<br>— 上巻・下巻 —                  |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6116-7 新書判並製 128頁 各800円 |             |                                                                                             |
| 濱中修 著                                  | 新典社新書 79    | 源平の争乱を扱う物語の中で、波乱に満ちた生涯が語られる五人の女性たち。その物語を追うことで、関わりある武将の知られざる一面や中世の人々が女性に抱いていた宗教的幻想をも明らかにする。  |
| 平家物語とその周辺<br>— 女性たちの物語 —               |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6179-2 新書判並製 160頁 1000円 |             |                                                                                             |
| 伊藤悦子 著                                 |             | 著者が巡った全国各地の木曾義仲関係の史跡・伝説地を、平家物語の異本のひとつである源平盛衰記のストーリーにそって紹介する。義仲伝説の特色についての解説・義仲関係記事略年表・地図も収載。 |
| 木曾義仲に会う旅                               |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-7849-3 A5並製 164頁 1800円  |             |                                                                                             |
| 田中徳定 著                                 | 新典社選書 73    | 悲劇的最期を遂げた源義経。本書では、歴史資料、文学作品を読み解き、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎に残る義経関連の寺社・史跡を廻り、湘南の地に伝わる義経の伝説と信仰を明らかにする。         |
| 義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎                         |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6823-4 B6並製 272頁 2000円  |             |                                                                                             |
| 濱中修 著                                  | 新典社新書 54    | 玉藻前・小野小町・京極御息所・照手姫。類まれな美貌をもち愛欲や宿業に迷いながら、それゆえにこそ彼女たちは観音や菩薩ともなった。中世の女性観・宗教観が生んだ、聖なる四人の女神たち。   |
| 女神たちの中世物語                              |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6154-9 新書判並製 160頁 1000円 |             |                                                                                             |
| 濱中修 著                                  | 新典社新書 76    | 街のそこかしこに歴史上の大小の事件や、著名人の事跡がのこる特別な街、京都。清水寺・六角堂・伏見稲荷大社など、名所を舞台とする中世の物語を探ることで、知られざる京都の一面を発見する。  |
| 物語の中の京都                                |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6176-1 新書判並製 160頁 1000円 |             |                                                                                             |
| 廣田収 著                                  | 新典社新書 39    | 『宇治拾遺物語』には民間の「昔話」によく似た話がある。説話と昔話の違いとは？ 共通する「話型」を軸に東アジアやヨーロッパにまで視界を広げ、『宇治拾遺物語』の読みが時空をまたぐ。    |
| 『宇治拾遺物語』の中の昔話                          |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6139-6 新書判並製 160頁 1000円 |             |                                                                                             |
| 伊東玉美 著                                 | 新典社選書 35    | 鎌倉時代から今日までの平均的読者がとらえ、感じてきた『宇治拾遺物語』のおもしろさは。観音靈驗譚・動物説話・報恩譚・笑い話・夢説話など、説話のたのしみ方を知るガイドブック。       |
| 宇治拾遺物語のたのしみ方                           |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6785-5 B6並製 176頁 1300円  |             |                                                                                             |
| 京都仏教説話研究会 編                            | 新典社選書 80    | 仏教説話・世俗説話・史書・軍記などにおける僧の描かれかたに着目し、作品ごとに考察する。説話集が描く僧の多様性とは。背景となった歴史や社会とは。                     |
| 説話の中の僧たち                               |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6830-2 B6並製 328頁 2400円  |             |                                                                                             |
| 福寛美 著                                  | 新典社新書 10    | 南の海に浮かぶサンゴ礁の島、喜界島。ヤマト（日本）と琉球王国それぞれの文化圏の境界にあり、また「貴」「鬼」など、さまざまなイメージで記され伝えられてきたこの島の真の姿に迫る。     |
| 喜界島・鬼の海域<br>— キカイガシマ考 —                |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6110-5 新書判並製 128頁 800円  |             |                                                                                             |
| 小田剛 著                                  | 新典社選書 52    | 「玉のをよ絶なばたえねながらへば忍ぶ事のよはりもぞする」の絶唱で知られる、新古今随一の女流歌人・式子内親王。その生涯と和歌について、最新の研究成果を踏まえ一般向けに書き下ろした。   |
| 式子内親王<br>—— その生涯と和歌                    |             |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6802-9 B6並製 176頁 1300円  |             |                                                                                             |

小田剛 著

## 式子内親王全歌新釈

ISBN978-4-7879-0635-9 A5並製 384頁 3700円

神尾暢子 著

日本の作家 19

誇り高く歌に生きた

## 藤原俊成女

ISBN978-4-7879-7019-0 B6上製 256頁 2000円

磯水絵 編

## 今日は一日、方丈記

ISBN978-4-7879-0633-5 A5並製 224頁 2000円

鈴木久 著

新典社選書 58

## 方丈記と往生要集

ISBN978-4-7879-6808-1 B6並製 128頁 1000円

菊池威雄 著

新典社選書 61

## 鎌倉六代将軍宗尊親王

— 歌人将軍の栄光と挫折 —

ISBN978-4-7879-6811-1 B6並製 224頁 1600円

三村晃功 著

新典社選書 37

## 古典和歌の世界

— 歌題と例歌（証歌）鑑賞 —

ISBN978-4-7879-6787-9 B6並製 256頁 1700円

三村晃功 著

新典社選書 53

## 古典和歌の文学空間

— 歌題と例歌（証歌）からの鳥瞰 —

ISBN978-4-7879-6803-6 B6並製 448頁 3200円

三村晃功 著

新典社選書 59

## 古典和歌の時空間

— 「由緒ある歌」をめぐる —

ISBN978-4-7879-6809-8 B6並製 288頁 2100円

桑原博史 著

日本の作家 24

人生の達人

## 兼好法師

ISBN978-4-7879-7024-4 B6上製 248頁 1600円

濱田浩一郎 著

新典社新書 73

## 超口語訳 徒然草

ISBN978-4-7879-6173-0 新書判並製 128頁 800円

村尾誠一 著

日本の作家 23

残照の中の巨樹

## 正徹

ISBN978-4-7879-7023-7 B6上製 272頁 2200円

新古今和歌集随一の女流歌人、式子内親王の全歌を一般向けに注釈。和歌の解釈と語釈。歌によって本歌や参考も付記し、端的かつ確実に式子内親王の和歌を理解するための一書。

藤原俊成の孫娘で、中世初期に活躍した恋歌の名人・俊成女。定家らを輩出した和歌の名家に生まれ、後鳥羽院歌壇に颯爽と登場し、戦乱の世に歌に生きた彼女の生涯を見つめる。

方丈記と鴨長明について、多方面からその魅力や受容形態にせまった講演記録。長明の隠遁生活の因にもなったという禁断の「秘曲尽くし」解説と、その「秘曲尽くし」を再現するCDを付録。

鴨長明が隠遁して方丈記を記した場に、自前の楽器や和歌とともに持ち込んだ往生要集こそが長明の信仰生活の指針であった。方丈記成立800年を経て長明の信仰と方丈記の真意を明らかにする一冊。

和歌をこよなく愛した鎌倉六代将軍宗尊親王は、和歌を権威の軸に据えて鎌倉に君臨しようとした。親王の実像を具体的に描き、その和歌を和歌史的な視点から捉えて特質や意義を検証する。

高度文明の現代にあつて、閉塞感に苛まれる人々。古典和歌という文芸の豊穣さが現代人に生きる糧を与えてくれる。四季の歌や恋の歌など、歌題と例歌で辿る和歌の世界。

前著『古典和歌の世界—歌題と例歌（証歌）鑑賞—』では対象外にした、約100の歌題と例歌（証歌）約570首を祖上に載せて詳細に論述し、題詠歌による和歌の世界・文学空間の完全な構築を目指す。

古典和歌の世界および文学空間を構築する「歌」を考察する。歌題の視点から多彩な古典和歌の世界に照射を与えた前二作に続き、和歌談話を担って成立した由緒ある和歌の深淵世界に踏み込む。

晩年の著作『徒然草』に展開される柔軟で知的な人生論が兼好の実人生とどうかかわっているかを現代に通ずる感覚で分析し、歌人・随筆家・評論家・能書家でもある兼好の実像を明らかにする。

人間論・政治論・恋愛・住居論・心理など幅広い分野の話が収められている、日本三大随筆の一つ『徒然草』。本書ではその中から現代人にも役に立つエピソードを選び、わかりやすい口語訳で紹介。

王朝和歌の伝統を継承した室町期の市井歌人・正徹。「幽玄」の理念を核に、三万余首の歌を詠んだといわれる。この特異な中世歌人の生涯を丁寧に辿り、その姿を鮮やかに描き出す好著。

吉海直人 著

新典社新書 24

## 百人一首かるたの世界

ISBN978-4-7879-6124-2 新書判並製 160頁 1000円

吉海直人 著

新典社選書 41

## 百人一首を読み直す

— 非伝統的表現に注目して —

ISBN978-4-7879-6791-6 B6並製 264頁 2300円

石黒吉次郎 著

新典社新書 32

## 御家騒動の物語

— 中世から近世へ —

ISBN978-4-7879-6132-7 新書判並製 128頁 800円

原田香織 著

新典社新書 75

## 戦国武将と能楽

— 信長・秀吉・家康 —

ISBN978-4-7879-6175-4 新書判並製 160頁 1000円

鈴木啓吾 著

新典社選書 67

## 能のうた

— 能楽師が読み解く遊楽の物語 —

ISBN978-4-7879-6817-3 B6並製 400頁 3200円

鈴木啓吾 著

新典社選書 95

## 続・能のうた

— 能楽師が読み解く遊楽の物語 —

ISBN978-4-7879-6845-6 B6並製 336頁 2700円

鈴木元 著

新典社新書 60

## つける 連歌作法閑談

ISBN978-4-7879-6160-0 新書判並製 160頁 1000円

江戸期の華やかなかるたから、雑誌付録や、大戦中ならではのかるたまで。百人一首グズコレクターでもある著者所蔵のかるたが舞う。めずらしい図版も満載に、かるたに潜む未知の世界へ！

百人一首収載歌は有名かつ伝統的なもの、という従来の観念をくつがえし、伝統的ではない〈非歌語〉表現に注目した新たな読みで、藤原定家の斬新な秀歌意識に迫る。

中世の能や御伽草子が編み出した武家騒動のストーリー。いつの世にも通じる人間たちの営みを近世に確立する「御家騒動の物語」へと仕立てた、そのドラマツルギーを中世にたどる。

戦国時代、多くの武将に愛された芸能、能楽。戦のさなか、武将たちはどのように能を楽しんでいたのか。信長・秀吉・家康の挿話をなぞりながら、能が武家社会に浸透していく様子を追う。

能の題材となった和歌や漢詩の、大胆にしてやさしい解説から、能の作者が発想を得た源、そして能楽師である著者の想いを知る。能の世界がぐっと身近に感じられる一冊。

能の作者が発想を得た和歌や漢詩を噛み砕き、ときに大胆な解釈を加え…。能楽師が自身の舞台を勤めるにあたり執筆したコラムの書籍化第二弾！翁をはじめ、復曲能・鈴木三郎重家を含む全27曲。

平安前期に生まれ、後の俳諧に大きな影響を及ぼした連歌。その文芸形態及び言語遊戯としての側面にあらゆる角度から光をあて、本質的・根源的な楽しみと、連歌にのめり込んだ人々の熱気を探る。

## ◆◆ 一般書 (近世) ◆◆

三村晃功 著

新典社選書 63

## 続・古典和歌の時空間

— 長流と契沖の「由緒ある歌」の展望 —

ISBN978-4-7879-6813-5 B6並製 416頁 3100円

三村晃功 著

新典社選書 68

## 古典和歌の詠み方読本

— 有賀長伯編著『和歌八重垣』の文学空間 —

ISBN978-4-7879-6818-0 B6並製 352頁 2600円

小野恭靖 著

新典社選書 15

## ことば遊びの世界

ISBN978-4-7879-6765-7 B6並製 224頁 1600円

一条兼良『歌林良材集』に続いて記された、下河辺長流の『続歌林良材集』と契沖の『続後歌林良材集』。前作の続編としてこの二冊の歌論書が扱う題目に沿い題詠歌の故実や伝説を紹介する。

江戸時代の和歌指南書、有賀長伯編著『和歌八重垣』に依拠し、詠作者の視点から古典和歌を見直し考察。従来の和歌の読解・鑑賞の在り方に新たな道を切り開く。

入門編では、クイズと多彩な挿絵で“ことば遊び”の楽しさを実感。専門編では、江戸中期の瓦版資料、「判じ物」や漢字遊びの解説が、読者を“ことば遊び”の世界へ誘う。

|                                     |                                        |                                                                                                         |
|-------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小野恭靖 著                              | 新典社新書 20                               | なぞ・判じ物・回文・倒言・アナグラム。古くから愛されてきた「ことば遊び」には日本語の奥深さと楽しさが満載！ 解き方やポイントの紹介から、実践クイズまで。心を豊かにする遊び方への招待。             |
| ことば遊びへの招待                           | ISBN978-4-7879-6120-4 新書判並製 128頁 800円  |                                                                                                         |
| 小野恭靖 著                              | 新典社新書 53                               | 江戸時代のことば遊びは、現代の絵文字やギャル文字にも通じていた!? 早口言葉、尻取り、無理問答、嘘字、鈍字など江戸のことば遊びから、現代ミステリ小説におけることば遊びまで。                  |
| ことばと文字の遊園地                          | ISBN978-4-7879-6153-2 新書判並製 160頁 1000円 |                                                                                                         |
| 吉海直人 著                              | 新典社選書 33                               | かるた成立以前のいろは歌、歌かるたの系譜に連なる「いろはかるた」の新たな成立論。絵札やことわざを楽しみながら、京・江戸・上方の「いろはかるた」を図版とともにめぐる。カラー口絵つき。              |
| 「いろはかるた」の世界                         | ISBN978-4-7879-6783-1 B6並製 198頁 1600円  |                                                                                                         |
| 井上泰至 著                              | 新典社新書 3                                | 芭蕉・西鶴・近松・蕪村・上田秋成・平賀源内など、江戸時代の文学者達が残した様々な「悪口」を通して、彼らの知られざる人間臭さや作品の魅力に迫る、まったく新しいタイプの江戸文学入門。               |
| 〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉                    | ISBN978-4-7879-6103-7 新書判並製 128頁 800円  |                                                                                                         |
| 三野恵 著                               | 新典社選書 26                               | 説経節や歌舞伎から近現代まで、同じ「かるかや」のはずなのに違う話が多くある。蛇になる髪、天折の石童丸、名乗りを上げる苅萱など、時代や目的に応じて父子の悲哀物語が繰り広げた変遷。                |
| 苅萱道心と石童丸のゆくえ<br>— 古典世界から現代へ —       | ISBN978-4-7879-6776-3 B6並製 144頁 1260円  |                                                                                                         |
| 堀切実 著                               | 新典社新書 13                               | 現代に横行する偽装事件。それは、江戸時代からすでにあることだった! 井原西鶴の鋭い観察眼が記した、江戸の人々の知力・体力を総動員しての、だましまされ模様。偽物を見抜く力を養う一冊。              |
| 偽装の商法<br>— 西鶴と現代社会 —                | ISBN978-4-7879-6113-6 新書判並製 128頁 800円  |                                                                                                         |
| 岡本隆雄 著                              | 新典社選書 48                               | 井原西鶴が、理想的な武士の生き様を描いた『武道伝来記』。その魅力あふれる人物たちはいかにして生まれたのか。当時の歌舞伎の様相なども視野に入れつつ、西鶴の魅力の根源を探る。                   |
| 「一分」をつらぬいた侍たち<br>— 『武道伝来記』のキャラクター — | ISBN978-4-7879-6798-5 B6並製 208頁 1500円  |                                                                                                         |
| 谷脇理史 著                              |                                        | I 親の心子知らず/二代目の時代/II 最初の旅行案内/西鶴東京を歩く/III 求められた場/デモ・シカ先生/IV 本格出版の時代/禁令と抜け道/事件小説の先駆け/V つきあいと分際/「江戸のころ」のころ。 |
| 江戸のころ<br>— 浮世と人と文学と —               | ISBN978-4-7879-7801-1 B6並製 256頁 1800円  |                                                                                                         |
| 竹野静雄 著                              | 新典社選書 27                               | 「八百屋お七」「お夏清十郎」など実際の事件を元に西鶴の筆がまざまざとよみがえらせた五つの物語。封建時代に命をかけてタブーを侵した五組の「恋」は、今なお艶やかに色あせない。                   |
| 江戸の恋の万華鏡<br>— 『好色五人女』 —             | ISBN978-4-7879-6777-0 B6並製 256頁 1700円  |                                                                                                         |
| 大輪靖宏 著                              | 新典社新書 14                               | 古今東西、「待つ女」はさまざまな物語に描かれ続ける人気の女性像。音信不通の帰らぬ男を、ひたすら待つ女。しかし、ただ待つことを許さない社会。時代が生んだ悲劇を描き出す。                     |
| 待つ女の悲劇                              | ISBN978-4-7879-6114-3 新書判並製 128頁 800円  |                                                                                                         |
| 吉田弥生 著                              | 新典社新書 29                               | 江戸時代の人々が、自ら最良にし謳歌していたという江戸人の生き方。人気役者の衣装、日本食の定番メニュー、江戸の住居や芝居小屋など、歌舞伎から抜き出した、めくるめく江戸の粋!                   |
| 芝居にみる江戸のくらし                         | ISBN978-4-7879-6129-7 新書判並製 128頁 800円  |                                                                                                         |

|                                        |          |                                                                                             |
|----------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 田口章子 著                                 | 新典社選書 90 | 文化を理解するにはその文化や時代に固有の価値観を知る必要がある。歌舞伎に描かれた女性たちにこめられた、古代日本から続く女性霊力への信仰を解き明かすことで日本文化の本質を知る一冊。   |
| <b>歌舞伎を知れば日本がわかる</b>                   |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6840-1 B6並製 224頁 1600円  |          |                                                                                             |
| 宮尾與男 著                                 | 新典社新書 77 | 古今東西を問わず愛される滑稽艶笑譚。本書では、日本の近世笑話集から、トイレ、大小便、おなら、ふんどしなどに関するエピソードを紹介。江戸時代の人々の生活のさまを笑いながら楽しめる一冊。 |
| <b>滑稽艶笑譚</b>                           |          |                                                                                             |
| —— 江戸小咄を愉しむ                            |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6177-8 新書判並製 160頁 1000円 |          |                                                                                             |
| 志水義夫 著                                 | 新典社選書 70 | 江戸の澁川春海と土佐の谷重遠は書簡を通じた師弟関係にあり、天文・暦術・神道・兵学が記された膨大な書簡が残る。二人のたった一度の面会の様子を中心に、元禄の学者たちの世界を見る。     |
| <b>澁川春海と谷重遠</b>                        |          |                                                                                             |
| —— 双星煌論 ——                             |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6820-3 B6並製 192頁 1400円  |          |                                                                                             |
| 田中善信 著                                 | 新典社新書 18 | 後世の人びとに「俳聖」と呼ばれ、神とまであがめられた俳人、松尾芭蕉。その出生から、晩年に到達した価値観まで。作品だけでは伝わらない「人間芭蕉」の素顔を探りだす、生涯の軌跡。      |
| <b>芭蕉</b>                              |          |                                                                                             |
| —— 俳聖の実像を探る                            |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6118-1 新書判並製 128頁 800円  |          |                                                                                             |
| 田中善信 著                                 | 新典社選書 49 | 「俳聖」松尾芭蕉は決して高度な知識人ではなく、芭蕉自身もその事を強く自覚していた。自筆本『おくのほそ道』に残された誤記・誤用から、芭蕉の学力や教養、筆跡の問題に迫る。         |
| <b>芭蕉の学力</b>                           |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6799-2 B6並製 160頁 1100円  |          |                                                                                             |
| 楠元六男 著                                 | 新典社新書 30 | 芭蕉という一個人の人生の転機は、甲斐へ旅立つ数年間に集約されている。甲斐行において詠まれた句、時代状況・俳壇状況などから、旅人・芭蕉が誕生する原理をさぐる。革新的芭蕉論！       |
| <b>我を絵に看る</b>                          |          |                                                                                             |
| —— 芭蕉の甲斐行 ——                           |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-6130-3 新書判並製 160頁 1000円 |          |                                                                                             |
| 田中善信 著                                 |          | 俳諧史上元禄の名家と呼ぶにふさわしい6名、伊藤信徳・山口素堂・小西来山・池西言水・権本才麿・上島鬼貫。多くが初の注釈となるシリーズの第一弾は伊藤信徳。略歴、解説つき。         |
| <b>元禄名家句集略注</b>                        |          |                                                                                             |
| 伊藤信徳篇                                  |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-0636-6 A5並製 224頁 2000円  |          |                                                                                             |
| 田中善信 著                                 |          | 俳諧史上元禄の名家と呼ぶにふさわしい6名を注釈する好評シリーズ第二弾。元禄の風俗や人々の日常も多く詠み込んだ、池西言水の機智溢れる句を800句以上収め、言水の略歴も収録。       |
| <b>元禄名家句集略注</b>                        |          |                                                                                             |
| 池西言水篇                                  |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-0638-0 A5並製 404頁 3600円  |          |                                                                                             |
| 田中善信 著                                 |          | 俳諧史上元禄の名家と呼ぶにふさわしい6名を注釈する好評シリーズ第三弾。山口素堂は、蓮を愛し、大胆にして機知あふれる句を詠んだ。その作品からは懇意にした芭蕉の人となりが見られる。    |
| <b>元禄名家句集略注</b>                        |          |                                                                                             |
| 山口素堂篇                                  |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-0641-0 A5並製 200頁 1800円  |          |                                                                                             |
| 佐藤勝明 著                                 |          | 俳諧における元禄の名家たちを現代語訳・語釈・注釈するシリーズの第四弾は小西来山。日常を秀逸な句に仕立て上げることに長じた来山の目線からは、元禄の人々の暮らしまでもがよみがえる。    |
| <b>元禄名家句集略注</b>                        |          |                                                                                             |
| 小西来山篇                                  |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-0642-7 A5並製 296頁 2700円  |          |                                                                                             |
| 田中善信 著                                 | 日本の作家 52 | 延宝八年まで／漢詩文調の時代／俳諧師への道／俳諧師其角／洒落風への転回／芭蕉の死／晩年の其角／他。洒落風俳諧という独自の俳諧を形成した其角の全生涯が明らかに。第1回山本健吉賞受賞   |
| <b>元禄の奇才</b>                           |          |                                                                                             |
| <b>宝井其角</b>                            |          |                                                                                             |
| ISBN978-4-7879-7052-7 B6上製 240頁 1860円  |          |                                                                                             |

小侯喜久雄 著 新典社新書 48  
**初代都太夫一中の浄瑠璃**  
— 音曲に生きた元住職 —  
ISBN978-4-7879-6148-8 新書判並製 160頁 1000円

上方文化が最も華やいだ江戸元禄期。初代都太夫一中は、寺の住職でありながらその身分を捨てて還俗し、ついには浄瑠璃の一流派を築いた。現在まで連綿と続く、一中節草創期の姿と系譜。

田中康二 著 新典社選書 47  
**国 学 史 再 考**  
— のぞきからくり本居宣長 —  
ISBN978-4-7879-6797-8 B6並製 256頁 1800円

現代の日本文学・国語学・史学・民俗学。それらのルーツは江戸時代の国学に他ならない。三百年におよぶ国学の歴史を本居宣長を通じて繙き、統一した国学像を描きつつ、その本質に迫る。

萬羽啓吾 著 寛  
**良**  
— 文人の書 —  
ISBN978-4-7879-5505-0 A5上製 256頁 3800円

未公開を含む良寛の作品群からその人となりを紹介。文人の魂である硯の歴史を遡り、良寛の愛した秋萩帖の謎に迫ることで仮名の起源を解き明かす。130点の写真を駆使して文人良寛を語り尽くす。

中川桂 著 新典社選書 66  
**江戸時代落語家列伝**  
ISBN978-4-7879-6816-6 B6並製 240頁 1700円

落語の発生から寄席で演じられる形が整うまでを、上方を中心に落語家個々人に着目しつつたどる。落語の歴史を知ること、いまの落語をより一層楽しむための一冊。

吉丸雄哉 著 新典社新書 21  
**武器で読む八犬伝**  
ISBN978-4-7879-6121-1 新書判並製 160頁 1000円

南総里見八犬伝の見せ場の多くは戦いの場面にあり、登場人物たちのキャラクターやシチュエーションに合わせて、様々な武器が登場する。武器の描写に馬琴はどんな意匠を凝らしたのか!?

吉成直樹 著 新典社新書 9  
**酒 と シ ャ ー マ ン**  
— 『おもろさうし』を読む —  
ISBN978-4-7879-6109-9 新書判並製 128頁 800円

いにしへの琉球王国の香りを伝える歌謡集『おもろさうし』。ひとびとの信仰と酒との関わりに注目して、歌を読み解いていくと、知られざる沖縄文化の深層が見えてくる。

## ◆◆ 一般書（近代・現代） ◆◆

矢内賢二 編 新典社選書 77  
**明治、このフシギな時代**  
ISBN978-4-7879-6827-2 B6並製 208頁 1500円

明治の演劇・百貨店美術館構想・文学における恋愛観・音楽教育・裸身への意識。「日本史の授業では学べない明治文化史」として好評を博した東京藝術学舎でのオムニバス講義を一冊に!

矢内賢二 編 新典社選書 84  
**明治、このフシギな時代 2**  
ISBN978-4-7879-6834-0 B6並製 128頁 1000円

「日本史の授業では学べない明治文化史」として人気のオムニバス講義の成果をまとめたシリーズ第二弾。三井家の建築と生活、歌舞伎と西洋の出会い、明治時代の正岡子規、廃仏毀釈の影響。

矢内賢二 編 新典社選書 91  
**明治、このフシギな時代 3**  
ISBN978-4-7879-6841-8 B6並製 192頁 1400円

「日本史の授業では学べない明治文化史」として人気を博すオムニバス講義の書籍化第三弾。鉄道と近代の旅みやげ、妖怪を愛した建築家、明治時代の草双紙、演劇改良の発想、明治神宮のすべて。

中田雅敏 著  
**忘れられた作家・忘れられない作品**  
ISBN978-4-7879-7922-3 B6並製 336頁 2400円

文学に書かれた家庭、親孝行とは何を意味するか、放浪と立志そして破滅へ、など八つのテーマにそって、忘れられた作家や忘れられない作品の数々とその魅力を紹介する。

|                   |                                       |                                                                                                |
|-------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 野村幸一郎 著           | 新典社選書 74                              | 森鷗外・夏目漱石・佐藤春夫・林芙美子・坂口安吾など、近代日本を生きた文化人によるアジアへの認識とその脱亜・興亜の表象を見渡す。現代のアジア観に至るまでの道筋とは。              |
| 日本近代文学はアジアをどう描いたか | ISBN978-4-7879-6824-1 B6並製 256頁 1800円 |                                                                                                |
| 志村有弘 著            | 新典社新書 4                               | 大泉黒石・森清秋・永見徳太郎・種田山頭火・藤澤清造・松原敏夫——評価されないまま、死んでいった作家達が遺した言葉、ドラマチックな人生をその強烈な人間性・作品に魅せられた著者が鮮やかに描く。 |
| のたれ死にでもよいではないか    | ISBN978-4-7879-6104-4 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                                |
| 馬上駿兵 著            | 新典社新書 64                              | 夏目漱石、岡本綺堂、坂口安吾、田山花袋、芥川龍之介など、文豪の名作の中から、現代日本語の基準で見れば「？」と思われるような言葉を拾い上げ、その表現に籠められた彼らの息遣いを知る。      |
| 文豪たちの「？」な言葉       | ISBN978-4-7879-6164-8 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                                |
| 馬上駿兵 著            | 新典社新書 74                              | 誰もが知る小説の名場面も、こまかい部分をじっくり見ると、これまで気づかなかった作者の意図が見えてきて、もっと面白く読めるようになる。重箱の隅をつつく読み方の奨め。              |
| 重箱の隅から読む名場面       | ISBN978-4-7879-6174-7 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                                |
| 森岡ゆかり 著           | 新典社新書 34                              | 漢詩を読み、詠むことで、日本語の優れた使い手としての語彙や表現を磨き上げてきた7人の文豪。彼らと漢詩の逸話は漢詩をぐっと身近に感じ、近代日本文学をより面白く読むためのエッセンス。      |
| 文豪だって漢詩をよんだ       | ISBN978-4-7879-6134-1 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                                |
| 森岡ゆかり 著           | 新典社選書 71                              | 森鷗外のドイツへの船旅を綴った『航西日記』と、夏目漱石の房総旅行を綴った『木屑録』はともに漢文で書かれている。わかりやすいダイジェストで日記を読みつつ、文豪の青年期の旅路を追う。      |
| 文豪の漢文旅日記          | ISBN978-4-7879-6821-0 B6並製 292頁 2300円 |                                                                                                |
| 原國人 著             |                                       | 舞姫は近代小説か日記文学か。舞姫、うたかたの記、文づかひ、雁、山椒大夫、高瀬舟の計六作品を丁寧に読み直すことによって、鷗外作品の謎を解く鍵を作品の中に見出す。                |
| 謎解き森鷗外            | ISBN978-4-7879-7853-0 B6並製 296頁 2300円 |                                                                                                |
| 杉本完治 著            | 新典社選書 56                              | 鷗外の小説『高瀬舟』『興津彌五右衛門の遺書』は、作品の時代背景や人物設定を知るともっと面白く、そして正しく読める。鷗外がそれぞれの作品にこめたテーマ、そこに描きだした「生の意味」とは。   |
| 森鷗外 永遠の問いかけ       | ISBN978-4-7879-6806-7 B6並製 300頁 2200円 |                                                                                                |
| 柳澤浩哉 著            | 新典社選書 62                              | 名作『こころ』。その最重要案件にして実に不可解なKの自殺の原因は、従来いわれるような先生の裏切りにあったのか。これまで見過ごされてきた矛盾や不合理を、丹念なる読みで解明する。        |
| 『こころ』の真相          | ISBN978-4-7879-6812-8 B6並製 256頁 1800円 |                                                                                                |
| 小林一郎 著            | 日本の作家 43                              | 花袋は「蒲団」の発表により、前年に『破戒』を刊行した島崎藤村とともに、日本自然主義文学の創始者となって文壇の地位を固めた。誠実と不屈の闘志で生涯を貫いた花袋の本領に迫る。          |
| 田山花袋              | ISBN978-4-7879-7043-5 B6上製 280頁 1800円 |                                                                                                |
| 萩野恭茂 著            | 新典社選書 23                              | 理想追求の使命に浪漫的修験者のような生涯を生きた女性、与謝野晶子。その心の宝石箱からこぼれた珠玉の短歌100首を鑑賞する。『みだれ髪』から50首、以降の歌集から50首を精選。        |
| 晶子の美学             | ISBN978-4-7879-6773-2 B6並製 144頁 1260円 |                                                                                                |

|                                     |                                       |                                                                                                |
|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鈴木武晴 著                              | 新典社選書 45                              | 万葉集を考慮し詠まれた、窪田空穂の亡き母挽歌「藤衣」が、斎藤茂吉に与えた影響とは。また空穂の富士関係歌に生かされた万葉集短歌連作の型とは。万葉集と空穂歌との有機的関わりを読み解く。     |
| <b>窪田空穂と万葉集</b><br>— 亡き母挽歌と富士関係歌 —  | ISBN978-4-7879-6795-4 B6並製 320頁 2400円 |                                                                                                |
| 藪禎子 著                               | 女性作家評伝シリーズ 3                          | 漱石に師事したエリート主義作家として知られる野上彌生子を、情熱たぎる〈新しい女〉として読み直す。現役作家であり続けた彌生子さながらに、著者が逝去直前までつづった新しい彌生子像。       |
| <b>野上彌生子</b>                        | ISBN978-4-7879-7303-0 B6並製 272頁 2000円 |                                                                                                |
| 人見千佐子 著                             | 新典社選書 72                              | 人々が宮沢賢治の詩『雨ニモマケズ』に直感的に感じる何かの正体とは。賢治を迫体験しつつ、創造世界「イーハトーヴ」の構築過程とその本質を明らかにする。                      |
| <b>リアルなイーハトーヴ</b><br>— 宮沢賢治が求めた空間 — | ISBN978-4-7879-6822-7 B6並製 320頁 2300円 |                                                                                                |
| 岡崎和夫 著                              | 日本の作家 55                              | 中也の縁者と親しい交流を重ね、稀少な遺稿を多く目の当たりにした著者が、感性豊かに生きた彼の生涯に触れる。今なお純粹な輝きを失わない中原中也の本質を明らかにした渾身の一書。          |
| <b>中原中也</b>                         | ISBN978-4-7879-7055-8 B6上製 352頁 2800円 |                                                                                                |
| 大島龍彦・大島裕子 編著                        |                                       | 彫刻家であり詩人である高村光太郎が、智恵子との恋愛のはじめから彼女の臨終とその後にわたって詠った詩群の中から、29編の詩を光太郎自らが抄出して編んだ『智恵子抄』の、主に詩の世界を解説した。 |
| <b>『智恵子抄』の世界</b>                    | ISBN978-4-7879-7836-3 B6並製 256頁 1900円 |                                                                                                |
| 大島龍彦 著                              | 新典社選書 40                              | 高村光太郎と智恵子の愛の軌跡『智恵子抄』。その作品解釈を中心に、詩集の内容を人恋い譚・同棲譚・妻恋い譚の三部にわけ、ふたりが過ごした時間や背景に配慮し、詩そのものの核心を見出す。      |
| <b>智恵子抄を読む</b>                      | ISBN978-4-7879-6790-9 B6並製 176頁 1300円 |                                                                                                |
| 大島裕子 著                              |                                       | 詩の背景・未公開書簡を交えながら詩集『智恵子抄』には描かれなかった等身大の智恵子像を探す。誕生からその終焉まで、光太郎と智恵子の足跡30箇所を訪ねた紀行エッセイ。画・沢野ひとし       |
| <b>智恵子抄を歩く</b><br>— 素顔の智恵子 —        | ISBN978-4-7879-7838-7 B6並製 240頁 1800円 |                                                                                                |
| 大島裕子 著                              | 新典社新書 44                              | 芸術家として彫刻や油絵を創作しながら、光太郎は智恵子へ思いを詩に託した。哀しくも美しく、ときに烈火のようですらあった愛。『智恵子抄』が誕生した背景へ、あたたかな光をそそぐ。         |
| <b>智恵子抄の光景</b>                      | ISBN978-4-7879-6144-0 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                                |
| 小林裕子 著                              | 女性作家評伝シリーズ 12                         | 壺井栄は自身の体験を作品世界として創造する際、いかなる手法を発揮したのか。それを読み解くため各作品を母丹に分析解釈し、さらにはジェンダーの視点から、壺井栄の仕事ぶりを眺める。        |
| <b>壺井栄</b>                          | ISBN978-4-7879-7312-2 B6並製 288頁 2100円 |                                                                                                |
| 宮崎莊平 著                              | 新典社選書 34                              | 歌人・国文学者として知られる土屋文明の出自、家族のこと、足利・諏訪・松本等各地域とのかかわり、人々との対外的な関係、そして独自の生き方等々に焦点を据え、歌とともにたどる。          |
| <b>土屋文明私論</b><br>— 歌・人・生 —          | ISBN978-4-7879-6784-8 B6並製 260頁 2100円 |                                                                                                |
| 大伏春美・大伏節子 編著                        |                                       | 歌人として知られる土岐善麿は、図書館事業にも大きな業績を残している。従来、言及されることの少ない土岐の図書館関連の業績を集め、土岐善麿研究および図書館研究に一石を投じる一書。        |
| <b>土岐善麿と図書館</b>                     | ISBN978-4-7879-7839-4 B6並製 240頁 1700円 |                                                                                                |

|                                        |               |                                                                                            |
|----------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 原國人 著                                  |               | 太宰治の『富嶽百景』を丹念に読むと、若山牧水を意識した記述や、さらには能因・西行・芭蕉といった文藝史上の先人の姿が浮かび上がってくる。『富嶽百景』にこめられた仕掛けや思いを謎解く。 |
| <b>謎 解 き 富 嶽 百 景</b>                   |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-7856-1 B6並製 184頁 1400円  |               |                                                                                            |
| 井上隆史 著                                 | 日本の作家 49      | 多面体の人、三島由紀夫。仮面を被って生きることの意義に自覚的であり続けたその生涯とは。詩作に興じた少年時代から、作家としての到達点、壮烈な最期に至るまでを、新資料を踏まえて辿る！  |
| 豊饒なる仮面                                 |               |                                                                                            |
| <b>三 島 由 紀 夫</b>                       |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-7049-7 B6上製 256頁 2000円  |               |                                                                                            |
| 井上隆史 著                                 | 新典社選書 76      | 2015年に生誕90年をむかえた三島由紀夫と生誕100年をむかえた野間宏。戦後文学の正統と異端、政治的・思想的にも対極にある二人の窮極の大作を、今、読み直す。            |
| <b>三島由紀夫『豊饒の海』VS野間宏『青年の環』</b>          |               |                                                                                            |
| —— 戦後文学と全体小説                           |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-6826-5 B6並製 192頁 1400円  |               |                                                                                            |
| 岡山典弘 著                                 | 新典社選書 78      | 作家・三島由紀夫はどのように誕生したのか。母方の親族や少年期に憧れた作家、自決直前の刺青にまつわるエピソード、他の作家によって書かれた三島像など、様々な角度からその素顔に迫る。   |
| <b>三 島 由 紀 夫 の 源 流</b>                 |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-6828-9 B6並製 256頁 1800円  |               |                                                                                            |
| 尾形明子 著                                 | 女性作家評伝シリーズ 6  | 多彩な才能と恋愛遍歴で知られる宇野千代の作家としての姿に向き合い、膨大な資料収集・作品調査をとおして、文学を文学そのものとして浮かびあがらせる新たな評伝。              |
| <b>宇 野 千 代</b>                         |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-7306-1 B6並製 288頁 2100円  |               |                                                                                            |
| 中山和子 著                                 | 女性作家評伝シリーズ 8  | 生地諏訪の時代／放浪と昏迷／『文芸戦線』の作家として／プロレタリア女性作家として／転向と戦争の時代／戦後の結実／晩年まで／たい子年譜／参考文献。たい子の生涯を描く。         |
| <b>平 林 た い 子</b>                       |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-7308-5 B6並製 192頁 1500円  |               |                                                                                            |
| 小林富久子 著                                | 女性作家評伝シリーズ 11 | 日本の女たちが長く秘めてきた飢えや渴望を、『女坂』、『妖』など一連の、古典を媒介とするポリフォニックな小説群として浮上させ、戦後女性文学の金字塔を打ち立てた。            |
| <b>円 地 文 子</b>                         |               |                                                                                            |
| — ジェンダーで読む作家の生と作品 —                    |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-7311-5 B6並製 288頁 2100円  |               |                                                                                            |
| 由里幸子 著                                 | 女性作家評伝シリーズ 13 | 文豪幸田露伴の娘として生まれた幸田文。彼女の気骨があり、凛とした文章は、前半生のつらい体験を土壌としている。その波乱に満ちた八十六年の生涯と作品に鋭く迫る珠玉の一冊。        |
| <b>幸 田 文</b>                           |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-7313-9 B6並製 208頁 1500円  |               |                                                                                            |
| 半沢幹一 著                                 | 新典社新書 55      | 作品中、トランプマジックのように次々と魅力的な比喩表現を繰り出してくる向田邦子。短編集『思い出トランプ』からその卓越した比喩を抜き出し、作品を読む際の「読者の楽しみ」方を探る。   |
| <b>向 田 邦 子 の 比 喩 ト ラ ン プ</b>           |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-6155-6 新書判並製 160頁 1000円 |               |                                                                                            |
| 半沢幹一 著                                 | 新典社新書 66      | 『向田邦子の比喩トランプ』に続き、短編集『思い出トランプ』を読み解く。物語の名手・向田邦子が仕掛けたトリックに目をこらすと、『思い出トランプ』の新たな読みの可能性が見えてくる。   |
| <b>向 田 邦 子 の 思 い 込 み ト ラ ン プ</b>       |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-6166-2 新書判並製 128頁 800円  |               |                                                                                            |
| 向田邦子研究会 編                              | 新典社選書 89      | 没後40年近くを経て今なお愛される作家・向田邦子の作品の魅力に、向田の研究者や愛読者が鋭く迫った文学論集。研究案内、付録資料も備え、向田文学がより深く味わえるようになる1冊。    |
| <b>向 田 邦 子 文 学 論</b>                   |               |                                                                                            |
| ISBN978-4-7879-6839-5 B6並製 480頁 3500円  |               |                                                                                            |

|                                        |          |                                                                                          |
|----------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 野村幸一郎 著                                | 新典社選書 64 | 本来の日本人のありようにたえず眼差しを向け続けた白洲正子。小林秀雄、能楽、信仰、かくれ里、神仏習合を切り口に彼女がその目を通して発見した日本文化をたどり、随筆の再評価を試みる。 |
| 白洲正子<br>—— 日本文化と身体                     |          |                                                                                          |
| ISBN978-4-7879-6814-2 B6並製 208頁 1500円  |          |                                                                                          |
| 和田正美 著                                 | 新典社選書 30 | 近代、文学作品という手段を通じて文明はどのように評されたか。森鷗外・夏目漱石・永井荷風・中村光夫・福田恆存。六名の文学者たちによる文明批評の言説をそれぞれの作品に辿る。     |
| 文明批評の系譜<br>— 文学者が見た明治・大正・昭和の日本 —       |          |                                                                                          |
| ISBN978-4-7879-6780-0 B6並製 208頁 1400円  |          |                                                                                          |
| 石塚政吾 著                                 |          | 雑誌『種時く人』発祥地・土崎港の風土が育んだ作家・杉田瑞子。石川達三に「一種の量感」と評された芥川賞候補作「北の港」を含む作品群から、才気溢れる地方出身作家の実態を解き明かす。 |
| 物書き 杉田瑞子<br>ブライ漢 秋田出身の芥川賞候補作家          |          |                                                                                          |
| ISBN978-4-7879-7861-5 A5並製 304頁 2850円  |          |                                                                                          |
| 杉下元明 著                                 | 新典社新書 36 | 大人気の映画〈男はつらいよ〉シリーズは決定稿のみならず、準備稿を含め数多くの脚本が残されている。どのような過程を経て、今知れる形になっていったのか。全四十八作の背景をたどる。  |
| 男はつらいよ 推敲の謎                            |          |                                                                                          |
| ISBN978-4-7879-6136-5 新書判並製 160頁 1000円 |          |                                                                                          |

## ◆◆ 一般書（文学・文化全般）◆◆

|                                       |          |                                                                                           |
|---------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 田代圭一 著                                |          | 宮内庁関係機関が所蔵する、歴史人による書に掲げ、書風や人となり、書かれた状況などを全50回で鑑賞する。書を楽しむためのコラムや人間関係を把握するための系図も収録。         |
| 人と書と<br>歴史人の直筆                        |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-7857-8 A5並製 256頁 2300円 |          |                                                                                           |
| 田代圭一 著                                |          | 肉筆文字は人となりであり、書かれた状況すら示す。前著に続き平安後期の藤原定信から、明智光秀や徳川家康ら武将、江戸前期の後西天皇までの書を解説。コラム・人物関係系図つき。      |
| 人と書と II<br>歴史人の直筆                     |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-7860-8 A5並製 216頁 1950円 |          |                                                                                           |
| 二松學舎大学文学部国文学科 編                       |          | 万葉集・源氏物語・平家物語…。あの作品で読んだ場所、道がよみがえる。ありきたりな観光から一步踏み込んだ文学の散歩道を歩いてみませんか？古典の登場人物たちの足跡を辿る、奈良・京都。 |
| 奈良・京都 文学散歩                            |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-7551-5 A5並製 144頁 1200円 |          |                                                                                           |
| 二松學舎大学文学部国文学科 編                       |          | 神奈川は数多くの詩人・作家の故郷であり隠れ家であり保養地でもあった。鎌倉、江ノ島、湘南、横浜、横須賀、他エリア、多彩なルートで、文学や文化により親しめる散歩の必携本。       |
| 神奈川 文学散歩                              |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-7552-2 A5並製 144頁 1200円 |          |                                                                                           |
| 二松學舎大学文学部国文学科 編                       |          | 国文学科として日本一の規模を誇る二松學舎大学文学部国文学科が届ける文学散歩シリーズ、東京編。知らなかった魅力を新発見!? 東京東部・西部・多摩地区。おまつり歳時記も収録。     |
| 東京 文学散歩                               |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-7553-9 A5並製 144頁 1200円 |          |                                                                                           |
| 山岡敬和 著                                | 新典社選書 92 | 自らをとりまく河や水の向こうに日本人は何を見いだしてきたか。古代から近世にかけのこされた、河・水にまつわる神話や歌、物語を読み解き、その様相をたどる。               |
| ゆく河の水に流れて<br>—— 人と水が織りなす物語 ——         |          |                                                                                           |
| ISBN978-4-7879-6842-5 B6並製 296頁 2100円 |          |                                                                                           |

|                               |                                       |                                                                                           |
|-------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 佐藤智広 著                        |                                       | 多くの古典作品に描かれてきた古都・鎌倉。静御前が舞う鶴岡八幡宮、義経の腰越状、「いざ、鎌倉」の謡曲「鉢木」など、古典本文とやさしい解釈から往時に想いをはせつつ現在の鎌倉を歩く。  |
| 古典と歩く古都鎌倉                     | ISBN978-4-7879-7854-7 A5並製 240頁 2200円 |                                                                                           |
| 秋山秀一 著                        |                                       | NHKラジオ番組「旅に出ようよ」のプレゼンターが届ける大人のまち歩き。ラジオ放送では伝えきれなかった話や写真を満載し、まち歩きをもっと楽しむためのコラムも収載。          |
| 大人のまち歩き                       | ISBN978-4-7879-7851-6 A5並製 232頁 1600円 |                                                                                           |
| 秋山秀一 著                        |                                       | 東京から1時間ほどの住みやすいまち、千葉県鎌ヶ谷市。この地に40年間暮らしこの地を拠点に世界中を旅してきたまち歩きのエキスパートである著者が案内する鎌ヶ谷の楽しみ方・歩き方。   |
| 鎌ヶ谷 まち歩きの楽しみ                  | ISBN978-4-7879-7858-5 A5並製 160頁 1500円 |                                                                                           |
| 秋山秀一 著                        |                                       | これまで訪れた国と地域は80か所以上という旅の達人が紹介するヨーロッパ24都市の魅力。豊富な写真、おすすめスポットやグルメ、歴史背景など、ヨーロッパを楽しむヒントが詰まった一冊。 |
| ヨーロッパ観光事情 まち歩きの楽しみ            | ISBN978-4-7879-7859-2 A5並製 160頁 1500円 |                                                                                           |
| 中西進 編                         |                                       | 日本・中国・韓国の文化を比較研究する国際学会「東アジア比較文化国際会議」日本支部における成果と今後の展望を、比較文化・比較文学・仏教文学の三本を柱に、23名の研究者が論じる。   |
| 東アジアの知<br>— 文化研究の軌跡と展望 —      | ISBN978-4-7879-5514-2 A5並製 400頁 5800円 |                                                                                           |
| 小野恭靖 著                        | 新典社選書 81                              | 日本古典の様々な作品から、老いを生きるひとたちの喜怒哀楽や、老いに必要な知恵についての金言を抜粋し解説を施した。先人たちから知る人生の道しるべ。                  |
| 古典の叢智<br>— 老いを愉しむ —           | ISBN978-4-7879-6831-9 B6並製 240頁 1700円 |                                                                                           |
| 古田島洋介 著                       | 叢刊・日本の文学 13                           | 「縁」は中国においても一般的に使われているが、この「縁」という語がどのように発生し、日中両国の文化の内部でどのような位置を占めているのか、広い視野でその歴史を探る。        |
| 「縁」について<br>— 中国と日本 —          | ISBN978-4-7879-7513-3 B6並製 124頁 980円  |                                                                                           |
| 榎本正純 著                        | 新典社新書 46                              | 文学作品の「涙」描写に通底するその概念をさぐり、さらには「日本の私」のありように迫る。グローバル化時代だからこそ知っておきたい、日本文学の美しさ、そして日本人ならではの感性。   |
| 涙の美学<br>— 日本の古典と文化への架橋 —      | ISBN978-4-7879-6146-4 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                           |
| 廣田収・勝山貴之 著                    | 新典社選書 85                              | 日本文学と英文学を専門とする研究者が互いの話に耳を傾け、文学との向き合い方について語らい、また古典をはじめ読むときの留意点についてやさしく解説する。                |
| 源氏物語とシェイクスピア<br>— 文学の批評と研究と — | ISBN978-4-7879-6835-7 B6並製 232頁 1700円 |                                                                                           |
| 大木正義 著                        | 新典社選書 60                              | 『伊勢物語』『今鏡』『好色五人女』から森嶋外・芥川龍之介・谷崎潤一郎・渡辺淳一まで、古典から現代の諸作品における細かな表現に立ち止まり、作者が作品に託したひそかな意図を読み解く。 |
| 作品の表現の仕組み<br>— 古典と現代 散策 —     | ISBN978-4-7879-6810-4 B6並製 176頁 1300円 |                                                                                           |
| 福寛美 著                         | 新典社新書 56                              | 日本神話におけるヒルコの手への放逐と再生。死出の旅路が天空の境界として描かれる『銀河鉄道の夜』。その他、万葉集や『タイタニック』など、神話や物語に描かれた「海」の意義とは。    |
| 夜の海、永劫の海                      | ISBN978-4-7879-6156-3 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                           |

|                                          |             |                                                                                              |
|------------------------------------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北島信一 著                                   | 新典社新書 22・43 | 1400年ほど前の中国。自然の岩に翼を持つ文字が刻まれた！ 今なお残る巨大モニュメントの時代背景と、作り上げた僧侶の信仰。またそこに使われている様々な特殊文字の意味を解き明かす。    |
| 神の香り秘法の書<br>— 中国の摩崖石経・上／下 —              |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6122-43 新書判並製 160頁 各1000円 |             |                                                                                              |
| 諏訪春雄 著                                   | 新典社新書 6     | 天皇制を支えてきたのは、女性の霊力である——日本人の宗教観に根づく女性霊力とその価値観が、どのように継承・変質したかを探り、日本人とは何か、日本における女帝のゆくえにせまる。      |
| 天皇と女性霊力                                  |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6106-8 新書判並製 128頁 800円    |             |                                                                                              |
| 笹本正治 著                                   | 新典社新書 2     | その日、諏訪大社の水が赤く染まった——あの武田信玄も怖れ信仰していた大社に起こった異変を、当時の人々はどう受け止めたのか。現代の日本人が失いつつある感性を、戦国時代からまなぶ。     |
| 戦国時代の諏訪信仰<br>— 失われた感性・習俗 —               |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6102-0 新書判並製 160頁 1000円   |             |                                                                                              |
| 白石広子 著                                   | 新典社新書 7     | かのケンペルを日本に駆り立て、『日本誌』を書かせた原動力とは？ 鎖国時代にバテレン追放例に遭いながら、異国で誇り高く生きた日本人女性、じゃがたらお春の人生を鮮やかに描き出す。      |
| バタヴィアの貴婦人                                |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6107-5 新書判並製 160頁 1000円   |             |                                                                                              |
| 高橋博巳 著                                   | 新典社新書 26    | 江戸時代、朝鮮通信使に随行した文人集団と、日本国内の文人たちがことばの壁を越えて果たした交流。思いを交わした筆談や通信使帰国後の記録から、鎖国時代の文芸交流を見出す。          |
| 東アジアの文芸共和国<br>— 通信使・北学派・兼葭堂 —            |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6126-6 新書判並製 128頁 800円    |             |                                                                                              |
| 瀬川拓郎 著                                   | 新典社新書 58    | おとぎ話と思われがちな小人「コロボックル」の伝説。史料をもとにその原像をたどると、知られざる北千島アイヌの成り立ちや、かれらの変わった習俗が浮かび上がってくる。             |
| コロボックルとはだれか<br>—— 中世の千島列島とアイヌ伝説          |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6158-7 新書判並製 128頁 800円    |             |                                                                                              |
| 瀬川拓郎 著                                   | 新典社新書 61    | 千島アイヌは北海道本島のアイヌと直接接触したり言葉交わすことのない沈黙交易を行っていた。北東アジアや日本との関係における、アイヌの習俗そしてイデオロギーとは。              |
| アイヌの沈黙交易<br>— 奇習をめぐる北東アジアと日本 —           |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6161-7 新書判並製 128頁 800円    |             |                                                                                              |
| 石井龍太 著                                   | 新典社選書 39    | 琉球の風景に印象的な赤い瓦。しかし琉球諸島の瓦はもともと赤い色ではなかった。琉球諸島の歴史を受けつ、姿かたちから意味合いまで様々な変化を続けてきた琉球「島瓦」の歴史を辿る。       |
| 島瓦の考古学<br>— 琉球と瓦の物語 —                    |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6789-3 B6並製 212頁 1800円    |             |                                                                                              |
| 福寛美 著                                    | 新典社新書 47    | 琉球の女流歌人、恩納なべとよしや思鶴。なべはひたむきな愛を歌い、遊女よしやは悲恋を歌った。人々に愛唱され、語り継がれる中で込められた思いや憧憬が、ふたりの像を構築していく。       |
| 琉球の恋歌<br>— 「恩納なべ」と「よしや思鶴」 —              |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6147-1 新書判並製 128頁 800円    |             |                                                                                              |
| 福寛美 著                                    | 新典社新書 65    | 琉球の聖域であり多くの謎に包まれた存在、ぐすく。その謎を解く手がかりを神に捧げた同時代の歌である「おもろ」から拾い上げ、その造営の謎を解く手がかりを探りだす。              |
| ぐすく造営のおもろ<br>— 立ち上がる琉球世界 —               |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6165-5 新書判並製 160頁 1000円   |             |                                                                                              |
| 伊藤陽寿 著                                   | 新典社新書 42    | 1609年、薩摩の占領下となった琉球は経済・対外関係など、先行きの見えない「危機の時代」をどのように乗り越えたのか。同じく「危機」と「変化」の時代を生きる現代日本が進むべき道をさぐる。 |
| 「危機の時代」の沖縄<br>— 現代を写す鑑、十七世紀の琉球 —         |             |                                                                                              |
| ISBN978-4-7879-6142-6 新書判並製 128頁 800円    |             |                                                                                              |

|                    |                                       |                                                                                              |
|--------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平井芽阿里 著            | 新典社選書 51                              | 民俗や信仰が色濃く残る地といわれる宮古諸島。著者が10年以上にわたる実地調査によって知りえた、宮古の日常生活に根付く、様々な風習や祭祀組織の状況を、わかりやすい文章で鮮やかに描き出す。 |
| 宮古の神々と聖なる森         | ISBN978-4-7879-6801-2 B6並製 272頁 2000円 |                                                                                              |
| 中畑充弘 著             | 新典社選書 38                              | 沖縄本島北部突端に、カミと交感しそして死後の世界と隣接する場所がある。豊富な写真・資料とともに町の中を歩み、フクギの緑豊かな美しい聖域、知られざる備瀬の姿にせまる。           |
| 沖 縄 備 瀬            | ISBN978-4-7879-6788-6 B6並製 192頁 1400円 |                                                                                              |
| — あの世界につながる聖空間 —   |                                       |                                                                                              |
| 田口章子 編             | 新典社選書 57                              | 京都のくるわは、歌舞伎と発生源を同じくし、伝統文化の精粋を保つ祭りの場である。神事同様のもてなしが行なわれ、「生命更新」の機能をもつ。手垢のついていない、全く新しい「くるわ」論。    |
| 京 都 の く る わ        | ISBN978-4-7879-6807-4 B6並製 192頁 1400円 |                                                                                              |
| — 生命を更新する祭りの場 —    |                                       |                                                                                              |
| 中田節 著              | 新典社選書 50                              | 大道具の出来る過程、見せ方、東西の違いなど。伝統芸能の舞台を一度も観たことがない人から実際に舞台上で踊る人まで、わかりやすい文体と豊富な図版で気軽に楽しめる、日本舞踊の世界。      |
| 大道具で楽しむ日本舞踊        | ISBN978-4-7879-6800-5 B6並製 240頁 2000円 |                                                                                              |
| 綿拔豊昭 著             | 新典社新書 33                              | 戦国期から現代まで脈々と受け継がれた礼儀作法は、日本人のアイデンティティを形成する文化としての一面をもつ。どのような人々が礼法を学び、伝えてきたのか。「人」からたどる礼法の文化史。   |
| 礼法を伝えた男たち          | ISBN978-4-7879-6133-4 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                              |
| 日沖敦子 著             | 新典社選書 31                              | 江戸前期、諸国を遍歴し、在地の人々の毛髪を求めている曼茶羅を縫い上げた僧侶がいた。毛髪曼茶羅に魅せられた著者が追いかける漂泊僧・空念の足跡。毛髪曼茶羅のカラー口絵つき。         |
| 毛髪で縫った曼茶羅          | ISBN978-4-7879-6781-7 B6並製 188頁 1500円 |                                                                                              |
| — 漂泊僧 空念の物語 —      |                                       |                                                                                              |
| 有働智英 著             |                                       | インドでの仏教の誕生から東の中国への伝播・発展の様子を、僧侶でもある研究者が日本の古典・今昔物語集を参照しつつ豊富なイラスト・資料とともに分かりやすく説く、斬新な仏教入門書。      |
| はじめて学ぶ仏教           | ISBN978-4-7879-7863-9 A5並製 256頁 1800円 |                                                                                              |
| インド・中国編            |                                       |                                                                                              |
| 安達太郎・野村幸一郎・林久美子 編著 |                                       | 日本文学・文化において古代より重要なモチーフを形成する性差の越境。これらの表象文化を切り口にトランスジェンダーのありようを探る。京都橘大学女性歴史文化研究所叢書             |
| 表象のトランス・ジェンダー      | ISBN978-4-7879-7850-9 B6並製 224頁 1600円 |                                                                                              |
| —— 越境する性 ——        |                                       |                                                                                              |
| 崔古城 著              |                                       | 韓国出身の文化人類学者が、スズメの目になって日常を俯瞰したエッセイ。著者の日本留学から博士号の取得、そして大学教授としての現在。日韓の比較を交えつつ、日本文化論をつづる。        |
| 雀 様 が 語 る 日 本      | ISBN978-4-7879-7852-3 B6並製 280頁 2100円 |                                                                                              |
| 江藤茂博 編             |                                       | 大学という高等教育機関が直面する危機、中でも縮小を余儀なくされている文学部、並びに人文学について、日本各地のみならず海外の研究者も参加して現状と今後を考えた2つのシンポジウムの記録。  |
| 文学部のリアル、東アジアの人文学   | ISBN978-4-7879-7862-2 A5並製 216頁 1950円 |                                                                                              |
| 古田島洋介 著            | 新典社新書 25                              | 漢文訓読に必要な返り点。その機能と符号、そして用法の体系をやさしく解き明かし、末尾には実践できる精選問題と解答解説つき。高校時代におそるおそる打っていた返り点に自信が持てる！      |
| これならわかる返り点         | ISBN978-4-7879-6125-9 新書判並製 128頁 800円 |                                                                                              |
| — 入門から応用まで —       |                                       |                                                                                              |

古田島洋介 著 **新典社選書 46**  
**これならわかる漢文の送り仮名**  
— 入門から応用まで —  
ISBN978-4-7879-6796-1 B6並製 208頁 1500円

漢文を訓読する際、日本人に必須となる句読点・送り点・送り仮名。そのうち、送り仮名について体系的な説明を試みる。豊富な例文と用例、巻末には練習問題および解答例・解説つき。

古田島洋介 著 **新典社選書 83**  
**これならわかる復文の要領**  
— 漢文学習の裏技 —  
ISBN978-4-7879-6833-3 B6並製 328頁 2400円

書き下し文から原文を復元することで、早く漢文に熟達できる学習法「復文」。江戸時代から行われてきた「復文」が現代の漢文読解に役立つよう、入門篇から応用篇まで網羅した新たな手引書。

馬上駿兵 著 **新典社新書 70**  
**[文法]であじわう名文**  
ISBN978-4-7879-6170-9 新書判並製 128頁 800円

言葉に注目し名文を読み解くと、文法的におかしく感じられる表現にも、実は作者の心遣いが籠められている事がわかる。[文法]を通じて作品をより深くあじわう、ひと味変わった文学案内。

半沢幹一 著 **新典社選書 94**  
**文 体 再 見**  
ISBN978-4-7879-6844-9 B6並製 272頁 2000円

「文は人なり」という。この「文」は文体のことであるが、文体とはいったい何か。じつは、専門的にも明確に規定されていないのである。村上春樹・向田邦子など事例に即しつつその謎を解く一書。

中田雅敏 著  
**教育改革のゆくえ**  
— 続・家庭は子どもの教育の原点 —  
ISBN978-4-7879-7920-9 B6並製 256頁 1800円

日々変遷する教育改革。いじめ・不登校・教師の在り方・家庭の在り方などを、新旧教育基本法をはじめとした様々な法案や通知・通達などともに見通し、今後の教育のあるべき姿を考える。

中田雅敏 著  
**親と子の人間関係**  
— 幼児より青少年まで —  
ISBN978-4-7879-7925-4 新書判並製 176頁 1000円

人間が成長していく過程にあつて、親子関係は極めて重要な要素である。望ましい親子関係の作り方や、起こりうる「いじめ」への対処法など、家庭内で親は子にどう向き合うべきかを考える一書。

ハルトムート・ゲールゲン/デートレフ・ティール/中村博雄 共編  
**理 性 と 平 和**  
ザーロモ・フリートレンダー/ミュノナ政治理論作品選集  
ISBN978-4-7879-5509-8 A5並製 256頁 2400円

人間はいかに生きるべきか？ 人間社会はいかにあるべきか？ いまドイツでの再評価がめざましい、人間の真理の普遍性を説く作家・哲学者の思想と生涯。初の日本語訳となる著作も収載した。

ハルトムート・ゲールゲン/デートレフ・ティール/山本順子/中村博雄 共編  
**技 術 と 空 想**  
ザーロモ・フリートレンダー/ミュノナ グロテスケ作品選集  
ISBN978-4-7879-5511-1 A5並製 240頁 2300円

人間真理の普遍性を説き、日本国憲法にも近似する思想を持つ、作家にして哲学者であるフリートレンダーの記念すべき日本語訳第二弾。いま読むべき哲学の根本。

デートレフ・ティール/中村博雄 共編  
**哲 学 と ユ ー モ ア**  
ザーロモ・フリートレンダー/ミュノナ笑いの理論と実践作品選集  
ISBN978-4-7879-5515-9 A5並製 264頁 2500円

20世紀初頭のドイツで「哲学のチャップリン」と呼ばれた哲学者・作家、フリートレンダー/ミュノナ。日本人の感覚とも通じる彼独特のユーモアに満ちた作品群を収録した好評日本語訳第三弾。

志水義夫 著 **新典社選書 79**  
**ゴ ジ ラ 傳**  
— 怪獣ゴジラの文藝学 —  
ISBN978-4-7879-6829-6 B6並製 240頁 1700円

ゴジラ60周年を機に、『ゴジラ』を大学授業の題材とした著者。その成果が待望の一冊に。1954年公開『ゴジラ』の文学的注釈を行い歴代作品にも言及。映画作品一覧、聖地案内つき。

志水義夫 著 **新典社新書 62**  
**少年少女のクロニクル**  
— セラムン、テツジン、ウルトラマン —  
ISBN978-4-7879-6162-4 新書判並製 128頁 800円

昭和全盛期に生まれ、少年少女達が夢中になったコミックやアニメは、彼らが生まれてから半世紀が経ち、今や研究世界での市民権を得るに至った。その歩みをふりかえる。

|                                         |                                        |                                                                                                 |
|-----------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 志水義夫 著                                  | 新典社新書 71                               | 衝撃的な展開と結末で話題を呼んだ『魔法少女まどか☆マギカ』アニメ・特撮作品も「メディア文藝」として国文学の流れの一つと考える著者が「まど☆マギ」の作品世界をつぶさに読み解く。         |
| <b>魔法少女まどか☆マギカ講義録</b><br>— メディア文藝への招待 — | ISBN978-4-7879-6171-6 新書判並製 160頁 1000円 |                                                                                                 |
| 野村幸一郎 著                                 | 新典社選書 87                               | 宮崎駿が現代社会に向けて映画にこめたメッセージを読み解くべく『風の谷のナウシカ』『もののけ姫』を中心に、作品考察に加えて、講演記録・エッセイなどから宮崎駿の思想を形成した土壤を探る。     |
| <b>新版 宮崎駿の地平</b><br>ナウシカからもののけ姫へ        | ISBN978-4-7879-6837-1 B6並製 208頁 1500円  |                                                                                                 |
| 野村幸一郎 編                                 | 新典社選書 88                               | クラリス・ナウシカ・シータをはじめ、ポニョ・菜穂子まで。宮崎駿は映画作品において多様にして、独特な少女像を描いてきた。そのきわめて重層的な少女像を8本の論考と1本のエッセイからひもとく試み。 |
| <b>宮崎駿が描いた少女たち</b>                      | ISBN978-4-7879-6838-8 B6並製 240頁 1700円  |                                                                                                 |
| 野村幸一郎 著                                 | 新典社新書 69                               | 京アニ作品である『ハルヒ』『クラナド』『けいおん』『Free!』『中二恋』『響け!』を通して、現代における少年少女の居場所と、そこでの成長の物語を読み解く。                  |
| <b>京アニを読む</b>                           | ISBN978-4-7879-6169-3 新書判並製 160頁 1000円 |                                                                                                 |
| 福寛美 著                                   |                                        | 名曲・ヒット曲の中には、論理的ではないが、聴く者の印象に残るフレーズがしばしば含まれる。歌詞を神話学的に読み解くことにより、歌が持つ日本の神話的イメージの一端を明らかにする。         |
| <b>新 うたの神話学</b>                         | ISBN978-4-7879-7926-1 新書判並製 128頁 1100円 |                                                                                                 |
| 深澤邦弘 編著                                 |                                        | 折々の「詩」。長く勤めた都立昭和高校に青々と葉を拓げる「青桐」が持つ歴史とその意味。教え子が「もの一詞いはん」と寄せた回想文。編著者深澤邦弘の来し方が凝縮した魅力あふれる一書。        |
| <b>青</b><br>— もの一詞いはん                   | ISBN978-4-7879-7921-6 新書判並製 124頁 1000円 | 桐                                                                                               |
| 板垣俊一 著                                  |                                        | 大学入学試験「国語」の問題を作成するため、古典文学のおもしろさを説くことを主題に著者が20年にわたってしたための評論文集。古事記・万葉集・源氏物語・枕草子・平家物語・曾根崎中など。      |
| <b>幻想と現実</b><br>— 日本古典文学の愉しみ —          | ISBN978-4-7879-7923-0 B6並製 240頁 1800円  |                                                                                                 |
| 大島龍彦 著                                  |                                        | 妻からの電話／ナオミ／ムーンライト／秋の夜／葬送／灯籠流しの女／白いハンカチ／祈り／……。表題作を含む計27編を収録。不条理な現実社会の深淵を描く独創的な短編小説集。             |
| <b>丘上町二丁目のカラス</b>                       | ISBN978-4-7879-7840-0 B6並製 256頁 1800円  |                                                                                                 |
| 宮崎莊平 著                                  |                                        | 幼少時の記憶、各地で出会った風景、身の周りの人々との交遊、そして今後の展望。約70年にわたり、折にふれ和歌を詠み続けてきた著者が、自身の人生を振り返りつつまとめた、初の歌集。         |
| <b>歌集歩み来し方</b>                          | ISBN978-4-7879-7924-7 新書判並製 112頁 1000円 |                                                                                                 |

# ◆◇ シリーズ別書籍紹介 ◇◆

## 新典社研究叢書

継続刊行中

|                             | 編著者   | 判型  | 頁数   | 本体価格 |
|-----------------------------|-------|-----|------|------|
| 1 北村季吟の人と仕事                 | 野村貴次著 | A5判 | 648頁 | 〔品切〕 |
| 2 近代文学と西鶴                   | 竹野静雄著 | A5判 | 448頁 | 〔品切〕 |
| 3 幸若舞曲考                     | 麻原美子著 | A5判 | 688頁 | 〔品切〕 |
| 4 西鶴研究序説                    | 谷脇理史著 | A5判 | 560頁 | 〔品切〕 |
| 5 西鶴研究論攷                    | 谷脇理史著 | A5判 | 440頁 | 〔品切〕 |
| 6 民俗学の方法序説 — 麦酒祭の研究 —       | 服部旦著  | A5判 | 408頁 | 〔品切〕 |
| 7 王朝国語の表現映像                 | 神尾暢子著 | A5判 | 564頁 | 〔品切〕 |
| 8 平安後期日記文学論 — 更級日記 讃岐典侍日記 — | 守屋省吾著 | A5判 | 328頁 | 〔品切〕 |
| 9 近代作家論叢 — 自我確立の系譜 —        | 片岡懋著  | A5判 | 616頁 | 〔品切〕 |
| 10 平安後期物語の研究 — 狭衣 浜松 —      | 久下晴康著 | A5判 | 320頁 | 〔品切〕 |
| 11 万葉防人歌の諸相                 | 林田正男著 | A5判 | 280頁 | 〔品切〕 |
| 12 日本仏教文学研究 第三集             | 永井義憲著 | A5判 | 736頁 | 〔品切〕 |
| 13 王朝語彙の表現機構                | 神尾暢子著 | A5判 | 436頁 | 〔品切〕 |
| 14 江戸戯作の研究 — 黄表紙を主として —     | 井上隆明著 | A5判 | 600頁 | 〔品切〕 |
| 15 王朝歌人伝の研究                 | 杉崎重遠著 | A5判 | 480頁 | 〔品切〕 |
| 16 月詣和歌集の校本とその基礎的研究         | 杉山重行著 | A5判 | 620頁 | 〔品切〕 |
| 17 古代歌謡の構造                  | 宮岡薫著  | A5判 | 416頁 | 〔品切〕 |
| 18 柿本人麻呂攷                   | 菊池威雄著 | A5判 | 400頁 | 〔品切〕 |
| 19 明治歴史小説論叢                 | 三瓶達司著 | A5判 | 264頁 | 〔品切〕 |
| 20 勅撰集歌人伝の研究                | 杉崎重遠著 | A5判 | 672頁 | 〔品切〕 |
| 21 夏目漱石とその周辺                | 片岡懋著  | A5判 | 280頁 | 〔品切〕 |
| 22 紫の上造型論                   | 倉田実著  | A5判 | 360頁 | 〔品切〕 |
| 23 伊勢物語の章段構成                | 塚原欽雄著 | A5判 | 372頁 | 〔品切〕 |
| 24 中世日記文学論序説                | 渡辺静子著 | A5判 | 656頁 | 〔品切〕 |
| 25 古代文学の天と日 — その思想と表現 —     | 戸谷高明著 | A5判 | 232頁 | 〔品切〕 |
| 26 初期俳諧の研究                  | 田中善信著 | A5判 | 352頁 | 〔品切〕 |
| 27 明治文学論集 1 硯友社・一葉の時代       | 岡保生著  | A5判 | 432頁 | 〔品切〕 |
| 28 明治文学論集 2 水脈のうちそと         | 岡保生著  | A5判 | 432頁 | 〔品切〕 |
| 29 古典文学論考 — 枕草子 和歌 日記 —     | 森本元子著 | A5判 | 456頁 | 〔品切〕 |
| 30 国語表現と音韻現象                | 遠藤邦基著 | A5判 | 464頁 | 〔品切〕 |
| 31 源氏物語の王権と流離               | 日向一雅著 | A5判 | 296頁 | 〔品切〕 |
| 32 中世和歌の研究 — 資料と考証 —        | 濱口博章著 | A5判 | 560頁 | 〔品切〕 |
| 33 西鶴文学とその周辺                | 吉江久彌著 | A5判 | 312頁 | 〔品切〕 |

|    |                        |               |     |      |      |
|----|------------------------|---------------|-----|------|------|
| 34 | 佐藤春夫の『車塵集』中国歴朝名媛詩の比較研究 | 吉川発輝著         | A5判 | 256頁 | 〔品切〕 |
| 35 | 浅井了意怪異小説の研究            | 坂巻甲太著         | A5判 | 360頁 | 〔品切〕 |
| 36 | 鷗外の文学世界                | 須田喜代次著        | A5判 | 320頁 | 〔品切〕 |
| 37 | 近世東海俳壇の研究              | 野田千平著         | A5判 | 616頁 | 〔品切〕 |
| 38 | 近代文藝新攷                 | 岡保生編          | A5判 | 388頁 | 〔品切〕 |
| 39 | 日本文芸論藪                 | 片野達郎著         | A5判 | 320頁 | 〔品切〕 |
| 40 | 万葉集と中国古典の比較研究          | 孫久富著          | A5判 | 400頁 | 〔品切〕 |
| 41 | 近代日本の作家と作品             | 片岡懋著          | A5判 | 296頁 | 〔品切〕 |
| 42 | 中世芸能と仏教                | 金井清光著         | A5判 | 360頁 | 〔品切〕 |
| 43 | スサノオの命の神話              | 杉森暢男著         | A5判 | 192頁 | 〔品切〕 |
| 44 | 万葉歌人とその時代              | 星野五彦著         | A5判 | 256頁 | 〔品切〕 |
| 45 | 国語副詞の史的研究              | 濱田敦・井手至・塚原欽雄著 | A5判 | 320頁 | 〔品切〕 |
| 46 | 王朝小説論                  | 石川徹著          | A5判 | 496頁 | 〔品切〕 |
| 47 | 今鏡研究序説                 | 松園宣郎著         | A5判 | 208頁 | 〔品切〕 |
| 48 | 歌舞伎音楽の研究 ― 国文学の視点 ―    | 景山正隆著         | A5判 | 576頁 | 〔品切〕 |
| 49 | 増鏡考説 ― 流布本考 ―          | 伊藤敬著          | A5判 | 480頁 | 〔品切〕 |
| 50 | 拾遺集と私家集の研究             | 秋間康夫著         | A5判 | 320頁 | 〔品切〕 |
| 51 | 芭蕉と芭蕉以前                | 乾裕幸著          | A5判 | 208頁 | 〔品切〕 |
| 52 | 芭蕉伝記の諸問題               | 今栄蔵著          | A5判 | 642頁 | 〔品切〕 |
| 53 | 太平記研究 ― 民族文芸の論 ―       | 釜田喜三郎著        | A5判 | 428頁 | 〔品切〕 |
| 54 | 説話の本質と研究               | 池辺実著          | A5判 | 424頁 | 〔品切〕 |
| 55 | 万葉集と古今集 ― 古代宮廷叙情詩の系譜 ― | 小沢正夫著         | A5判 | 300頁 | 〔品切〕 |
| 56 | 平安中期和歌考論               | 平田喜信著         | A5判 | 372頁 | 〔品切〕 |
| 57 | 異形の古代文学 ― 記紀・風土記表現論 ―  | 山田直巳著         | A5判 | 272頁 | 〔品切〕 |
| 58 | 初期物語話型論                | 島内景二著         | A5判 | 416頁 | 〔品切〕 |
| 59 | 狭衣物語の人物と方法             | 久下裕利著         | A5判 | 304頁 | 〔品切〕 |
| 60 | 江戸文学研究                 | 神保五彌編         | A5判 | 696頁 | 〔品切〕 |
| 61 | 東国文学の源泉 万葉集東歌の抒情       | 志村士郎著         | A5判 | 304頁 | 〔品切〕 |
| 62 | 享保期江戸俳諧攷               | 楠元六男著         | A5判 | 448頁 | 〔品切〕 |
| 63 | 国語表現の史的形成              | 塚原欽雄著         | A5判 | 576頁 | 〔品切〕 |
| 64 | 方言と計量分析                | 市井外喜子著        | A5判 | 496頁 | 〔品切〕 |
| 65 | 源氏物語注釈史の研究             | 井爪康之著         | A5判 | 616頁 | 〔品切〕 |
| 66 | 漱石と魯迅の比較文学研究           | 林叢著           | A5判 | 364頁 | 〔品切〕 |
| 67 | 改訂 江戸遊女語論集             | 近藤豊勝著         | A5判 | 184頁 | 〔品切〕 |
| 68 | 藤原俊成論考                 | 上條彰次著         | A5判 | 304頁 | 〔品切〕 |
| 69 | 今鏡の表現世界                | 大木正義著         | A5判 | 392頁 | 〔品切〕 |
| 70 | 源氏・後期物語話型論             | 島内景二著         | A5判 | 616頁 | 〔品切〕 |
| 71 | 太平記とその周辺               | 長谷川端編         | A5判 | 644頁 | 〔品切〕 |
| 72 | 落窪物語の表現構成              | 長沼英二著         | A5判 | 224頁 | 〔品切〕 |

|     |                       |                 |     |        |      |
|-----|-----------------------|-----------------|-----|--------|------|
| 73  | 春水人情本と近代小説            | 丸山茂著            | A5判 | 240頁   | [品切] |
| 74  | 歴史物語の表現世界             | 大木正義著           | A5判 | 464頁   | [品切] |
| 75  | 蜻蛉日記の作品構成             | 岡田博子著           | A5判 | 244頁   | [品切] |
| 76  | 平安朝歌人の研究              | 村瀬敏夫著           | A5判 | 320頁   | [品切] |
| 77  | 日本呉音の研究 (全4巻)         | 小倉肇著            | A5判 | 揃3712頁 | [品切] |
| 78  | 内田魯庵と井伏鱒二             | 片岡懋・片岡哲著        | A5判 | 416頁   | [品切] |
| 79  | 更級日記研究                | 伊藤守幸著           | A5判 | 352頁   | [品切] |
| 80  | 説話と縁起                 | 中野猛著            | A5判 | 480頁   | [品切] |
| 81  | 中世古文学像の探求             | 水原一著            | A5判 | 552頁   | [品切] |
| 82  | 王朝の美的語彙 — えんとその周辺・続 — | 梅野きみ子著          | A5判 | 624頁   | [品切] |
| 83  | 王朝文学の表現形成             | 神尾暢子著           | A5判 | 328頁   | [品切] |
| 84  | 万葉集の叙景と自然             | 野田浩子著           | A5判 | 624頁   | [品切] |
| 85  | 古典の水脈                 | 上坂信男著           | A5判 | 552頁   | [品切] |
| 86  | 芭蕉と奥の細道論              | 丸山茂著            | A5判 | 240頁   | [品切] |
| 87  | 明治史劇論叢                | 三瓶達司著           | A5判 | 256頁   | [品切] |
| 88  | 今鏡 — 構成の彩り —          | 大木正義著           | A5判 | 464頁   | [品切] |
| 89  | 拾遺集の構成                | 小池博明著           | A5判 | 336頁   | [品切] |
| 90  | 能・狂言の新論考              | 金井清光著           | A5判 | 376頁   | [品切] |
| 91  | 古文学の流域                | 水原一編            | A5判 | 516頁   | [品切] |
| 92  | 日本霊異記の新研究             | 永藤靖著            | A5判 | 288頁   | [品切] |
| 93  | 日本表現文法論               | 小松光三著           | A5判 | 384頁   | [品切] |
| 94  | 説話と伝承と略縁起             | 中野猛編            | A5判 | 272頁   | [品切] |
| 95  | 室町物語論攷                | 濱中修著            | A5判 | 352頁   | [品切] |
| 96  | 堤中納言物語の形成             | 保科恵著            | A5判 | 352頁   | [品切] |
| 97  | 日本文学における運命の展開         | 森田喜郎著           | A5判 | 352頁   | [品切] |
| 98  | 北村季吟論考                | 榎坂浩尚著           | A5判 | 436頁   | [品切] |
| 99  | 仏教文学の構想               | 今成元昭編           | A5判 | 624頁   | [品切] |
| 100 | 日本上代の恋愛と中国古典          | 孫久富著            | A5判 | 512頁   | [品切] |
| 101 | 古典文芸論考                | 石原清志著           | A5判 | 384頁   | [品切] |
| 102 | 歌語りと説話                | 雨海博洋編           | A5判 | 496頁   | [品切] |
| 103 | 源氏物語の思惟と表現            | 上坂信男編           | A5判 | 464頁   | [品切] |
| 104 | 京伝考証学と読本の研究           | 井上啓治著           | A5判 | 512頁   | [品切] |
| 105 | 万葉集成立論                | 北原美紗子著          | A5判 | 480頁   | [品切] |
| 106 | 今鏡の表現論考               | 大木正義著           | A5判 | 480頁   | [品切] |
| 107 | 室町の歌学と連歌              | 鈴木元著            | A5判 | 400頁   | [品切] |
| 108 | 平安時代物語の研究             | 原國人著            | A5判 | 264頁   | [品切] |
| 109 | 女房三十六人歌合の研究           | 大伏春美著           | A5判 | 320頁   | [品切] |
| 110 | 源氏物語と古代世界             | 伊井春樹・高橋文二・廣川勝美編 | A5判 | 560頁   | [品切] |
| 111 | 平安期日記文芸の研究            | 石坂妙子著           | A5判 | 360頁   | [品切] |

|     |                             |               |     |       |      |
|-----|-----------------------------|---------------|-----|-------|------|
| 112 | 閑吟集定本の基礎的研究                 | 中哲裕著          | A5判 | 304頁  | [品切] |
| 113 | 平家残照                        | 梶原正昭著         | A5判 | 448頁  | [品切] |
| 114 | 近世前期 猪苗代家の研究                | 綿拔豊昭著         | A5判 | 528頁  | [品切] |
| 115 | 室町文学襟記                      | 白井忠功著         | A5判 | 320頁  | [品切] |
| 116 | 近世古今伝授史の研究 ― 地下篇 ―          | 日下幸男著         | A5判 | 816頁  | [品切] |
| 117 | 平安私家集研究                     | 杉谷寿郎著         | A5判 | 616頁  | [品切] |
| 118 | 論考 平安王朝の文学 ― 一条朝の前と後 ―      | 稲賀敬二編         | A5判 | 336頁  | [品切] |
| 119 | 源氏物語注釈史論考                   | 堤康夫著          | A5判 | 528頁  | [品切] |
| 120 | 今鏡表現論                       | 大木正義著         | A5判 | 576頁  | [品切] |
| 121 | 実朝・仙覚 ― 鎌倉歌壇の研究 ―           | 志村士郎著         | A5判 | 304頁  | [品切] |
| 122 | 近世文芸への視座 ― 西鶴を軸として ―        | 谷脇理史著         | A5判 | 384頁  | [品切] |
| 123 | 万葉史を問う                      | 美夫君志会編        | A5判 | 416頁  | [品切] |
| 124 | 古代文学の思想と表現                  | 戸谷高明編         | A5判 | 544頁  | [品切] |
| 125 | 物語文学史の論理 ― 語り・言説・引用 ―       | 東原伸明著         | A5判 | 256頁  | [品切] |
| 126 | 論集 日記文学の地平                  | 守屋省吾編         | A5判 | 480頁  | [品切] |
| 127 | 古事記の表現論的研究                  | 戸谷高明著         | A5判 | 624頁  | [品切] |
| 128 | 中世文学の諸問題                    | 松本寧至編         | A5判 | 240頁  | [品切] |
| 129 | 歴史物語の研究                     | 松本治久著         | A5判 | 352頁  | [品切] |
| 130 | 西村本の浮世草子                    | 湯澤賢之助著        | A5判 | 320頁  | [品切] |
| 131 | 天草版平家物語私考                   | 市井外喜子著        | A5判 | 208頁  | [品切] |
| 132 | 万葉景物論                       | 戸谷高明著         | A5判 | 368頁  | [品切] |
| 133 | 『おくのほそ道』の本文研究 ― 古典教育の視座から ― | 藤原マリ子著        | A5判 | 288頁  | [品切] |
| 134 | 『保元・平治物語』の形成 ― 人物論を中心に ―    | 大島龍彦著         | A5判 | 400頁  | [品切] |
| 135 | 恋歌の風景 ― 古代和歌の研究 ―           | 菊池威雄著         | A5判 | 416頁  | [品切] |
| 136 | 歴史物語論集                      | 松本治久編著        | A5判 | 240頁  | [品切] |
| 137 | 古事記スサノヲの研究                  | 山田永著          | A5判 | 416頁  | [品切] |
| 138 | 伊勢物語の文藝史的研究                 | 原國人著          | A5判 | 416頁  | [品切] |
| 139 | 歌舞伎・俄研究 資料編 室戸市佐喜浜町俄台本集成    | 佐藤恵里著         | A5判 | 1408頁 | [品切] |
| 140 | 国語構文の成分機構                   | 塚原欽雄著         | A5判 | 352頁  | [品切] |
| 141 | 民俗と文化の形成                    | 山田直巳著         | A5判 | 400頁  | [品切] |
| 142 | 堀河朝の文学 ― 堀河天皇の動静を中心として ―    | 古池由美著         | A5判 | 288頁  | [品切] |
| 143 | 平安朝文学 表現の位相                 | 平田喜信編著        | A5判 | 560頁  | [品切] |
| 144 | 連歌師紹巴 ― 伝記と発句帳 ―            | 両角倉一著         | A5判 | 400頁  | [品切] |
| 145 | 伊勢物語の成立と表現                  | 神尾暢子著         | A5判 | 288頁  | [品切] |
| 146 | 森嶋外とその文学への道標                | 酒井敏著          | A5判 | 384頁  | [品切] |
| 147 | 平安時代日記文学の特質と表現              | 大倉比呂志著        | A5判 | 288頁  | [品切] |
| 148 | 国語副詞の史的 research 増補版        | 濱田敦・井手至・塚原欽雄著 | A5判 | 352頁  | [品切] |
| 149 | 王朝和歌・日記文学試論                 | 妹尾好信著         | A5判 | 384頁  | [品切] |
| 150 | 東北・北海道俳諧史の研究                | 井上隆明著         | A5判 | 560頁  | [品切] |

|     |                                |             |     |       |       |
|-----|--------------------------------|-------------|-----|-------|-------|
| 151 | 仮名草子研究 — 説話とその周辺 —             | 花田富二夫著      | A5判 | 512頁  | [品切]  |
| 152 | 近世小笠原流礼法家の研究                   | 陶智子著        | A5判 | 352頁  | [品切]  |
| 153 | 係助詞と係結びの本質                     | 半藤英明著       | A5判 | 200頁  | [品切]  |
| 154 | 古事記神話論                         | 松本直樹著       | A5判 | 480頁  | [品切]  |
| 155 | 流布本 狭衣物語と下紐の研究                 | 中城さと子著      | A5判 | 688頁  | [品切]  |
| 156 | 元伯宗旦 —— 宗旦と三千家の成り立ち            | 坂口善保著       | A5判 | 512頁  | [品切]  |
| 157 | 源氏物語の構造研究                      | 山田利博著       | A5判 | 496頁  | [品切]  |
| 158 | 論集 太平記の時代                      | 長谷川端編著      | A5判 | 712頁  | [品切]  |
| 159 | 新しい枕草子論 主題・手法 そして本文            | 坏美奈子著       | A5判 | 612頁  | [品切]  |
| 160 | 三十六歌仙叢考                        | 新藤協三著       | A5判 | 624頁  | [品切]  |
| 161 | 天皇と和歌 — 三代集の時代の研究 —            | 今野厚子著       | A5判 | 368頁  | [品切]  |
| 162 | 連歌史試論                          | 廣木一人著       | A5判 | 528頁  | [品切]  |
| 163 | 日中古代文芸思想の比較研究                  | 孫久富著        | A5判 | 496頁  | [品切]  |
| 164 | 枕草子研究                          | 塚原欽雄著       | A5判 | 432頁  | [品切]  |
| 165 | うつほ物語引用漢籍注疏 洞中最秘鈔 上原作和・正道寺康子著  | 上原作和・正道寺康子著 | A5判 | 596頁  | [品切]  |
| 166 | 与謝蕪村の俳景 — 太祇を軸として —            | 谷地快一著       | A5判 | 528頁  | [品切]  |
| 167 | 川端康成と東洋思想                      | 康林著         | A5判 | 176頁  | [品切]  |
| 168 | 上代文献の出雲 — 記紀でなぜ出雲が重視されたか —     | 長野一雄著       | A5判 | 208頁  | [品切]  |
| 169 | 西鶴研究 — 小説篇 —                   | 江本裕著        | A5判 | 352頁  | [品切]  |
| 170 | 平家物語における「生」                    | 深澤邦弘著       | A5判 | 288頁  | [品切]  |
| 171 | 天草版平家物語私考 続                    | 市井外喜子著      | A5判 | 192頁  | [品切]  |
| 172 | 天平の歌人 大伴家持                     | 菊池威雄著       | A5判 | 528頁  | [品切]  |
| 173 | 今鏡の表現 追考                       | 大木正義著       | A5判 | 400頁  | [品切]  |
| 174 | 源氏物語の老女房                       | 外山敦子著       | A5判 | 240頁  | [品切]  |
| 175 | 室町時代和歌史論                       | 伊藤敬著        | A5判 | 704頁  | [品切]  |
| 176 | 翻刻『源氏物語古註』 — 山口県文書館蔵右田毛利家伝来本 — | 熊本守雄編       | A5判 | 1376頁 | [品切]  |
| 177 | 日本語助詞の文法                       | 半藤英明著       | A5判 | 304頁  | [品切]  |
| 178 | 太平記と古活字版の時代                    | 小秋元段著       | A5判 | 352頁  | [品切]  |
| 179 | 寂蓮研究 — 家集と私撰和歌集 —              | 半田公平著       | A5判 | 576頁  | [品切]  |
| 180 | 柳沢家の古典学(上) — 『松陰日記』 —          | 宮川葉子著       | A5判 | 1232頁 | [品切]  |
| 181 | 孝思想の受容と古代中世文学                  | 田中徳定著       | A5判 | 528頁  | [品切]  |
| 182 | 鷗外・闘う啓蒙家                       | 渡辺善雄著       | A5判 | 544頁  | [品切]  |
| 183 | 上代和歌史の研究                       | 高松寿夫著       | A5判 | 560頁  | [品切]  |
| 184 | 中世の演劇と文芸                       | 石黒吉次郎著      | A5判 | 320頁  | [品切]  |
| 185 | 氏族伝承と律令祭儀の研究                   | 工藤浩著        | A5判 | 376頁  | [品切]  |
| 186 | 江戸後期紀行文学全集 — 第一巻 —             | 津本信博著       | A5判 | 688頁  | [品切]  |
| 187 | 平安文学 場と表現                      | 信州平安文学研究会編  | A5判 | 304頁  | 8500円 |
| 188 | 源氏物語発生史論 — 明石一族物語の地平 —         | 竹内正彦著       | A5判 | 480頁  | [品切]  |
| 189 | 落窪物語の表現論理                      | 神尾暢子著       | A5判 | 256頁  | [品切]  |

|     |                                     |           |     |      |        |
|-----|-------------------------------------|-----------|-----|------|--------|
| 190 | 源氏物語と平安朝の信仰                         | 鈴木宏昌著     | A5判 | 416頁 | 〔品切〕   |
| 191 | 北原白秋 ― 象徴派詩人から童謡・民謡作家への軌跡 ―         | 中路基夫著     | A5判 | 320頁 | 〔品切〕   |
| 192 | 玄恵法印研究 事跡と伝承                        | 小木曾千代子著   | A5判 | 288頁 | 〔品切〕   |
| 193 | 源氏物語〈読み〉の交響                         | 源氏物語を読む会編 | A5判 | 320頁 | 〔品切〕   |
| 194 | 智恵子抄の新見と実証                          | 大島龍彦著     | A5判 | 272頁 | 〔品切〕   |
| 195 | 藤原頼通の文化世界と更級日記                      | 和田律子著     | A5判 | 596頁 | 〔品切〕   |
| 196 | 詠歌としての和歌 和歌会作法・字余り歌 ― 付〈翻刻〉和歌会作法書 ― | 山本啓介著     | A5判 | 576頁 | 15000円 |
| 197 | 源氏物語研究 ―― 女物語の方法と主題                 | 李美淑著      | A5判 | 384頁 | 〔品切〕   |
| 198 | 戦前戦後異端文学論 ― 奇想と反骨 ―                 | 谷口基著      | A5判 | 480頁 | 〔品切〕   |
| 199 | 王朝文学論 ― 古典作品の新しい解釈 ―                | 坪美奈子著     | A5判 | 468頁 | 13400円 |
| 200 | 芭蕉新論                                | 田中善信著     | A5判 | 448頁 | 〔品切〕   |
| 201 | 万葉集の今を考える                           | 美夫君志会編    | A5判 | 352頁 | 〔品切〕   |
| 202 | 新修 竹取物語別記補訂                         | 塚原欽雄著     | A5判 | 352頁 | 〔品切〕   |
| 203 | 物語文学としての大鏡                          | 桜井宏徳著     | A5判 | 448頁 | 13000円 |
| 204 | 近世初期軍記の研究                           | 阿部一彦著     | A5判 | 384頁 | 11000円 |
| 205 | 平安期日記の史的世界                          | 石坂妙子著     | A5判 | 256頁 | 7500円  |
| 206 | 八犬伝・馬琴研究                            | 播本眞一著     | A5判 | 544頁 | 15600円 |
| 207 | 天草版平家物語 影印編                         | 江口正弘編     | A5判 | 448頁 | 12800円 |
| 208 | 近松浄瑠璃の成立と展開                         | 平田澄子著     | A5判 | 400頁 | 〔品切〕   |
| 209 | 源氏物語における「漢学」 ― 紫式部の学問的基盤 ―          | 佐伯雅子著     | A5判 | 336頁 | 9600円  |
| 210 | 王朝女流文学論攷 ― 物語と日記 ―                  | 宮崎莊平著     | A5判 | 384頁 | 11000円 |
| 211 | 日本上代の神話伝承                           | 伊藤剣著      | A5判 | 384頁 | 11000円 |
| 212 | 王朝継子物語と力 ― 落窪物語からの視座 ―              | 畑恵里子著     | A5判 | 272頁 | 7500円  |
| 213 | 源氏物語と東アジア                           | 仁平道明編     | A5判 | 368頁 | 10000円 |
| 214 | 山部赤人と叙景                             | 井上さやか著    | A5判 | 320頁 | 9200円  |
| 215 | 古代文学の創造と継承                          | 針原孝之編     | A5判 | 624頁 | 17800円 |
| 216 | 源氏物語注釈史の資料と研究                       | 堤康夫著      | A5判 | 816頁 | 23400円 |
| 217 | 古事記と歴史叙述                            | 松本弘毅著     | A5判 | 400頁 | 11400円 |
| 218 | 式亭三馬とその周辺                           | 吉丸雄哉著     | A5判 | 288頁 | 8200円  |
| 219 | 古代神話の研究                             | 小村宏史著     | A5判 | 320頁 | 9200円  |
| 220 | 源氏物語 仮名ぶみの熟成                        | 天野紀代子著    | A5判 | 328頁 | 9600円  |
| 221 | 古事記の文章とその享受                         | 鈴木啓之著     | A5判 | 304頁 | 8700円  |
| 222 | 宣長の源氏学                              | 杉田昌彦著     | A5判 | 384頁 | 〔品切〕   |
| 223 | 源氏物語の王権 ― 光源氏と〈源氏幻想〉 ―              | 辻和良著      | A5判 | 352頁 | 10000円 |
| 224 | 内田百閒論 他者と認識の原画                      | 大谷哲著      | A5判 | 416頁 | 12000円 |
| 225 | 中院通勝真筆本『つれつれ私抄』 ― 本文と校異 ―           | 高木浩明著     | A5判 | 278頁 | 8400円  |
| 226 | 源氏物語と白氏文集                           | 仁平道明編     | A5判 | 336頁 | 9600円  |
| 227 | 聖徳太子説話の研究 ―― 伝と絵伝と                  | 渡辺信和著     | A5判 | 944頁 | 〔品切〕   |
| 228 | 鎌倉時代中後期和歌の研究                        | 鏑武彦著      | A5判 | 432頁 | 12400円 |

|     |                              |             |     |      |        |
|-----|------------------------------|-------------|-----|------|--------|
| 229 | 中世の芸能・文学試論                   | 石黒吉次郎著      | A5判 | 304頁 | 8700円  |
| 230 | 文芸史の可能性 — 平安文芸史新攷 —          | 渡辺仁史著       | A5判 | 240頁 | 6900円  |
| 231 | 国語学史の探求                      | 尾崎知光著       | A5判 | 288頁 | 8200円  |
| 232 | 『倭姫命世記』研究 — 付訓と読解 —          | 中村幸弘著       | A5判 | 672頁 | 〔品切〕   |
| 233 | 日本古典文学読解考 — 『万葉』から『しのびね』まで — | 後藤康文著       | A5判 | 256頁 | 7500円  |
| 234 | 西脇順三郎論 — 〈古代〉そして折口信夫 —       | 太田昌孝著       | A5判 | 256頁 | 7500円  |
| 235 | 源氏物語のなごり — 梗概本・後期物語など —      | 中西健治著       | A5判 | 240頁 | 6900円  |
| 236 | 物語文学集攷 — 平安後期から中世へ —         | 大倉比呂志著      | A5判 | 576頁 | 16500円 |
| 237 | ウヂノワキイラツコ物語の研究               | 金澤和美著       | A5判 | 208頁 | 6000円  |
| 238 | 源氏物語 姫君の世界                   | 太田敦子著       | A5判 | 320頁 | 9200円  |
| 239 | 斎王物語の形成 — 斎宮・斎院と文学 —         | 原楨子著        | A5判 | 368頁 | 10500円 |
| 240 | 和歌的想像力と表現の射程 西行の作歌活動         | 平田英夫著       | A5判 | 368頁 | 10500円 |
| 241 | 江戸後期紀行文学全集 — 第二巻 —           | 津本信博著       | A5判 | 464頁 | 13000円 |
| 242 | 南洋文学の生成 訪れることと想うこと           | 土屋忍著        | A5判 | 368頁 | 10500円 |
| 243 | 大鏡の注釈 ところどころ                 | 小久保崇明著      | A5判 | 304頁 | 8700円  |
| 244 | 幸若歌謡の研究                      | 柴田幸子著       | A5判 | 518頁 | 15000円 |
| 245 | 宮廷御神楽芸能史                     | 中本真人著       | A5判 | 424頁 | 12200円 |
| 246 | 狭衣物語 受容の研究                   | 須藤圭著        | A5判 | 404頁 | 11500円 |
| 247 | 立原道造新論                       | 名木橋忠大著      | A5判 | 288頁 | 8300円  |
| 248 | 謡曲(能)文学論考                    | 松田存著        | A5判 | 432頁 | 12400円 |
| 249 | 『古事記』大后伝承の研究                 | 山崎かおり著      | A5判 | 480頁 | 14000円 |
| 250 | 源氏物語文化論                      | 原豊二著        | A5判 | 350頁 | 10000円 |
| 251 | 伊勢物語考 — 成立と歴史的背景             | 内田美由紀著      | A5判 | 328頁 | 9600円  |
| 252 | 吉本隆明初期詩篇論 — 我と我々と            | 川鍋義一著       | A5判 | 400頁 | 11500円 |
| 253 | 説話文学の方法                      | 山岡敬和著       | A5判 | 368頁 | 10500円 |
| 254 | 禁裏本と和歌御会                     | 酒井茂幸著       | A5判 | 528頁 | 15400円 |
| 255 | 更級日記の遠近法                     | 伊藤守幸著       | A5判 | 352頁 | 10000円 |
| 256 | 庭訓往来 影印と研究                   | 高橋忠彦・高橋久子編著 | A5判 | 624頁 | 18400円 |
| 257 | 石清水物語の研究 — 第三系統伝本の校本と影印 —    | 宮崎裕子著       | A5判 | 640頁 | 18400円 |
| 258 | 古典論考 — 日本という視座               | 前田雅之著       | A5判 | 432頁 | 〔品切〕   |
| 259 | 和歌構文論考                       | 中村幸弘著       | A5判 | 416頁 | 12000円 |
| 260 | 源氏物語続編の人間関係 付 物語文学教材試論       | 有馬貴義著       | A5判 | 368頁 | 10600円 |
| 261 | 冷泉為秀研究                       | 鹿野しのぶ著      | A5判 | 542頁 | 16000円 |
| 262 | 源氏物語の音楽と時間                   | 森野正弘著       | A5判 | 496頁 | 14200円 |
| 263 | 源氏物語〈読み〉の交響Ⅱ                 | 源氏物語を読む会編   | A5判 | 350頁 | 9900円  |
| 264 | 源氏物語の創作過程の研究                 | 呉羽長著        | A5判 | 384頁 | 11000円 |
| 265 | 日本古典文学の方法                    | 廣田收編        | A5判 | 432頁 | 12600円 |
| 266 | 信州松本藩崇教館と多湖文庫                | 鈴木俊幸・山本英二編  | A5判 | 320頁 | 9200円  |
| 267 | テキストとイメージの交響 — 物語性の構築をみる —   | 井黒佳穂子著      | A5判 | 388頁 | 11500円 |

|     |                                |                 |     |      |        |
|-----|--------------------------------|-----------------|-----|------|--------|
| 268 | 近世における『論語』の訓読に関する研究            | 石川洋子著           | A5判 | 528頁 | 15000円 |
| 269 | うつほ物語と平安貴族生活 — 史実と虚構の織りなす世界 —  | 松野彩著            | A5判 | 304頁 | 8800円  |
| 270 | 『太平記』生成と表現世界                   | 和田琢磨著           | A5判 | 512頁 | 14200円 |
| 271 | 王朝歴史物語史の構想と展望                  | 加藤静子・桜井宏徳編      | A5判 | 704頁 | 20000円 |
| 272 | 森嶋外『舞姫』本文と索引                   | 杉本完治編著          | A5判 | 264頁 | 7700円  |
| 273 | 記紀風土記論考                        | 神田典城著           | A5判 | 480頁 | 14000円 |
| 274 | 江戸後期紀行文学全集 — 第三巻 —             | 津本信博著           | A5判 | 288頁 | 8000円  |
| 275 | 奈良絵本絵巻抄                        | 松田存著            | A5判 | 276頁 | 8200円  |
| 276 | 女流日記文学論輯                       | 宮崎莊平著           | A5判 | 928頁 | 26800円 |
| 277 | 中世古典籍之研究 — どこまで書物の本姿に迫れるか —    | 武井和人著           | A5判 | 688頁 | 19800円 |
| 278 | 愚問賢注古注釈集成                      | 酒井茂幸著           | A5判 | 460頁 | 13500円 |
| 279 | 萬葉歌人の伝記と文芸                     | 川上富吉著           | A5判 | 416頁 | 12000円 |
| 280 | 菅茶山とその時代                       | 小財陽平著           | A5判 | 496頁 | 14200円 |
| 281 | 根岸短歌会の証人 桃澤茂春 — 『庚子日録』『曾我蕭白』 — | 桃澤匡行著           | A5判 | 408頁 | 12000円 |
| 282 | 平安朝の文学と装束                      | 畠山大二郎著          | A5判 | 400頁 | 11500円 |
| 283 | 古事記構造論 — 大和王権の〈歴史〉 —           | 藤澤友祥著           | A5判 | 256頁 | 7400円  |
| 284 | 源氏物語 草子地の考察 — 「桐壺」～「若紫」 —      | 佐藤信雅著           | A5判 | 344頁 | 10200円 |
| 285 | 山鹿文庫本発心集 — 影印と翻刻 付解題 —         | 神田邦彦著           | A5判 | 432頁 | 12400円 |
| 286 | 古事記續考と資料                       | 尾崎知光著           | A5判 | 224頁 | 6500円  |
| 287 | 古代和歌表現の機構と展開                   | 津田大樹著           | A5判 | 432頁 | 12400円 |
| 288 | 平安時代語の仮名文研究                    | 阿久澤忠著           | A5判 | 440頁 | 12600円 |
| 289 | 芭蕉の俳諧構成意識 — 其角・蕪村との比較を交えて —    | 大城悦子著           | A5判 | 528頁 | 15100円 |
| 290 | 二松學舎大学附属図書館蔵 奈良絵本 保元物語 平治物語    | 小井土守敏監修         | A5判 | 358頁 | 10800円 |
| 291 | 未刊 江戸歌舞伎年代記集成                  | 倉橋・桑原・小池・齊藤・光延編 | A5判 | 966頁 | 28000円 |
| 292 | 物語展開と人物造型の論理 — 源氏物語 〈二層〉 構造論 — | 中井賢一著           | A5判 | 400頁 | 11500円 |
| 293 | 源氏物語の思想史的研究 — 妄語と方便 —          | 佐藤勢紀子著          | A5判 | 272頁 | 7800円  |
| 294 | 春画論 — 性表象の文化学                  | 鈴木堅弘著           | A5判 | 608頁 | 17600円 |
| 295 | 『源氏物語』の罪意識の受容                  | 古屋明子著           | A5判 | 432頁 | 12600円 |
| 296 | 袖中抄の研究                         | 紙宏行著            | A5判 | 336頁 | 9700円  |
| 297 | 源氏物語の史的意識と方法                   | 湯淺幸代著           | A5判 | 400頁 | 11500円 |
| 298 | 増補 太平記と古活字版の時代                 | 小秋元段著           | A5判 | 432頁 | 12600円 |
| 299 | 源氏物語 草子地の考察2 — 「未摘花」～「花宴」 —    | 佐藤信雅著           | A5判 | 408頁 | 12000円 |
| 300 | 連歌という文芸とその周辺 — 連歌・俳諧・和歌論 —     | 廣木一人著           | A5判 | 472頁 | 13700円 |
| 301 | 日本書紀典拠論                        | 山田純著            | A5判 | 400頁 | 11800円 |
| 302 | 源氏物語と漢世界                       | 飯沼清子著           | A5判 | 468頁 | 13800円 |
| 303 | 中近世中院家における百人一首注釈の研究            | 酒井茂幸著           | A5判 | 568頁 | 16500円 |
| 304 | 日本語基幹構文の研究                     | 半藤英明著           | A5判 | 248頁 | 7200円  |
| 305 | 太平記における白氏文集受容                  | 金木利憲著           | A5判 | 376頁 | 11000円 |
| 306 | 物語文学の生成と展開 — 伊勢・大和とその周辺 —      | 柳田忠則著           | A5判 | 660頁 | 20000円 |

|     |                          |             |     |      |        |
|-----|--------------------------|-------------|-----|------|--------|
| 307 | 源氏物語 読解と享受資料考            | 妹尾好信著       | A5判 | 640頁 | 18400円 |
| 308 | 中世文学の思想と風土               | 石黒吉次郎著      | A5判 | 368頁 | 10600円 |
| 309 | 江戸期の広域出版流通               | 大和博幸著       | A5判 | 448頁 | 13000円 |
| 310 | 源氏物語 引用とゆらぎ              | 中西智子著       | A5判 | 344頁 | 10000円 |
| 311 | うつほ物語の長編力                | 本宮洋幸著       | A5判 | 304頁 | 8800円  |
| 312 | 続・王朝文学論 ― 解釈的発見の手法と論理 ―  | 坪美奈子著       | A5判 | 704頁 | 20500円 |
| 313 | 新撰類聚往来 影印と研究             | 高橋忠彦・高橋久子編著 | A5判 | 784頁 | 23000円 |
| 314 | 『とりかへばや』の研究 ― 変奏する物語世界 ― | 片山ふゆき著      | A5判 | 256頁 | 7400円  |
| 315 | 王朝物語の表現生成 ― 源氏物語と周辺の文学   | 末澤明子著       | A5判 | 480頁 | 14000円 |
| 316 | 水鏡の成立と構造                 | 勝倉壽一著       | A5判 | 352頁 | 10100円 |
| 317 | 源氏物語と周辺文芸の研究             | 山上義実著       | A5判 | 400頁 | 11600円 |
| 318 | 『夜の寝覚』から読む物語文学史          | 伊勢光著        | A5判 | 400頁 | 11600円 |
| 319 | 和泉式部の方法試論                | 久保木寿子著      | A5判 | 616頁 | 18000円 |
| 320 | 八百屋お七論 近代文学の物語空間         | 丹羽みさと著      | A5判 | 264頁 | 7700円  |
| 321 | 民間説話と『宇治拾遺物語』            | 廣田收著        | A5判 | 592頁 | 17200円 |
| 322 | 神仏習合の手法 ― 中世神話から近世神話へ ―  | 吉田唯著        | A5判 | 416頁 | 12100円 |
| 323 | 語彙・語法から見た四鏡の文章           | 小久保崇明著      | A5判 | 304頁 | 8700円  |
| 324 | 『源氏物語』の光と影               | 西田禎元著       | A5判 | 496頁 | 14800円 |
| 325 | 源氏物語〈読み〉の交響 III          | 源氏物語を読む会編   | A5判 | 736頁 | 21400円 |
| 326 | 徒然草 人物考証の新研究             | 上島眞智子著      | A5判 | 320頁 | 9300円  |
| 327 | 金時習『金鰲新話』と日本 ― 和刻本と受容    | 邊恩田著        | A5判 | 272頁 | 8200円  |
| 328 | 校本石清水物語                  | 宮崎裕子著       | A5判 | 688頁 | 20500円 |

古代中世文学論考（古代中世文学論考刊行会編）

継続刊行中

|    |      |     |      |       |    |      |     |      |       |
|----|------|-----|------|-------|----|------|-----|------|-------|
| 23 | 第23集 | A5判 | 288頁 | 6100円 | 32 | 第32集 | A5判 | 264頁 | 5900円 |
| 24 | 第24集 | A5判 | 320頁 | 6400円 | 33 | 第33集 | A5判 | 288頁 | 6100円 |
| 25 | 第25集 | A5判 | 320頁 | 6400円 | 34 | 第34集 | A5判 | 336頁 | 6700円 |
| 26 | 第26集 | A5判 | 368頁 | 7300円 | 35 | 第35集 | A5判 | 304頁 | 6300円 |
| 27 | 第27集 | A5判 | 320頁 | 6400円 | 36 | 第36集 | A5判 | 304頁 | 6400円 |
| 28 | 第28集 | A5判 | 288頁 | 6100円 | 37 | 第37集 | A5判 | 296頁 | 6200円 |
| 29 | 第29集 | A5判 | 320頁 | 6400円 | 38 | 第38集 | A5判 | 376頁 | 7600円 |
| 30 | 第30集 | A5判 | 280頁 | 6100円 | 39 | 第39集 | A5判 | 288頁 | 6100円 |
| 31 | 第31集 | A5判 | 272頁 | 6000円 | 40 | 第40集 | A5判 | 320頁 | 6400円 |

## 和歌文学注釈叢書

編集委員 浅田徹・久保木哲夫・竹下豊・谷知子

全3巻揃 30000円 分売可

- |            |                |     |      |        |
|------------|----------------|-----|------|--------|
| 1 元良親王集全注釈 | 片桐洋一・関西私家集研究会  | A5判 | 304頁 | 9000円  |
| 2 大斎院御集全注釈 | 石井文夫・杉谷寿郎      | A5判 | 320頁 | 10000円 |
| 3 肥後集全注釈   | 久保木哲夫・平安私家集研究会 | A5判 | 352頁 | 11000円 |

## 新典社注釈叢書

継続刊行中

- |                                        |        |     |      |        |
|----------------------------------------|--------|-----|------|--------|
| 5 本朝麗藻全注釈一                             | 今浜通隆注釈 | A5判 | 424頁 | 16990円 |
| 15 本朝麗藻全注釈三                            | 今浜通隆注釈 | A5判 | 624頁 | 17600円 |
| 16 新撰朗詠集全注釈一                           | 柳澤良一注釈 | A5判 | 614頁 | 18000円 |
| 17 新撰朗詠集全注釈二                           | 柳澤良一注釈 | A5判 | 672頁 | 19400円 |
| 18 『古今和歌集』巻二十 一 注釈と論考 一                | 久喜の会編  | A5判 | 436頁 | 13000円 |
| 19 新撰朗詠集全注釈三                           | 柳澤良一注釈 | A5判 | 664頁 | 19400円 |
| 20 新撰朗詠集全注釈四                           | 柳澤良一注釈 | A5判 | 640頁 | 18500円 |
| 21 天草版伊曾保物語 影印及び全注釈<br>言葉の和らげ 影印及び翻刻翻訳 | 江口正弘編  | A5判 | 480頁 | 13800円 |
| 22 全釈続みなしぐり                            | 田中善信注釈 | A5判 | 368頁 | 11000円 |
| 23 柳宗元古文注釈 一 説・伝・騒・弔 一                 | 竹田晃編   | A5判 | 512頁 | 15800円 |
| 24 世俗諺文全注釈                             | 濱田寛注釈  | A5判 | 720頁 | 21000円 |
| 25 本朝麗藻全注釈四                            | 今浜通隆注釈 | A5判 | 636頁 | 18000円 |
| 26 舊家後集 叙意一百韻全注釈                       | 今浜通隆注釈 | A5判 | 712頁 | 20000円 |

## 青表紙本 源氏物語（全五十四帖別冊二）

全56帖揃 54650円 分売可

- |        |         |      |       |        |         |      |       |
|--------|---------|------|-------|--------|---------|------|-------|
| 1 桐 壺  | 山岸徳平校注  | 84頁  | 850円  | 12 須 磨 | 松尾聡校注   | 116頁 | 1000円 |
| 2 帯 木  | 岸上慎二校注  | 156頁 | 1250円 | 13 明 石 | 臼田甚五郎校注 | 128頁 | 1050円 |
| 3 空 蟬  | 藤岡忠美校注  | 40頁  | 500円  | 14 霽 標 | 曾沢太吉校注  | 110頁 | 1000円 |
| 4 夕 顔  | 鈴木知太郎校注 | 158頁 | 1250円 | 15 蓬 生 | 寺本直彦校注  | 96頁  | 950円  |
| 5 若 紫  | 岡一男校注   | 160頁 | 1250円 | 16 関 屋 | 稲賀敬二校注  | 26頁  | 500円  |
| 6 末摘花  | 石川徹校注   | 104頁 | 1000円 | 17 絵 合 | 稲賀敬二校注  | 70頁  | 700円  |
| 7 紅葉賀  | 今井卓爾校注  | 80頁  | 800円  | 18 松 風 | 片桐洋一校注  | 72頁  | 700円  |
| 8 花 宴  | 上坂信男校注  | 40頁  | 500円  | 19 薄 雲 | 清水文雄校注  | 102頁 | 1000円 |
| 9 葵    | 高崎正秀校注  | 144頁 | 1100円 | 20 檜   | 上村悦子校注  | 72頁  | 700円  |
| 10 賢 木 | 松村博司校注  | 150頁 | 1200円 | 21 乙 女 | 森岡常夫校注  | 148頁 | 1200円 |
| 11 花散里 | 松村博司校注  | 22頁  | 500円  | 22 玉 鬘 | 玉上琢弥校注  | 144頁 | 1200円 |

|        |          |      |       |              |            |      |       |
|--------|----------|------|-------|--------------|------------|------|-------|
| 23 初 音 | 中田剛直校注   | 60頁  | 650円  | 41 幻         | 鈴木一雄校注     | 64頁  | 650円  |
| 24 胡 蝶 | 仲田庸幸校注   | 76頁  | 750円  | 42 匂 宮       | 犬養廉校注      | 52頁  | 550円  |
| 25 螢   | 安川定男校注   | 64頁  | 650円  | 43 紅 梅       | 高橋正治校注     | 44頁  | 500円  |
| 26 常 夏 | 橋本不美男校注  | 80頁  | 800円  | 44 竹 河       | 桑原博史校注     | 124頁 | 1050円 |
| 27 篝 火 | 今泉忠義校注   | 18頁  | 500円  | 45 橋 姫       | 秋山虔校注      | 120頁 | 1000円 |
| 28 野 分 | 今泉忠義校注   | 56頁  | 600円  | 46 椎 本       | 野口元大校注     | 124頁 | 1050円 |
| 29 行 幸 | 南波浩校注    | 104頁 | 1000円 | 47 総 角       | 阪倉篤義校注     | 316頁 | 1800円 |
| 30 藤 袴 | 迫徹朗校注    | 56頁  | 550円  | 48 早 蕨       | 吉岡曠校注      | 64頁  | 650円  |
| 31 真木柱 | 今井源衛校注   | 116頁 | 1000円 | 49 宿 木       | 大朝雄二校注     | 256頁 | 1800円 |
| 32 梅ヶ枝 | 目加田さくを校注 | 68頁  | 700円  | 50 東 屋       | 喜多義勇校注     | 184頁 | 1500円 |
| 33 藤裏葉 | 池田弥三郎校注  | 84頁  | 850円  | 51 浮 舟       | 阿部秋生校注     | 192頁 | 1500円 |
| 34 若菜上 | 村井順校注    | 322頁 | 1800円 | 52 蜻 蛉       | 多屋頼俊校注     | 168頁 | 1400円 |
| 35 若菜下 | 石田穰二校注   | 348頁 | 1800円 | 53 手 習       | 池田勉校注      | 200頁 | 1600円 |
| 36 柏 木 | 桜井祐三校注   | 136頁 | 1200円 | 54 夢の浮橋      | 長谷章久校注     | 64頁  | 650円  |
| 37 横 笛 | 高橋和夫校注   | 64頁  | 650円  | 55 山路の露・雲隠六帖 |            |      |       |
| 38 鈴 虫 | 菊田茂男校注   | 60頁  | 650円  |              | 山岸徳平・今井源衛編 | 138頁 | 1100円 |
| 39 夕 霧 | 神作光一校注   | 228頁 | 1700円 | 56 源氏物語解題    |            |      |       |
| 40 御 法 | 清水好子校注   | 72頁  | 700円  |              | 山岸徳平・今井源衛著 | 136頁 | 1100円 |

## 影印本シリーズ

### 継続刊行中

|                           |                  |        |      |       |
|---------------------------|------------------|--------|------|-------|
| 仮名変体集                     | 伊地知鉄男編           | B6判    | 64頁  | 350円  |
| 実用変体がな                    | かな研究会編           | A5判    | 112頁 | 600円  |
| 画引き かな解読字典                | かな研究会編           | A5判    | 112頁 | 600円  |
| 画引き くずし字解読字典 ー 増補改訂・索引付 ー | くずし字研究会編         | A5判    | 128頁 | 800円  |
| 古筆切で読む くずし字練習帳            | 小島孝之著            | B5判    | 64頁  | 1000円 |
| 変体がなで読む日本の古典              | 田代圭一・山中悠希・和田琢磨編  | A4判    | 80頁  | 1000円 |
| 万葉集略解抄 (影印本)              | 川上富吉編            | A5判    | 160頁 | 1600円 |
| 影印本 万葉新採百首解               | 鈴木淳・吉村誠編         | A5判    | 208頁 | 1845円 |
| 竹取物語 (影印本) 別冊解説付          | 片桐洋一編            | B5判 枳形 | 104頁 | 1000円 |
| 影印本 土左日記 (新訂版)            | 萩谷朴編             | A5判    | 112頁 | 800円  |
| 影印本 伊勢物語                  | 片桐洋一編            | A5判    | 164頁 | 1100円 |
| 変体仮名で読む 源氏物語全和歌           | 井上八雲編・中田武司監修     | B5判    | 240頁 | 3800円 |
| ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「須磨」     | 伊藤欽也編            | A5判    | 186頁 | 1600円 |
| ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「蜻蛉」     | 伊藤欽也編            | A5判    | 210頁 | 1800円 |
| 国立歴史民俗博物館蔵『源氏物語』「鈴虫」      | 伊藤欽也・阿部江美子・浅川槇子編 | A5判    | 154頁 | 1800円 |
| 国文学研究資料館蔵 橋本本『源氏物語』「若紫」   | 伊藤欽也・浅川槇子編       | A5判    | 178頁 | 1400円 |
| 影印本 和泉式部物語                | 鈴木一雄・伊藤博編        | A5判    | 112頁 | 1000円 |

|     |                   |                |     |      |       |
|-----|-------------------|----------------|-----|------|-------|
| 影印本 | 更級日記              | 犬養廉編           | A5判 | 208頁 | 1300円 |
| 影印本 | 定家歌論集             | 田中裕編           | A5判 | 102頁 | 1000円 |
| 影印本 | 百人一首              | 有吉保・犬養廉・橋本不美男編 | A5判 | 80頁  | 750円  |
| 影印本 | 鳴の羽搔              | 川平ひとし・大伏春美編    | A5判 | 288頁 | 2000円 |
| 影印本 | 連歌作品集             | 廣木一人編          | A5判 | 128頁 | 1300円 |
| 影印本 | 元禄版猿蓑 —『猿蓑箋註』翻刻付— | 雲英・佐藤編         | A5判 | 192頁 | 1845円 |
| 影印本 | 曾根崎心中 —加賀掾直伝—     | 森修編            | A5判 | 74頁  | 750円  |
| 影印本 | 心中重井筒・今宮の心中       | 景山正隆編          | A5判 | 168頁 | 1300円 |

## 影印校注古典叢書

### 継続刊行中

|         |                   |                 |     |                                     |       |
|---------|-------------------|-----------------|-----|-------------------------------------|-------|
| 1       | 桐 壺               | 山岸徳平校注          | A5判 | 80頁                                 | 850円  |
| 2       | 百人一首 (兼載筆)        | 有吉保・犬養廉・橋本不美男校注 | A5判 | 64頁                                 | 700円  |
| 3       | 古今集一              | 橘りつ校注           | A5判 | 144頁                                | 1300円 |
| 4       | 十六夜日記             | 一瀬幸子・江口正弘・長崎健校注 | A5判 | 96頁                                 | 1000円 |
| 5       | 小倉山庄色紙和歌 (百人一首古注) | 有吉保・神作光一校注      | A5判 | 168頁                                | 1400円 |
| 6       | 伊勢物語              | 小林茂美校注          | A5判 | 184頁                                | 1700円 |
| 7・13    | 堤中納言物語 (上下)       | 塚原欽雄・神尾暢子校注     | A5判 | 上112頁/1000円・下152頁/1200円             |       |
| 9・30・39 | 大鏡 (上中下)          | 小久保崇明校注         | A5判 | 上136頁/1200円・中176頁/1600円・下168頁/1500円 |       |
| 10      | 万葉集 巻一・二          | 桜井満・並木宏衛校注      | A5判 | 112頁                                | 1100円 |
| 11      | 大福光寺本 方丈記         | 小内一明校注          | A5判 | 112頁                                | 1100円 |
| 14      | 柏 木               | 岡野道夫校注          | A5判 | 126頁                                | 1100円 |
| 16      | お伽草子一 おようの尼・玉もの前  | 西沢正二・石黒吉次郎校注    | A5判 | 112頁                                | 1100円 |
| 17      | 帚 木               | 犬養廉・奥出文子校注      | A5判 | 144頁                                | 1250円 |
| 18      | 須磨・明石             | 橘誠校注            | A5判 | 224頁                                | 1800円 |
| 22      | 和泉式部日記            | 平田喜信校注          | A5判 | 124頁                                | 1200円 |
| 25      | 若紫・末摘花            | 有吉保・安藤亨子校注      | A5判 | 232頁                                | 1800円 |
| 28      | 滯標・蓬生・関屋          | 守屋省吾校注          | A5判 | 208頁                                | 1700円 |
| 29      | 篝火・野分・行幸・藤袴       | 中田武司校注          | A5判 | 200頁                                | 1700円 |
| 31      | 春のみやまち            | 渡辺静子校注          | A5判 | 216頁                                | 1800円 |
| 33      | 玉鬘・初音             | 小山利彦校注          | A5判 | 184頁                                | 1700円 |
| 34      | 紅葉賀・花宴・葵          | 神作光一・遠藤和夫校注     | A5判 | 236頁                                | 1800円 |
| 35      | 絵合・松風・薄雲          | 野口元大校注          | A5判 | 220頁                                | 1800円 |
| 36      | 橋姫・椎本             | 森本元子校注          | A5判 | 224頁                                | 1942円 |
| 37      | 真木柱・梅ヶ枝・藤裏葉       | 井爪康之校注          | A5判 | 236頁                                | 1800円 |
| 38      | 槿・乙女              | 武山隆昭校注          | A5判 | 206頁                                | 1700円 |

## 新典社校注叢書

継続刊行中

|                 |             |     |      |       |
|-----------------|-------------|-----|------|-------|
| 1 校注 方丈記・徒然草    | 長崎健・桑原博史編   | B6判 | 224頁 | 1700円 |
| 2 校注 紫式部日記      | 萩谷朴編        | B6判 | 160頁 | 1500円 |
| 3 校注 万葉集筑紫篇     | 林田正男編       | B6判 | 272頁 | 1900円 |
| 4 校注 狭衣物語 卷一・卷二 | 久下晴康・堀口悟編   | B6判 | 224頁 | 1700円 |
| 5 校注 大和物語       | 柳田忠則編       | B6判 | 216頁 | 1600円 |
| 6 校注 とはづがたり     | 松村雄二編       | B6判 | 272頁 | 2000円 |
| 9 校注 讃岐典侍日記     | 小谷野純一編      | B6判 | 160頁 | 1650円 |
| 10 校注 更級日記      | 小谷野純一編      | B6判 | 168頁 | 1700円 |
| 11 校注 堤中納言物語    | 大倉比呂志編      | B6判 | 136頁 | 1350円 |
| 12 校注 風に紅葉      | 大倉比呂志・鈴木泰恵編 | B6判 | 128頁 | 1280円 |

## 大妻文庫（大妻女子大学国文学会編）

継続刊行中

|          |     |      |       |          |     |      |       |
|----------|-----|------|-------|----------|-----|------|-------|
| 1 徒然草    | B6判 | 528頁 | 3800円 | 4 曾我物語 中 | B6判 | 560頁 | 4100円 |
| 2 詞花和歌集  | B6判 | 328頁 | 2500円 | 5 曾我物語 下 | B6判 | 512頁 | 3700円 |
| 3 曾我物語 上 | B6判 | 432頁 | 3200円 |          |     |      |       |

## 活字本 教科書

継続刊行中

|                                   |                       |     |      |       |
|-----------------------------------|-----------------------|-----|------|-------|
| 新講古典文法                            | 塚原欽雄著                 | A5判 | 144頁 | 1300円 |
| 古典文学概論 ― キーワードで読む原典 ―             | 竹尾・本間・濱中・安保編          | A5判 | 272頁 | 2380円 |
| 作品中心 日本文学史                        | 山岸徳平編                 | A5判 | 228頁 | 1000円 |
| 日本文学研究のために ――                     | 山岸徳平編                 | A5判 | 192頁 | 1200円 |
| 古事記歌謡注釈 歌謡の理論から読み解く古代歌謡の全貌        | 辰巳正明監修                | A5判 | 288頁 | 2600円 |
| 懷風藻 古代日本漢詩を読む                     | 辰巳正明著                 | A5判 | 392頁 | 3600円 |
| 女流の文学 ― 古典編 ―                     | 青木・糸賀・井上・木村・濱口・藤平・森本編 | A5判 | 256頁 | 1600円 |
| 日本詩歌選〔改訂版〕                        | 古典和歌研究会編              | A5判 | 248頁 | 1000円 |
| 日本古典 文・和歌・文章の構造                   | 中村幸弘・碁石雅利著            | A5判 | 282頁 | 2700円 |
| 漢文文型 訓読の語法                        | 中村幸弘・杉本完治著            | A5判 | 392頁 | 3800円 |
| 日本文学検定公式問題集〔古典・近現代〕 3級            | 日本文学検定委員会編            | A5判 | 256頁 | 1500円 |
| 日本文学検定公式問題集〔古典〕 2級                | 日本文学検定委員会編            | A5判 | 352頁 | 2000円 |
| 日本文学検定公式問題集〔近現代〕 2級               | 日本文学検定委員会編            | A5判 | 368頁 | 2000円 |
| 絵とあらすじで読む源氏物語 ― 溪斎英泉『源氏物語絵尽大意抄』 ― | 小町谷照彦編著               | A5判 | 512頁 | 4600円 |

|                      |                      |     |                  |       |
|----------------------|----------------------|-----|------------------|-------|
| 新注 源氏物語抄             | 久下晴康・元吉進編            | A5判 | 192頁             | 1600円 |
| 編年 中世の文学 — 中世文学小事典 — | 浅見・天野・小島・田村編         | A5判 | 320頁             | 2000円 |
| 屋代本・高野本 対照 平家物語一     | 麻原美子・春田宣・松尾葦江編       | A5判 | 400頁             | 3000円 |
| 屋代本・高野本 対照 平家物語二     | 麻原美子・春田宣・松尾葦江編       | A5判 | 400頁             | 3000円 |
| 史館茗話                 | 本間洋一編                | A5判 | 192頁             | 1900円 |
| 連句の世界                | 佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦編 | A5判 | 128頁             | 1300円 |
| 芭蕉・近松・西鶴             | 峯岸義秋・扇畑忠雄・片野達郎編      | A5判 | 174頁             | 1000円 |
| 影印版頭注付 西鶴の世界Ⅰ        | 雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又編   | A5判 | 128頁             | 1300円 |
| 影印版頭注付 西鶴の世界Ⅱ        | 雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又編   | A5判 | 128頁             | 1300円 |
| 俊寛 — 平家・謡曲・浄瑠璃 —     | 景山正隆・松崎仁編            | A5判 | 160頁             | 1300円 |
| 新版 作品で読む20世紀の日本文学    | 京都橘大学日本語日本文学科編       | A5判 | 88頁              | 1000円 |
| 新版 作品で読む明治文学         | 京都橘大学日本語日本文学科編       | A5判 | 122頁             | 1100円 |
| 新版 作品で読む宮沢賢治         | 京都橘大学日本語日本文学科編       | A5判 | 88頁              | 1000円 |
| 注釈『晩年』抄              | 赤木孝之編                | A5判 | 224頁             | 1748円 |
| 中級からの日本語 — 読解中心 —    | 池田重監修                | B5判 | 本文192頁<br>別冊 24頁 | 2000円 |
| 日本語リテラシー             | 伊藤善隆・小森潔監修           | B5判 | 64頁              | 1000円 |

### 単行本（研究書・資料・他）

### 継続刊行中

|                                           |          |     |      |        |
|-------------------------------------------|----------|-----|------|--------|
| 中京大学文化科学叢書17 東海の「道」から見た上代文学 —— 東海・東山道を基軸に | 佐藤隆編著    | A5判 | 312頁 | 3900円  |
| 作品別研究文献2 大和物語文献集成                         | 柳田忠則編    | A5判 | 376頁 | 11200円 |
| 松井石根 アジア主義論集                              | 野村幸一郎編   | A5判 | 292頁 | 8500円  |
| 日本語文法 — 言葉は川の流れるように — 応用編                 | 小松光三著    | A5判 | 384頁 | 11000円 |
| 日記文学研究 第三集                                | 日記文学研究会編 | A5判 | 288頁 | 8600円  |
| 叢刊・日本の文学13 「縁」について — 中国と日本 —              | 古田島洋介著   | B6判 | 124頁 | 980円   |

### 日本の作家

### 継続刊行中

|                    |       |     |      |       |
|--------------------|-------|-----|------|-------|
| 9 蜻蛉日記作者 右大将道綱母    | 増田繁夫著 | B6判 | 272頁 | 1700円 |
| 11 感性のきらめき 清少納言    | 藤本宗利著 | B6判 | 272頁 | 2100円 |
| 12 源氏の作者 紫式部       | 稲賀敬二著 | B6判 | 272頁 | 1700円 |
| 19 誇り高く歌に生きた 藤原俊成女 | 神尾暢子著 | B6判 | 256頁 | 2000円 |
| 23 残照の中の巨樹 正 徹     | 村尾誠一著 | B6判 | 272頁 | 2200円 |
| 24 人生の達人 兼好法師      | 桑原博史著 | B6判 | 248頁 | 1600円 |
| 43 自然主義作家 田山花袋     | 小林一郎著 | B6判 | 280頁 | 1800円 |
| 49 豊饒なる仮面 三島由紀夫    | 井上隆史著 | B6判 | 256頁 | 2000円 |

|                  |       |     |      |       |
|------------------|-------|-----|------|-------|
| 52 元祿の奇才 宝井其角    | 田中善信著 | B6判 | 240頁 | 1860円 |
| 55 名づけ得ぬものへ 中原中也 | 岡崎和夫著 | B6判 | 352頁 | 2800円 |

### 女性作家評伝シリーズ（全13巻）

編集委員 尾形明子・小林富久子・長谷川啓

全13巻 分売可

|                           |        |     |      |       |
|---------------------------|--------|-----|------|-------|
| 1 樋口一葉                    | 増田みず子著 | B6判 | 232頁 | 〔品切〕  |
| 2 與謝野晶子                   | 渡邊澄子著  | B6判 | 232頁 | 〔品切〕  |
| 3 野上彌生子                   | 藪禎子著   | B6判 | 272頁 | 2000円 |
| 4 岡本かの子                   | 三枝和子著  | B6判 | 160頁 | 〔品切〕  |
| 5 尾崎翠 —『第七官界彷徨』の世界—       | 水田宗子著  | B6判 | 176頁 | 〔品切〕  |
| 6 宇野千代                    | 尾形明子著  | B6判 | 288頁 | 2100円 |
| 7 宮本百合子                   | 岩淵宏子著  | B6判 |      | 〔未刊〕  |
| 8 平林たい子                   | 中山和子著  | B6判 | 192頁 | 1500円 |
| 9 林芙美子                    | 中沢けい著  | B6判 |      | 〔未刊〕  |
| 10 佐多稲子                   | 長谷川啓著  | B6判 |      | 〔未刊〕  |
| 11 円地文子 —ジェンダーで読む作家の生と作品— | 小林富久子著 | B6判 | 288頁 | 2100円 |
| 12 壺井栄                    | 小林裕子著  | B6判 | 288頁 | 2100円 |
| 13 幸田文                    | 由里幸子著  | B6判 | 208頁 | 1500円 |

### 新典社選書

継続刊行中

|                                  |           |     |      |       |
|----------------------------------|-----------|-----|------|-------|
| 15 ことば遊びの世界                      | 小野恭靖著     | B6判 | 224頁 | 1600円 |
| 22 郷歌 —— 注解と研究                   | 中西進・辰巳正明編 | B6判 | 272頁 | 1800円 |
| 23 晶子の美学 —— 珠玉の百首鑑賞              | 荻野恭茂著     | B6判 | 144頁 | 1260円 |
| 24 万葉集宮廷歌人全注釈 — 虫麻呂・赤人・金村・千年 —   | 濱口博章著     | B6判 | 272頁 | 2000円 |
| 25 女流歌人 中務 — 歌で伝記を辿る —           | 稲賀敬二著     | B6判 | 384頁 | 2800円 |
| 26 荻萱道心と石童丸のゆくえ — 古典世界から現代へ —    | 三野恵著      | B6判 | 144頁 | 1260円 |
| 27 江戸の恋の万華鏡 —— 『好色五人女』           | 竹野静雄著     | B6判 | 256頁 | 1700円 |
| 29 万葉 恋歌の装い                      | 菊池威雄著     | B6判 | 208頁 | 1400円 |
| 30 文明批評の系譜 — 文学者が見た明治・大正・昭和の日本 — | 和田正美著     | B6判 | 208頁 | 1400円 |
| 31 毛髪で縫った曼荼羅 — 漂泊僧 空念の物語 —       | 日沖敦子著     | B6判 | 188頁 | 1500円 |
| 32 あらすじで楽しむ源氏物語                  | 小町谷照彦著    | B6判 | 224頁 | 1600円 |
| 33 「いろはかるた」の世界                   | 吉海直人著     | B6判 | 198頁 | 1600円 |
| 34 土屋文明私論 — 歌・人・生 —              | 宮崎莊平著     | B6判 | 260頁 | 2100円 |
| 35 宇治拾遺物語のたのしみ方                  | 伊東玉美著     | B6判 | 176頁 | 1300円 |
| 36 更級日記への視界                      | 小谷野純一著    | B6判 | 368頁 | 2700円 |
| 37 古典和歌の世界 — 歌題と例歌（証歌）鑑賞 —       | 三村晃功著     | B6判 | 256頁 | 1700円 |

|    |                                     |        |     |      |       |
|----|-------------------------------------|--------|-----|------|-------|
| 38 | 沖繩 備瀬 — あの世につながる聖空間 —               | 中畑充弘著  | B6判 | 192頁 | 1400円 |
| 39 | 島瓦の考古学 — 琉球と瓦の物語 —                  | 石井龍太著  | B6判 | 212頁 | 1800円 |
| 40 | 智恵子抄を読む                             | 大島龍彦著  | B6判 | 176頁 | 1300円 |
| 41 | 百人一首を読み直す — 非伝統的表現に注目して —           | 吉海直人著  | B6判 | 264頁 | 2300円 |
| 42 | 『住吉物語』の世界                           | 吉海直人著  | B6判 | 276頁 | 2400円 |
| 43 | 讃岐典侍日記への視界                          | 小谷野純一著 | B6判 | 368頁 | 2700円 |
| 44 | 『枕草子』をどうぞ — 定子後宮への招待 —              | 藤本宗利著  | B6判 | 176頁 | 1300円 |
| 45 | 窪田空穂と万葉集 — 亡き母挽歌と富士関係歌 —            | 鈴木武晴著  | B6判 | 320頁 | 2400円 |
| 46 | これならわかる漢文の送り仮名 — 入門から応用まで —         | 古田島洋介著 | B6判 | 208頁 | 1500円 |
| 47 | 国学史再考 — のぞきからくり本居宣長 —               | 田中康二著  | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 48 | 「一分」をつらぬいた侍たち — 『武道伝来記』のキャラクター      | 岡本隆雄著  | B6判 | 208頁 | 1500円 |
| 49 | 芭蕉の学力                               | 田中善信著  | B6判 | 160頁 | 1100円 |
| 50 | 大道具で楽しむ日本舞踊                         | 中田節著   | B6判 | 240頁 | 2000円 |
| 51 | 宮古の神々と聖なる森                          | 平井芽阿里著 | B6判 | 272頁 | 2000円 |
| 52 | 式子内親王 —— その生涯と和歌                    | 小田剛著   | B6判 | 176頁 | 1300円 |
| 53 | 古典和歌の文学空間 — 歌題と例歌（証歌）からの鳥瞰 —        | 三村晃功著  | B6判 | 448頁 | 3200円 |
| 54 | 物語のいでき始めのおや —— 『竹取物語』入門             | 原國人著   | B6判 | 160頁 | 1100円 |
| 55 | 家集の中の「紫式部」                          | 廣田收著   | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 56 | 森鷗外 永遠の問いかけ                         | 杉本完治著  | B6判 | 300頁 | 2200円 |
| 57 | 京都のくるわ — 生命を更新する祭りの場 —              | 田口章子編  | B6判 | 192頁 | 1400円 |
| 58 | 方丈記と往生要集                            | 鈴木久著   | B6判 | 128頁 | 1000円 |
| 59 | 古典和歌の時空間 — 「由緒ある歌」をめぐる —            | 三村晃功著  | B6判 | 288頁 | 2100円 |
| 60 | 作品の表現の仕組み — 古典と現代 散策 —              | 大木正義著  | B6判 | 176頁 | 1300円 |
| 61 | 鎌倉六代將軍宗尊親王 — 歌人將軍の栄光と挫折 —           | 菊池威雄著  | B6判 | 224頁 | 1600円 |
| 62 | 『こころ』の真相 漱石は何をたくらんだのか               | 柳澤浩哉著  | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 63 | 続・古典和歌の時空間 — 長流と契沖の「由緒ある歌」の展望 —     | 三村晃功著  | B6判 | 416頁 | 3100円 |
| 64 | 白洲正子 —— 日本文化と身体                     | 野村幸一郎著 | B6判 | 208頁 | 1500円 |
| 65 | 女たちの光源氏                             | 久保朝孝編  | B6判 | 208頁 | 1500円 |
| 66 | 江戸時代落語家列伝                           | 中川桂著   | B6判 | 240頁 | 1700円 |
| 67 | 能のうた — 能楽師が読み解く遊樂の物語 —              | 鈴木啓吾著  | B6判 | 400頁 | 3200円 |
| 68 | 古典和歌の詠み方読本 — 有賀長伯編著『和歌八重垣』の文学空間 —   | 三村晃功著  | B6判 | 352頁 | 2600円 |
| 69 | 役行者のいる風景 — 寺社伝説探訪 —                 | 志村有弘著  | B6判 | 120頁 | 1000円 |
| 70 | 澁川春海と谷重遠 — 双星煌煌 —                   | 志水義夫著  | B6判 | 192頁 | 1400円 |
| 71 | 文豪の漢文旅日記 —— 鷗外の渡欧、漱石の房総             | 森岡ゆかり著 | B6判 | 292頁 | 2300円 |
| 72 | リアルなイーハトーヴ — 宮沢賢治が求めた空間 —           | 人見千佐子著 | B6判 | 320頁 | 2300円 |
| 73 | 義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎                      | 田中徳定著  | B6判 | 272頁 | 2000円 |
| 74 | 日本近代文学はアジアをどう描いたか                   | 野村幸一郎著 | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 75 | 神に仕える皇女たち — 斎王への誘い —                | 原槇子著   | B6判 | 224頁 | 1600円 |
| 76 | 三島由紀夫『豊饒の海』VS 野間宏『青年の環』—— 戦後文学と全体小説 | 井上隆史著  | B6判 | 192頁 | 1400円 |

|    |                                   |            |     |      |       |
|----|-----------------------------------|------------|-----|------|-------|
| 77 | 明治、このフシギな時代                       | 矢内賢二編      | B6判 | 208頁 | 1500円 |
| 78 | 三島由紀夫の源流                          | 岡山典弘著      | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 79 | ゴジラ傳 — 怪獣ゴジラの文藝學 —                | 志水義夫著      | B6判 | 240頁 | 1700円 |
| 80 | 説話の中の僧たち                          | 京都仏教説話研究会編 | B6判 | 328頁 | 2400円 |
| 81 | 古典の叡智 — 老いを愉しむ                    | 小野恭靖著      | B6判 | 240頁 | 1700円 |
| 82 | 『源氏物語』の特殊表現                       | 吉海直人著      | B6判 | 304頁 | 2200円 |
| 83 | これならわかる復文の要領 — 漢文学習の裏技 —          | 古田島洋介著     | B6判 | 328頁 | 2400円 |
| 84 | 明治、このフシギな時代 2                     | 矢内賢二編      | B6判 | 128頁 | 1000円 |
| 85 | 源氏物語とシェイクスピア — 文学の批評と研究と —        | 廣田収・勝山貴之著  | B6判 | 232頁 | 1700円 |
| 86 | 下級貴族たちの王朝時代 『新猿蓑記』に見るさまざまな生き方     | 繁田信一著      | B6判 | 200頁 | 1500円 |
| 87 | 新版 宮崎駿の地平 ナウシカからもののけ姫へ            | 野村幸一郎著     | B6判 | 208頁 | 1500円 |
| 88 | 宮崎駿が描いた少女たち                       | 野村幸一郎編     | B6判 | 240頁 | 1700円 |
| 89 | 向田邦子文学論                           | 向田邦子研究会編   | B6判 | 480頁 | 3500円 |
| 90 | 歌舞伎を知れば日本がわかる                     | 田口章子著      | B6判 | 224頁 | 1600円 |
| 91 | 明治、このフシギな時代 3                     | 矢内賢二編      | B6判 | 192頁 | 1400円 |
| 92 | ゆく河の水に流れて — 人と水が織りなす物語 —          | 山岡敬和著      | B6判 | 296頁 | 2100円 |
| 93 | 『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋 — 朝顔の姫君と夕顔の女君 — | 小澤洋子著      | B6判 | 240頁 | 1700円 |
| 94 | 文体再見                              | 半沢幹一著      | B6判 | 272頁 | 2000円 |
| 95 | 続・能のうた — 能楽師が読み解く遊楽の物語 —          | 鈴木啓吾著      | B6判 | 336頁 | 2700円 |
| 96 | 入門 平安文学の読み方                       | 保科恵著       | B6判 | 208頁 | 1500円 |

## 新典社新書

### 継続刊行中

|    |                             |        |     |      |       |
|----|-----------------------------|--------|-----|------|-------|
| 1  | 光源氏と夕顔 — 身分違いの恋 —           | 清水婦久子著 | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 2  | 戦国時代の諏訪信仰 — 失われた感性・習俗 —     | 笹本正治著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 3  | 〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉            | 井上泰至著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 4  | のたれ死にでもよいではないか              | 志村有弘著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 5  | 源氏物語 — 語りのからくり              | 鷲山茂雄著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 6  | 天皇と女性霊力                     | 諏訪春雄著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 7  | バタヴィアの貴婦人                   | 白石広子著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 8  | 死してなお求める恋心 — 「菟原娘子伝説」をめぐる — | 廣川晶輝著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 9  | 酒とシャーマン — 『おもろさうし』を読む       | 吉成直樹著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 10 | 喜界島・鬼の海域 — キカイガシマ考 —        | 福寛美著   | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 11 | 萬葉の散歩みち — 上巻 —              | 廣岡義隆著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 12 | 萬葉の散歩みち — 下巻 —              | 廣岡義隆著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 13 | 偽装の商法 — 西鶴と現代社会             | 堀切実著   | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 14 | 待つ女の悲劇                      | 大輪靖宏著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 15 | 源氏物語の季節と物語 — その類型的表現        | 渋谷栄一著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |

|    |                                |        |     |      |       |
|----|--------------------------------|--------|-----|------|-------|
| 16 | 平家物語の死生学 ― 上巻 ―                | 佐伯雅子著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 17 | 平家物語の死生学 ― 下巻 ―                | 佐伯雅子著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 18 | 芭蕉 ― 俳聖の実像を探る                  | 田中善信著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 19 | 光源氏とティータイム                     | 岩坪健著   | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 20 | ことば遊びへの招待                      | 小野恭靖著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 21 | 武器で読む八犬伝                       | 吉丸雄哉著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 22 | 神の香り秘法の書 ― 中国の摩崖石経・上 ―         | 北島信一著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 23 | 都市空間の文学 ― 藤原明衡と菅原孝標女 ―         | 深沢徹著   | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 24 | 百人一首かるたの世界                     | 吉海直人著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 25 | これならわかる返り点 ― 入門から応用まで ―        | 古田島洋介著 | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 26 | 東アジアの文芸共和国 ― 通信使・北学派・兼葭堂 ―     | 高橋博巳著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 27 | 歌垣 ― 恋歌の奇祭をたずねて                | 辰巳正明著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 28 | 紫式部日記の世界へ                      | 小谷野純一著 | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 29 | 芝居にみる江戸のくらし                    | 吉田弥生著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 30 | 我を絵に看る ― 芭蕉の甲斐行 ―              | 楠元六男著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 31 | 源氏物語 二つのゆかり ― 継承の主題と変化 ―       | 熊谷義隆著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 32 | 御家騒動の物語 ― 中世から近世へ ―            | 石黒吉次郎著 | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 33 | 礼法を伝えた男たち                      | 綿拔豊昭著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 34 | 文豪だって漢詩をよんだ                    | 森岡ゆかり著 | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 35 | 清少納言“受難”の近代 ― 「新しい女」の季節に遭遇して ― | 宮崎莊平著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 36 | 男はつらいよ 推敲の謎                    | 杉下元明著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 37 | 古事記の仕組み ― 王権神話の文芸 ―            | 志水義夫著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 38 | 千と千尋の神話学                       | 西條勉著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 39 | 『宇治拾遺物語』の中の昔話                  | 廣田收著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 40 | 跳んだ『源氏物語』 ― 死と哀悼の表現 ―          | 天野紀代子著 | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 41 | 和歌を力に生きる ― 道綱母と蜻蛉日記 ―          | 堤和博著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 42 | 「危機の時代」の沖縄 ― 現代を写す鑑、十七世紀の琉球 ―  | 伊藤陽寿著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 43 | 神の香り秘法の書 ― 中国の摩崖石経・下 ―         | 北島信一著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 44 | 智恵子抄の光景                        | 大島裕子著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 45 | 昔男の青春 ― 『伊勢物語』初段～16段の読み方 ―     | 妹尾好信著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 46 | 涙の美学 ― 日本の古典と文化への架橋 ―          | 榎本正純著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 47 | 琉球の恋歌 ― 「恩納なべ」と「よしや思鶴」 ―       | 福寛美著   | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 48 | 初代都太夫一中の浄瑠璃 ― 音曲に生きた元住職 ―      | 小俣喜久雄著 | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 49 | 万葉集を訓んだ人々 ― 「万葉文化学」のころみ ―      | 城崎陽子著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 50 | 源氏物語 姫君のふるまい                   | 太田敦子著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 51 | アニメに息づく日本古典 ― 古典は生きている ―       | 山田利博著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 52 | 紫式部・定家を動かした物語 ― 謙徳公の書いた豊蔭物語 ―  | 堤和博著   | 新書判 | 160頁 | 〔品切〕  |
| 53 | ことばと文字の遊園地                     | 小野恭靖著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 54 | 女神たちの中世物語                      | 濱中修著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |

|    |                                 |        |     |      |       |
|----|---------------------------------|--------|-----|------|-------|
| 55 | 向田邦子の比喩トランプ                     | 半沢幹一著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 56 | 夜の海、永劫の海                        | 福寛美著   | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 57 | ウラ日本文学 ― 古典文学の舞台裏 ―             | 岩坪健著   | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 58 | コロボックルとはだれか ― 中世の千島列島とアイヌ伝説     | 瀬川拓郎著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 59 | 万葉集からみる「世界」                     | 井上さやか著 | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 60 | つける 連歌作法閑談                      | 鈴木元著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 61 | アイヌの沈黙交易 ― 奇習をめぐる北東アジアと日本 ―     | 瀬川拓郎著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 62 | 少年少女のクロニクル ― セラムン、テツジン、ウルトラマン ― | 志水義夫著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 63 | 萬葉の散歩みち ― 続 ―                   | 廣岡義隆著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 64 | 文豪たちの「？」な言葉                     | 馬上駿兵著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 65 | ぐすく造営のおもろ ― 立ち上がる琉球世界 ―         | 福寛美著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 66 | 向田邦子の思い込みトランプ                   | 半沢幹一著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 67 | 知ったか源氏物語                        | 山田利博著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 68 | 宮廷の御神楽 ― 王朝びとの芸能 ―              | 中本真人著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 69 | 京ア二を読む                          | 野村幸一郎著 | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 70 | 〔文法〕であじわう名文                     | 馬上駿兵著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 71 | 魔法少女まどか☆マギカ講義録 ― メディア文藝への招待 ―   | 志水義夫著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 72 | 『源氏物語』女三の宮の〈内面〉                 | 西原志保著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 73 | 超口語訳 徒然草                        | 濱田浩一郎著 | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 74 | 重箱の隅から読む名場面                     | 馬上駿兵著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 75 | 戦国武将と能楽 ― 信長・秀吉・家康 ―            | 原田香織著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 76 | 物語の中の京都                         | 濱中修著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 77 | 滑稽艶笑譚 ― 江戸小咄を愉しむ                | 宮尾與男著  | 新書判 | 160頁 | 1000円 |
| 78 | 「令和」から読む万葉集                     | 辰巳正明著  | 新書判 | 128頁 | 800円  |
| 79 | 平家物語とその周辺 ― 女性たちの物語 ―           | 濱中修著   | 新書判 | 160頁 | 1000円 |

## 一般単行本

## 継続刊行中

|                    |                |     |      |       |
|--------------------|----------------|-----|------|-------|
| 人と書と 歴史人の直筆        | 田代圭一著          | A5判 | 256頁 | 2300円 |
| 人と書とⅡ 歴史人の直筆       | 田代圭一著          | A5判 | 216頁 | 1950円 |
| 良寛 ― 文人の書 ―        | 萬羽啓吾著          | A5判 | 256頁 | 3800円 |
| 奈良・京都 文学散歩         | 二松學舎大学文学部国文学科編 | A5判 | 144頁 | 1200円 |
| 神奈川 文学散歩           | 二松學舎大学文学部国文学科編 | A5判 | 144頁 | 1200円 |
| 東京 文学散歩            | 二松學舎大学文学部国文学科編 | A5判 | 144頁 | 1200円 |
| 古典と歩く古都鎌倉          | 佐藤智広著          | A5判 | 240頁 | 2200円 |
| 大人のまち歩き            | 秋山秀一著          | A5判 | 232頁 | 1600円 |
| 鎌ヶ谷 まち歩きの楽しみ       | 秋山秀一著          | A5判 | 160頁 | 1500円 |
| ヨーロッパ観光事情 まち歩きの楽しみ | 秋山秀一著          | A5判 | 160頁 | 1500円 |

|                                         |                                     |     |      |       |
|-----------------------------------------|-------------------------------------|-----|------|-------|
| 萬葉集名花百種鑑賞                               | 川上富吉編                               | A5判 | 224頁 | 3400円 |
| 大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人                     | 辰巳正明著                               | A5判 | 256頁 | 2400円 |
| もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第1集                  | 伊藤欽也編                               | A5判 | 272頁 | 2400円 |
| もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第2集                  | 伊藤欽也編                               | A5判 | 384頁 | 3000円 |
| もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第3集                  | 伊藤欽也編                               | A5判 | 336頁 | 2700円 |
| 木曾義仲に出会う旅                               | 伊藤悦子著                               | A5判 | 164頁 | 1800円 |
| 式子内親王全歌新釈                               | 小田剛著                                | A5判 | 384頁 | 3700円 |
| 今日は一日、方丈記                               | 磯水絵編                                | A5判 | 224頁 | 2000円 |
| 江戸のころ — 浮世と人と文学と —                      | 谷協理史著                               | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 元禄名家句集略注 伊藤信徳篇                          | 田中善信著                               | A5判 | 224頁 | 2000円 |
| 元禄名家句集略注 池西言水篇                          | 田中善信著                               | A5判 | 404頁 | 3600円 |
| 元禄名家句集略注 山口素堂篇                          | 田中善信著                               | A5判 | 200頁 | 1800円 |
| 元禄名家句集略注 小西来山篇                          | 佐藤勝明著                               | A5判 | 296頁 | 2700円 |
| 謎解き森嶋外                                  | 原國人著                                | B6判 | 296頁 | 2300円 |
| 謎解き富嶽百景                                 | 原國人著                                | B6判 | 184頁 | 1400円 |
| 物書き<br>ブライ漢 杉田瑞子 秋田出身の芥川賞候補作家           | 石塚政吾著                               | A5判 | 304頁 | 2850円 |
| 『智恵子抄』の世界                               | 大島龍彦・大島裕子編著                         | B6判 | 256頁 | 1900円 |
| 智恵子抄を歩く — 素顔の智恵子 —                      | 大島裕子著                               | B6判 | 240頁 | 1800円 |
| 土岐善麿と図書館                                | 大伏春美・大伏節子編著                         | B6判 | 240頁 | 1700円 |
| 雀様が語る日本                                 | 崔吉城著                                | B6判 | 280頁 | 2100円 |
| 文学部のリアル、東アジアの人文学                        | 江藤茂博編                               | A5判 | 216頁 | 1950円 |
| 東アジアの知 — 文化研究の軌跡と展望 —                   | 中西進編                                | A5判 | 400頁 | 5800円 |
| 表象のトランス・ジェンダー —— 越境する性                  | 安達太郎・野村幸一郎・林久美子編著                   | B6判 | 224頁 | 1600円 |
| 教育改革のゆくえ — 続・家庭は子どもの教育の原点 —             | 中田雅敏著                               | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 忘れられた作家・忘れられない作品                        | 中田雅敏著                               | B6判 | 336頁 | 2400円 |
| 親と子の人間関係 — 幼児より青少年まで —                  | 中田雅敏著                               | 新書判 | 176頁 | 1000円 |
| 幻想と現実 — 日本古典文学の愉しみ —                    | 板垣俊一著                               | B6判 | 240頁 | 1800円 |
| 理性と平和 ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ政治理論作品選集       | ハルトムート・ゲールケン/デートレフ・ティール/中村博雄共編      | A5判 | 256頁 | 2400円 |
| 技術と空想 ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ グロテスケ作品選集     | ハルトムート・ゲールケン/デートレフ・ティール/山本順子/中村博雄共編 | A5判 | 240頁 | 2300円 |
| 哲学とユーモア ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ笑いの理論と実践作品選集 | デートレフ・ティール/中村博雄共編                   | A5判 | 264頁 | 2500円 |
| 青桐 — もの一詞いはん —                          | 深澤邦弘編著                              | 新書判 | 124頁 | 1000円 |
| 丘上町二丁目のカラス                              | 大島龍彦著                               | B6判 | 256頁 | 1800円 |
| 歌集 歩み来し方                                | 宮崎莊平著                               | 新書判 | 112頁 | 1000円 |
| はじめて学ぶ仏教 インド・中国編                        | 有働智英著                               | A5判 | 256頁 | 1800円 |
| 新 うたの神話学                                | 福寛美著                                | 新書判 | 128頁 | 1100円 |

## 書名索引

### ー あ ー

アイヌの沈黙交易【新書】……………50, 72  
 葵【青表紙本源氏物語】……………63  
 青桐 - もの一詞いはん - ……………53, 73  
 明石【青表紙本源氏物語】……………63  
 晶子の美学 - 珠玉の首首鑑賞【選書】……………45, 68  
 総角【青表紙本源氏物語】……………64  
 槿【青表紙本源氏物語】……………63  
 槿・乙女【影印校注古典叢書】……………29, 65  
 東屋【青表紙本源氏物語】……………64  
 アニメに息づく日本古典【新書】……………35, 71  
 天草版伊曾保物語・言葉の和らげ【注釈叢書】……………22, 63  
 天草版平家物語 影印編【研究叢書】……………22, 59  
 歌集 歩み来し方……………53, 73  
 あらすじで楽しむ源氏物語【選書】……………37, 68

### ー い ー

十六夜日記【影印校注古典叢書】……………31, 65  
 和泉式部日記【影印校注古典叢書】……………29, 65  
 和泉式部の方法試論【研究叢書】……………3, 14, 62  
 影印本 和泉式部物語……………29, 64  
 影印本 伊勢物語……………27, 64  
 伊勢物語【影印校注古典叢書】……………27, 65  
 伊勢物語考【研究叢書】……………14, 60  
 「一分」をつらぬいた侍たち【選書】……………42, 69  
 「いろはかるた」の世界【選書】……………42, 68  
 石清水物語の研究【研究叢書】……………20, 60

### ー う ー

浮舟【青表紙本源氏物語】……………64  
 宇治拾遺物語のたのしみ方【選書】……………39, 68  
 『宇治拾遺物語』の中の昔話【新書】……………39, 71  
 ウヰノワキイラツコ物語の研究【研究叢書】……………10, 60  
 薄雲【青表紙本源氏物語】……………63

右大将道綱母【日本の作家】……………35, 67  
 歌垣 - 恋歌の奇祭をたずねて【新書】……………34, 71  
 内田百閒論【研究叢書】……………24, 59  
 空蟬【青表紙本源氏物語】……………63  
 うつほ物語と平安貴族生活【研究叢書】……………15, 61  
 うつほ物語の長編力【研究叢書】……………15, 62  
 宇野千代【女性作家評伝】……………47, 68  
 梅ヶ枝【青表紙本源氏物語】……………64  
 ウラ日本文学【新書】……………35, 72

### ー え ー

絵合【青表紙本源氏物語】……………63  
 絵合・松風・薄雲【影印校注古典叢書】……………29, 65  
 詠歌としての和歌【研究叢書】……………19, 59  
 絵とあらすじで読む源氏物語……………27, 66  
 江戸期の広域出版流通【研究叢書】……………23, 62  
 江戸後期刊行文学全集 - 第二巻 - 【研究叢書】……………22, 60  
 江戸後期刊行文学全集 - 第三巻 - 【研究叢書】……………23, 61  
 江戸時代落語家列伝【選書】……………44, 69  
 江戸の恋の万華鏡 - 『好色五人女』【選書】……………42, 68  
 江戸のころろ - 浮世と人と文学と - ……………42, 73  
 円地文子【女性作家評伝】……………47, 68  
 「縁」について【日本の文学】……………49, 67  
 役行者のいる風景【選書】……………35, 69

### ー お ー

御家騒動の物語【新書】……………41, 71  
 王朝女流文学論攷【研究叢書】……………13, 59  
 王朝文学論【研究叢書】……………13, 59  
 王朝継子物語と力【研究叢書】……………14, 59  
 王朝物語の表現生成【研究叢書】……………2, 13, 62  
 王朝歴史物語史の構想と展望【研究叢書】……………18, 61  
 大鏡（上中下巻）【影印校注古典叢書】……………30, 65  
 大鏡の注釈 ところどころ【研究叢書】……………18, 60  
 大斎院御集全注釈【和歌文学注釈叢書】……………14, 63

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 大道具で楽しむ日本舞踊【選書】    | 51, 69    |
| 大伴旅人「令和」を開いた万葉集の歌人 | 6, 35, 73 |
| 丘上町二丁目のカラス         | 53, 73    |
| 沖縄 備瀬【選書】          | 51, 69    |
| 小倉山庄色紙和歌【影印校注古典叢書】 | 31, 65    |
| お伽草子一【影印校注古典叢書】    | 32, 65    |
| 男はつらいよ 推敲の謎【新書】    | 48, 71    |
| 大人のまち歩き            | 49, 72    |
| 乙女【青表紙本源氏物語】       | 63        |
| 親と子の人間関係           | 8, 52, 73 |
| 女たちの光源氏【選書】        | 37, 69    |

# — か —

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| 懐風藻 古代日本漢詩を読む         | 27, 66 |
| 篝火【青表紙本源氏物語】          | 64     |
| 篝火・野分・行幸・藤袴【影印校注古典叢書】 | 29, 65 |
| 下級貴族たちの王朝時代【選書】       | 38, 70 |
| 蜻蛉【青表紙本源氏物語】          | 64     |
| 家集の中の「紫式部」【選書】        | 36, 69 |
| 柏木【青表紙本源氏物語】          | 64     |
| 柏木【影印校注古典叢書】          | 29, 65 |
| 校注 風に紅葉               | 31, 66 |
| 画引き かな解読字典【影印本】       | 25, 64 |
| 神奈川 文学散歩              | 48, 72 |
| 仮名変体集【影印本】            | 25, 64 |
| 歌舞伎を知れば日本がわかる【選書】     | 43, 70 |
| 鎌ケ谷 まち歩きの楽しみ          | 49, 72 |
| 鎌倉時代中後期和歌の研究【研究叢書】    | 19, 59 |
| 鎌倉六代将軍宗尊親王【選書】        | 40, 69 |
| 神に仕える皇女たち【選書】         | 36, 69 |
| 神の香り秘法の書 - 上・下 - 【新書】 | 50, 71 |
| 苅萱道心と石童丸のゆくえ【選書】      | 42, 68 |
| 菅家後集 叙意一百韻全注釈【注釈叢書】   | 18, 63 |
| 菅茶山とその時代【研究叢書】        | 22, 61 |
| 漢文文型 訓読の語法            | 26, 66 |

# — き —

|              |        |
|--------------|--------|
| 喜界島・鬼の海域【新書】 | 39, 70 |
|--------------|--------|

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 「危機の時代」の沖縄【新書】              | 50, 71    |
| 記紀風土記論考【研究叢書】               | 10, 61    |
| 技術と空想                       | 52, 73    |
| 偽装の商法 - 西鶴と現代社会【新書】         | 42, 70    |
| 木曾義仲に出会う旅                   | 39, 73    |
| 金時習『金鰲新話』と日本【研究叢書】          | 5, 22, 62 |
| 宮廷の御神楽 - 王朝びとの芸能 - 【新書】     | 38, 72    |
| 宮廷御神楽芸能史【研究叢書】              | 19, 60    |
| 京アニを読む【新書】                  | 53, 72    |
| 教育改革のゆくえ                    | 52, 73    |
| 京都のくろわ - 生命を更新する祭りの場 - 【選書】 | 51, 69    |
| 今日は一日、方丈記                   | 40, 73    |
| 桐壺【青表紙本源氏物語】                | 63        |
| 桐壺【影印校注古典叢書】                | 28, 65    |
| 近世初期軍記の研究【研究叢書】             | 22, 59    |
| 近世における『論語』の訓読に関する研究【研究叢書】   | 22, 61    |
| 禁裏本と和歌御会【研究叢書】              | 19, 60    |

# — く —

|                   |        |
|-------------------|--------|
| ぐすく造営のおもろ【新書】     | 50, 72 |
| 画引き くずし字解読字典【影印本】 | 25, 64 |
| 古筆切で読む くずし字練習帳    | 25, 64 |
| 窪田空穂と万葉集【選書】      | 46, 69 |
| 愚問賢注古注釈集成【研究叢書】   | 19, 61 |

# — け —

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| 兼好法師【日本の作家】           | 40, 67     |
| 青表紙本 源氏物語 (全五十四帖別冊二)  | 27, 63, 64 |
| 源氏物語 引用とゆらぎ【研究叢書】     | 15, 62     |
| 『源氏物語』女三の宮の〈内面〉【新書】   | 37, 72     |
| 源氏物語解題【青表紙本源氏物語】      | 64         |
| ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「蜻蛉」 | 28, 64     |
| 源氏物語 - 語りのからくり【新書】    | 37, 70     |
| 源氏物語 仮名ぶみの熟成【研究叢書】    | 16, 59     |
| 新注 源氏物語抄【活字本テキスト】     | 28, 67     |
| 国立歴史民俗博物館蔵『源氏物語』「鈴虫」  | 28, 64     |
| ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「須磨」 | 28, 64     |
| 変体仮名で読む 源氏物語全和歌       | 28, 64     |

|                       |             |                         |                 |
|-----------------------|-------------|-------------------------|-----------------|
| 源氏物語 草子地の考察【研究叢書】     | ……16, 61    | 紅梅【青表紙本源氏物語】            | ……64            |
| 源氏物語 草子地の考察2【研究叢書】    | …16, 61     | 校本石清水物語【研究叢書】           | ……4, 20, 62     |
| 源氏物語続編の人間関係【研究叢書】     | …17, 60     | 幸若歌謡の研究【研究叢書】           | ……21, 60        |
| 源氏物語注釈史の資料と研究【研究叢書】   | …17, 59     | 古今集一【影印校注古典叢書】          | ……27, 65        |
| 源氏物語と漢世界【研究叢書】        | ……17, 61    | 『古今和歌集』巻二十・注釈と論考・【注釈叢書】 | …14, 63         |
| 源氏物語 読解と享受資料考【研究叢書】   | …15, 62     | 国学史再考【選書】               | ……44, 69        |
| 源氏物語とシェイクスピア【選書】      | ……49, 70    | 国語学史の探求【研究叢書】           | ……9, 60         |
| 源氏物語と周辺文芸の研究【研究叢書】    | …2, 15, 62  | 『こころ』の真相【選書】            | ……45, 69        |
| 源氏物語と白氏文集【研究叢書】       | ……17, 59    | 『古事記』大后伝承の研究【研究叢書】      | ……10, 60        |
| 源氏物語と東アジア【研究叢書】       | ……17, 59    | 古事記歌謡注釈                 | ……26, 66        |
| 源氏物語における「漢学」【研究叢書】    | …17, 59     | 古事記構造論【研究叢書】            | ……10, 61        |
| 源氏物語の王権【研究叢書】         | ……15, 59    | 古事記續考と資料【研究叢書】          | ……10, 61        |
| 源氏物語の音楽と時間【研究叢書】      | ……16, 60    | 古事記と歴史叙述【研究叢書】          | ……10, 59        |
| 源氏物語の季節と物語【新書】        | ……37, 70    | 古事記の仕組み【新書】             | ……35, 71        |
| 源氏物語の思想史的研究【研究叢書】     | …15, 61     | 古事記の文章とその享受【研究叢書】       | ……10, 59        |
| 源氏物語の史的意識と方法【研究叢書】    | …16, 61     | ゴジラ傳 - 怪獣ゴジラの文藝学 - 【選書】 | …52, 70         |
| 源氏物語の創作過程の研究【研究叢書】    | …16, 60     | 古代神話の研究【研究叢書】           | ……9, 59         |
| 『源氏物語』の罪意識の受容【研究叢書】   | …15, 61     | 古代中世文学論考                | ……2, 11, 12, 62 |
| 『源氏物語』の特殊表現【選書】       | ……36, 70    | 古代文学の創造と継承【研究叢書】        | ……9, 59         |
| 源氏物語のなごり【研究叢書】        | ……17, 60    | 古代和歌表現の機構と展開【研究叢書】      | …10, 61         |
| 『源氏物語』の光と影【研究叢書】      | ……3, 15, 62 | 胡蝶【青表紙本源氏物語】            | ……64            |
| 源氏物語 姫君の世界【研究叢書】      | ……16, 60    | 滑稽艶笑譚 - 江戸小咄を愉しむ【新書】    | …43, 72         |
| 源氏物語 姫君のふるまい【新書】      | ……38, 71    | 古典の叢智 - 老いを愉しむ【選書】      | ……49, 70        |
| 源氏物語 二つのゆかり【新書】       | ……37, 71    | 古典と歩く古都鎌倉               | ……49, 72        |
| 源氏物語文化論【研究叢書】         | ……16, 60    | 古典文学概論【活字本テキスト】         | ……25, 66        |
| 源氏物語〈読み〉の交響Ⅱ【研究叢書】    | …16, 60     | 古典和歌の時空間【選書】            | ……40, 69        |
| 源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ【研究叢書】    | …3, 16, 62  | 古典和歌の世界【選書】             | ……40, 68        |
| 『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋【選書】 | …6, 37, 70  | 古典和歌の文学空間【選書】           | ……40, 69        |
| 幻想と現実 - 日本古典文学の愉しみ -  | ……53, 73    | 古典和歌の詠み方読本【選書】          | ……41, 69        |
| 影印本 元禄版猿蓑             | ……32, 65    | ことば遊びの世界【選書】            | ……41, 68        |
| 元禄名家句集略注 池西言水篇        | ……43, 73    | ことば遊びへの招待【新書】           | ……42, 71        |
| 元禄名家句集略注 伊藤信徳篇        | ……43, 73    | ことばと文字の遊園地【新書】          | ……42, 71        |
| 元禄名家句集略注 小西来山篇        | ……43, 73    | これならわかる返り点【新書】          | ……51, 71        |
| 元禄名家句集略注 山口素堂篇        | ……43, 73    | これならわかる漢文の送り仮名【選書】      | …52, 69         |
|                       |             | これならわかる復文の要領【選書】        | ……52, 70        |
|                       |             | コロボックルとはだれか【新書】         | ……50, 72        |

— 2 —

|                      |            |
|----------------------|------------|
| 語彙・語法から見た四鏡の文章【研究叢書】 | …4, 20, 62 |
| 幸田文【女性作家評伝】          | ……47, 68   |

— さ —

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 斎王物語の形成【研究叢書】     | 13, 60 |
| 西鶴の世界Ⅰ・Ⅱ【活字本テキスト】 | 32, 67 |
| 賢木【青表紙本源氏物語】      | 63     |
| 新版 作品で読む20世紀の日本文学 | 33, 67 |
| 新版 作品で読む宮沢賢治      | 33, 67 |
| 新版 作品で読む明治文学      | 33, 67 |
| 作品の表現の仕組み【選書】     | 49, 69 |
| 酒とシャーマン【新書】       | 44, 70 |
| 校注 狭衣物語 巻一・巻二     | 30, 66 |
| 狭衣物語 受容の研究【研究叢書】  | 18, 60 |
| 校注 讃岐典侍日記         | 30, 66 |
| 讃岐典侍日記への視界【選書】    | 38, 69 |
| 影印本 更級日記          | 30, 65 |
| 校注 更級日記           | 30, 66 |
| 更級日記の遠近法【研究叢書】    | 17, 60 |
| 更級日記への視界【選書】      | 38, 68 |
| 早蕨【青表紙本源氏物語】      | 64     |

— し —

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 椎本【青表紙本源氏物語】        | 64     |
| 詞花和歌集【大妻文庫】         | 30, 66 |
| 史館茗話【活字本テキスト】       | 32, 67 |
| 式亭三馬とその周辺【研究叢書】     | 23, 59 |
| 影印本 鳴の羽搔            | 32, 65 |
| 死してなお求める恋心【新書】      | 34, 70 |
| 知ったか源氏物語【新書】        | 38, 72 |
| 実用変体がな【影印本】         | 25, 64 |
| 芝居にみる江戸の暮らし【新書】     | 42, 71 |
| 澁川春海と谷重遠【選書】        | 43, 69 |
| 島瓦の考古学【選書】          | 50, 69 |
| 袖中抄の研究【研究叢書】        | 18, 61 |
| 重箱の隅から読む名場面【新書】     | 45, 72 |
| 春画論 - 性表象の文化学【研究叢書】 | 23, 61 |
| 俊寛【活字本テキスト】         | 32, 67 |
| 正徹【日本の作家】           | 40, 67 |
| 少年少女のクロニクル【新書】      | 52, 72 |

|                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 式子内親王全歌新釈               | 40, 73    |
| 式子内親王 - その生涯と和歌【選書】     | 39, 69    |
| 初代都太夫一中の浄瑠璃【新書】         | 44, 71    |
| 女流歌人 中務【選書】             | 35, 68    |
| 女流日記文学論輯【研究叢書】          | 14, 61    |
| 女流の文学 - 古典編 - 【活字本テキスト】 | 26, 66    |
| 白洲正子 - 日本文化と身体【選書】      | 48, 69    |
| 新 うたの神話学                | 8, 53, 73 |
| 新講古典文法【活字本テキスト】         | 25, 66    |
| 影印本 心中重井筒・今宮の心中         | 33, 65    |
| 信州松本藩崇教館と多湖文庫【研究叢書】     | 22, 60    |
| 新撰類聚往来 影印と研究【研究叢書】      | 21, 62    |
| 新撰朗詠集全注釈 全四巻【注釈叢書】      | 18, 63    |
| 神仏習合の手法【研究叢書】           | 5, 21, 62 |

— す —

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 末摘花【青表紙本源氏物語】   | 63     |
| 物書きブライ漢 杉田瑞子    | 48, 73 |
| 鈴虫【青表紙本源氏物語】    | 64     |
| 雀様が語る日本         | 51, 73 |
| 須磨【青表紙本源氏物語】    | 63     |
| 須磨・明石【影印校注古典叢書】 | 28, 65 |
| 『住吉物語』の世界【選書】   | 36, 69 |

— せ —

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 清少納言【日本の作家】     | 36, 67 |
| 清少納言“受難”の近代【新書】 | 36, 71 |
| 関屋【青表紙本源氏物語】    | 63     |
| 世俗諺文全注釈【注釈叢書】   | 17, 63 |
| 説話の中の僧たち【選書】    | 39, 70 |
| 説話文学の方法【研究叢書】   | 21, 60 |
| 戦国時代の諏訪信仰【新書】   | 50, 70 |
| 戦国武将と能楽【新書】     | 41, 72 |
| 全釈続みなしぐり【注釈叢書】  | 22, 63 |
| 千と千尋の神話学【新書】    | 35, 71 |

— そ —

|                  |        |
|------------------|--------|
| 曽我物語 上・中・下【大妻文庫】 | 32, 66 |
|------------------|--------|

|                |           |
|----------------|-----------|
| 続・王朝文学論【研究叢書】  | 13, 62    |
| 続・古典和歌の時空間【選書】 | 41, 69    |
| 続・能のうた【選書】     | 7, 41, 70 |
| 影印本 曽根崎巾中      | 33, 65    |

— た —

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 『太平記』生成と表現世界【研究叢書】   | 20, 61 |
| 増補 太平記と古活字版の時代【研究叢書】 | 20, 61 |
| 太平記における白氏文集受容【研究叢書】  | 20, 61 |
| 宝井其角【日本の作家】          | 43, 68 |
| 竹河【青表紙本源氏物語】         | 64     |
| 竹取物語【影印本】            | 27, 64 |
| 立原道造新論【研究叢書】         | 23, 60 |
| 玉鬘【青表紙本源氏物語】         | 63     |
| 玉鬘・初音【影印校注古典叢書】      | 29, 65 |
| 田山花袋【日本の作家】          | 45, 67 |

— ち —

|                           |        |
|---------------------------|--------|
| 智恵子抄の光景【新書】               | 46, 71 |
| 『智恵子抄』の世界                 | 46, 73 |
| 智恵子抄を歩く - 素顔の智恵子 -        | 46, 73 |
| 智恵子抄を読む【選書】               | 46, 69 |
| 中級からの日本語 - 読解中心 -         | 33, 67 |
| 中近世中院家における百人一首注釈の研究【研究叢書】 | 21, 61 |
| 注釈『晩年』抄【活字本テキスト】          | 33, 67 |
| 中世古典籍之研究【研究叢書】            | 19, 61 |
| 中世の芸能・文学試論【研究叢書】          | 20, 60 |
| 編年 中世の文学【活字本テキスト】         | 30, 67 |
| 中世文学の思想と風土【研究叢書】          | 21, 62 |
| 超口語訳 徒然草【新書】              | 40, 72 |

— つ —

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| つける 連歌作法閑談【新書】        | 41, 72 |
| 土屋文明私論 - 歌・人・生 - 【選書】 | 46, 68 |
| 校注 堤中納言物語             | 30, 66 |
| 堤中納言物語（上下）【影印校注古典叢書】  | 30, 65 |
| 壺井栄【女性作家評伝】           | 46, 68 |
| 徒然草【大妻文庫】             | 31, 66 |

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 徒然草 人物考証の新研究【研究叢書】 | 5, 20, 62 |
|--------------------|-----------|

— て —

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 影印本 定家歌論集          | 31, 65 |
| 庭訓往来 影印と研究【研究叢書】   | 21, 60 |
| テキストとイメージの交響【研究叢書】 | 21, 60 |
| 哲学とユーモア            | 52, 73 |
| 手習【青表紙本源氏物語】       | 64     |
| 天皇と女性霊力【新書】        | 50, 70 |

— と —

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 東海の「道」から見た上代文学    | 9, 67  |
| 東京 文学散歩           | 48, 72 |
| 土岐善麿と図書館          | 46, 73 |
| 常夏【青表紙本源氏物語】      | 64     |
| 影印本 土左日記（新訂版）     | 27, 64 |
| 都市空間の文学【新書】       | 38, 71 |
| 校注 とはずがたり         | 31, 66 |
| 『とりかへばや』の研究【研究叢書】 | 18, 62 |
| 跳んだ『源氏物語』【新書】     | 38, 71 |

— な —

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| 中院通勝真筆本『つれつれ私抄』【研究叢書】 | 20, 59 |
| 中原中也【日本の作家】           | 46, 68 |
| 謎解き 富嶽百景              | 47, 73 |
| 謎解き 森嶋外               | 45, 73 |
| 涙の美学【新書】              | 49, 71 |
| 奈良絵本 絵巻抄【研究叢書】        | 21, 61 |
| 奈良絵本 保元物語 平治物語【研究叢書】  | 21, 61 |
| 奈良・京都 文学散歩            | 48, 72 |
| 南洋文学の生成【研究叢書】         | 24, 60 |

— に —

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| 匂宮【青表紙本源氏物語】          | 64     |
| 西脇順三郎論【研究叢書】          | 24, 60 |
| 日記文学研究 第三集            | 14, 67 |
| 日本近代文学はアジアをどう描いたか【選書】 | 45, 69 |
| 日本語基幹構文の研究【研究叢書】      | 9, 61  |

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 日本古典文学読解考【研究叢書】       | 13, 60    |
| 日本古典文学の方法【研究叢書】       | 13, 60    |
| 日本古典 文・和歌・文章の構造       | 26, 66    |
| 日本語文法 応用編             | 9, 67     |
| 日本語リテラシー              | 33, 67    |
| 日本詩歌選〔改訂版〕【活字本テキスト】   | 26, 66    |
| 日本上代の神話伝承【研究叢書】       | 9, 59     |
| 日本書紀典拠論【研究叢書】         | 10, 61    |
| 日本文学研究のために——【活字本テキスト】 | 25, 66    |
| 日本文学検定公式問題集〔古典・近現代〕3級 | 26, 66    |
| 日本文学検定公式問題集〔古典〕2級     | 26, 66    |
| 日本文学検定公式問題集〔近現代〕2級    | 26, 66    |
| 作品中心 日本文学史【活字本テキスト】   | 25, 66    |
| 入門 平安文学の読み方【選書】       | 6, 35, 70 |

— の —

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 能のうた【選書】           | 41, 69 |
| 野上彌生子【女性作家評伝】      | 46, 68 |
| のたれ死にでもよいではないか【新書】 | 45, 70 |
| 野分【青表紙本源氏物語】       | 64     |

— は —

|                         |           |
|-------------------------|-----------|
| はじめて学ぶ仏教 インド・中国編        | 6, 51, 73 |
| 国文学研究資料館蔵 橋本本『源氏物語』「若紫」 | 28, 64    |
| 橘姫【青表紙本源氏物語】            | 64        |
| 橘姫・椎本【影印校注古典叢書】         | 29, 65    |
| 芭蕉 - 俳聖の実像を探る【新書】       | 43, 71    |
| 芭蕉・近松・西鶴【活字本テキスト】       | 32, 67    |
| 芭蕉の学力【選書】               | 43, 69    |
| 芭蕉の俳諧構成意識【研究叢書】         | 22, 61    |
| バタヴィアの貴婦人【新書】           | 50, 70    |
| 八犬伝・馬琴研究【研究叢書】          | 23, 59    |
| 初音【青表紙本源氏物語】            | 64        |
| 花散里【青表紙本源氏物語】           | 63        |
| 花宴【青表紙本源氏物語】            | 63        |
| 帚木【青表紙本源氏物語】            | 63        |
| 帚木【影印校注古典叢書】            | 28, 65    |
| 春のみやまち【影印校注古典叢書】        | 31, 65    |

— ひ —

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 東アジアの知 - 文化研究の軌跡と展望 -  | 49, 73 |
| 東アジアの文芸共和国【新書】         | 50, 71 |
| 光源氏とティータム【新書】          | 37, 71 |
| 光源氏と夕顔 - 身分違いの恋 - 【新書】 | 37, 70 |
| 肥後集全注釈【和歌文学注釈叢書】       | 15, 63 |
| 人と書と 歴史人の直筆            | 48, 72 |
| 人と書とⅡ 歴史人の直筆           | 48, 72 |
| 影印本 百人一首               | 31, 65 |
| 百人一首かるたの世界【新書】         | 41, 71 |
| 百人一首 (兼載筆)【影印校注古典叢書】   | 31, 65 |
| 百人一首を読み直す【選書】          | 41, 69 |
| 郷歌 - 注解と研究【選書】         | 34, 68 |
| 表象のトランス・ジェンダー          | 51, 73 |
| 平林たい子【女性作家評伝】          | 47, 68 |

— ふ —

|                  |           |
|------------------|-----------|
| 武器で読む八犬伝【新書】     | 44, 71    |
| 藤裏葉【青表紙本源氏物語】    | 64        |
| 藤袴【青表紙本源氏物語】     | 64        |
| 藤原俊成女【日本の作家】     | 40, 67    |
| 文学部のリアル、東アジアの人文学 | 51, 73    |
| 文芸史の可能性【研究叢書】    | 15, 60    |
| 文豪たちの「？」な言葉【新書】  | 45, 72    |
| 文豪だって漢詩をよんだ【新書】  | 45, 71    |
| 文豪の漢文旅日記【選書】     | 45, 69    |
| 文体再見【選書】         | 7, 52, 70 |
| 〔文法〕であじわう名文【新書】  | 52, 72    |
| 文明批評の系譜【選書】      | 48, 68    |

— へ —

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| 平安期日記の史的世界【研究叢書】    | 14, 59    |
| 平安時代語の仮名文研究【研究叢書】   | 13, 61    |
| 平安朝の文学と装束【研究叢書】     | 13, 61    |
| 平安文学 場と表現【研究叢書】     | 13, 58    |
| 屋代本・高野本 対照 平家物語 全三巻 | 31, 67    |
| 平家物語とその周辺【新書】       | 7, 39, 72 |

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 平家物語の死生学 - 上・下 - 【新書】 | …39, 71 |
| 変体がなで読む日本の古典          | …25, 64 |

— ほ —

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 大福光寺本 方丈記【影印校注古典叢書】 | …31, 65 |
| 校注 方丈記・徒然草          | …30, 66 |
| 方丈記と往生要集【選書】        | …40, 69 |
| 螢【青表紙本源氏物語】         | …64     |
| 本朝麗藻全注釈 全五巻【注釈叢書】   | …17, 63 |

— ま —

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 真木柱【青表紙本源氏物語】         | …64     |
| 真木柱・梅ヶ枝・藤裏葉【影印校注古典叢書】 | …29, 65 |
| 『枕草子』をどうぞ【選書】         | …36, 69 |
| 松井石根 アジア主義論集          | …24, 67 |
| 待つ女の悲劇【新書】            | …42, 70 |
| 松風【青表紙本源氏物語】          | …63     |
| 魔法少女まどか☆マギカ講義録【新書】    | …53, 72 |
| 幻【青表紙本源氏物語】           | …64     |
| 萬葉歌人の伝記と文芸【研究叢書】      | …10, 61 |
| 万葉 恋歌の装い【選書】          | …34, 68 |
| 万葉集からみる「世界」【新書】       | …34, 72 |
| 万葉集宮廷歌人全注釈【選書】        | …34, 68 |
| 校注 万葉集筑紫篇             | …26, 66 |
| 万葉集巻一・二【影印校注古典叢書】     | …26, 65 |
| 萬葉集名花百種鑑賞             | …34, 73 |
| 万葉集略解抄【影印本】           | …26, 64 |
| 万葉集を訓んだ人々【新書】         | …34, 71 |
| 影印本 万葉新採百首解           | …27, 64 |
| 萬葉の散歩みち - 上・下 - 【新書】  | …34, 70 |
| 萬葉の散歩みち - 続 - 【新書】    | …34, 72 |

— み —

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 澤標【青表紙本源氏物語】        | …63     |
| 澤標・蓬生・関屋【影印校注古典叢書】  | …29, 65 |
| 未刊 江戸歌舞伎年代記集成【研究叢書】 | …23, 61 |
| 三島由紀夫【日本の作家】        | …47, 67 |
| 三島由紀夫の源流【選書】        | …47, 70 |

|                             |            |
|-----------------------------|------------|
| 三島由紀夫『豊饒の海』VS 野間宏『青年の環』【選書】 | …47, 69    |
| 水鏡の成立と構造【研究叢書】              | …4, 20, 62 |
| 御法【青表紙本源氏物語】                | …64        |
| 宮古の神々と聖なる森【選書】              | …51, 69    |
| 宮崎駿が描いた少女たち【選書】             | …53, 70    |
| 新版 宮崎駿の地平【選書】               | …53, 70    |
| 行幸【青表紙本源氏物語】                | …64        |
| 民間説話と『宇治拾遺物語』【研究叢書】         | …4, 21, 62 |

— む —

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 昔男の青春【新書】         | …36, 71 |
| 向田邦子の思い込みトランプ【新書】 | …47, 72 |
| 向田邦子の比喩トランプ【新書】   | …47, 72 |
| 向田邦子文学論【選書】       | …47, 70 |
| 紫式部【日本の作家】        | …36, 67 |
| 校注 紫式部日記          | …29, 66 |
| 紫式部日記の世界へ【新書】     | …38, 71 |

— め —

|                  |         |
|------------------|---------|
| 明治、このフシギな時代【選書】  | …44, 70 |
| 明治、このフシギな時代2【選書】 | …44, 70 |
| 明治、このフシギな時代3【選書】 | …44, 70 |
| 女神たちの中世物語【新書】    | …39, 71 |

— も —

|                        |         |
|------------------------|---------|
| 毛髪で縫った曼荼羅【選書】          | …51, 68 |
| もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第1集 | …36, 73 |
| もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第2集 | …37, 73 |
| もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第3集 | …37, 73 |
| 元良親王集全注釈【和歌文学注釈叢書】     | …14, 63 |
| 物語展開と人物造型の論理【研究叢書】     | …16, 61 |
| 物語のいでき始めのおや【選書】        | …36, 69 |
| 物語の中の京都【新書】            | …39, 72 |
| 物語文学集攷【研究叢書】           | …18, 60 |
| 物語文学としての大鏡【研究叢書】       | …18, 59 |
| 物語文学の生成と展開【研究叢書】       | …14, 61 |
| 紅葉賀【青表紙本源氏物語】          | …63     |
| 紅葉賀・花宴・葵【影印校注古典叢書】     | …28, 65 |

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 根岸短歌会の証人 桃澤茂春【研究叢書】 | …23, 61 |
| 森嶋外 永遠の問いかけ【選書】     | …45, 69 |
| 森嶋外『舞姫』 本文と索引【研究叢書】 | …23, 61 |

— や —

|                     |            |
|---------------------|------------|
| 八百屋お七論【研究叢書】        | …5, 23, 62 |
| 宿木【青表紙本源氏物語】        | …64        |
| 山鹿文庫本発心集【研究叢書】      | …19, 61    |
| 山路の露・雲隠六帖【青表紙本源氏物語】 | …64        |
| 校注 大和物語             | …27, 66    |
| 大和物語文献集成【作品別研究文献】   | …14, 67    |
| 山部赤人と叙景【研究叢書】       | …10, 59    |

— ゆ —

|                |         |
|----------------|---------|
| 夕顔【青表紙本源氏物語】   | …63     |
| 夕霧【青表紙本源氏物語】   | …64     |
| ゆく河の水に流れて【選書】  | …48, 70 |
| 夢の浮橋【青表紙本源氏物語】 | …64     |

— よ —

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| 謡曲（能）文学論考【研究叢書】       | …20, 60    |
| 横笛【青表紙本源氏物語】          | …64        |
| 義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎【選書】    | …39, 69    |
| 吉本隆明初期詩篇論【研究叢書】       | …24, 60    |
| 蓬生【青表紙本源氏物語】          | …63        |
| 夜の海、永劫の海【新書】          | …49, 72    |
| 『夜の寝覚』から読む物語文学史【研究叢書】 | …3, 18, 62 |
| ヨーロッパ観光事情 まち歩きを楽しむ    | …49, 72    |

— り —

|                |         |
|----------------|---------|
| リアルなイーハトーヴ【選書】 | …46, 69 |
| 理性と平和          | …52, 73 |
| 琉球の恋歌【新書】      | …50, 71 |
| 柳宗元古文注釈【注釈叢書】  | …9, 63  |
| 良寛 - 文人の書 -    | …44, 72 |

— れ —

|              |         |
|--------------|---------|
| 冷泉為秀研究【研究叢書】 | …19, 60 |
|--------------|---------|

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 礼法を伝えた男たち【新書】      | …51, 71    |
| 「令和」から読む万葉集【新書】    | …7, 35, 72 |
| 影印本 連歌作品集          | …32, 65    |
| 連歌という文芸とその周辺【研究叢書】 | …19, 61    |
| 連句の世界【活字本テキスト】     | …32, 67    |

— わ —

|                        |         |
|------------------------|---------|
| 和歌構文論考【研究叢書】           | …9, 60  |
| 和歌的想像力と表現の射程【研究叢書】     | …19, 60 |
| 若菜上【青表紙本源氏物語】          | …64     |
| 若菜下【青表紙本源氏物語】          | …64     |
| 若紫【青表紙本源氏物語】           | …63     |
| 若紫・末摘花【影印校注古典叢書】       | …28, 65 |
| 和歌を力に生きる【新書】           | …38, 71 |
| 忘れられた作家・忘れられない作品       | …44, 73 |
| 〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉【新書】   | …42, 70 |
| 我を絵に看る - 芭蕉の甲斐行 - 【新書】 | …43, 71 |

— あ —

青木生子 ……26, 66  
赤木孝之 ……33, 67  
秋間康夫 ……55  
秋山虔 ……64  
秋山秀一 ……49, 72  
阿久澤忠 ……13, 61  
坪美奈子 ……13, 58, 59, 62  
浅川槿子 ……28, 64  
浅田徹 ……63  
麻原美子 ……31, 54, 67  
浅見和彦 ……30, 67  
安達太郎 ……51, 73  
阿部秋生 ……64  
阿部江美子 ……28, 64  
阿部一彦 ……22, 59  
阿部好臣 ……26  
安保博史 ……25, 66  
雨海博洋 ……56  
天野紀代子 ……16, 38, 59, 71  
天野文雄 ……30, 67  
有馬義貴 ……17, 60  
有吉保 ……28, 31, 65  
安藤亨子 ……28, 65

— い —

飯沼清子 ……17, 61  
伊井春樹 ……56  
猪狩友一 ……26  
井黒佳穂子 ……21, 60  
池田重 ……33, 67  
池田勉 ……64  
池田弥三郎 ……64  
池辺実 ……55  
石井文夫 ……14, 63  
石井龍太 ……50, 69  
石川徹 ……55, 63  
石川洋子 ……22, 61  
石黒吉次郎 ……20, 21, 32, 41,  
58, 60, 62, 65, 71  
石坂妙子 ……14, 56, 59

石田穰二 ……64  
石塚政吾 ……48, 73  
伊地知鉄男 ……25, 64  
石原清志 ……56  
伊勢光 ……3, 18, 62  
磯水絵 ……40, 73  
板垣俊一 ……53, 73  
市井外喜子 ……55, 57, 58  
一瀬幸子 ……31, 65  
井爪康之 ……29, 55, 65  
井手至 ……55, 57  
伊藤悦子 ……39, 73  
伊藤敬 ……55, 58  
伊藤剣 ……9, 59  
伊東玉美 ……39, 68  
伊藤鉄也 ……28, 36, 37, 64, 73  
伊藤博 ……29, 64  
伊藤守幸 ……17, 56, 60  
伊藤陽寿 ……50, 71  
伊藤善隆 ……32, 33, 67  
糸賀きみ江 ……26, 66  
稻賀敬二  
……35, 36, 57, 63, 67, 68  
乾裕幸 ……55  
犬養廉 ……28, 30, 31, 64, 65  
井上和人 ……32, 67  
井上啓治 ……56  
井上さやか ……10, 34, 59, 72  
井上隆明 ……54, 57  
井上隆史 ……26, 47, 67, 69  
井上宗雄 ……26, 66  
井上八雲 ……28, 64  
井上泰至 ……42, 70  
今井源衛 ……27, 64  
今泉忠義 ……64  
今井卓爾 ……63  
今成元昭 ……56  
今浜通隆 ……17, 18, 63  
李美淑 ……59  
岩坪健 ……35, 37, 71, 72  
岩淵宏子 ……68

— う —

上坂信男 ……56, 63  
上原作和 ……58  
上村悦子 ……63  
白田甚五郎 ……63  
内田美由紀 ……14, 60  
有働智実 ……6, 51, 73  
梅野きみ子 ……56

— え —

江口正弘 ……22, 31, 59, 63, 65  
江藤茂博 ……51, 73  
榎坂浩尚 ……56  
榎本正純 ……49, 71  
江本裕 ……58  
遠藤和夫 ……28, 65  
遠藤邦基 ……54

— お —

扇畑忠雄 ……32, 67  
大朝雄二 ……64  
大木正義 ……49, 55~58, 69  
大倉比呂志  
……18, 30, 31, 57, 60, 66  
大島龍彦  
……46, 53, 57, 59, 69, 73  
大島裕子 ……46, 71, 73  
大城悦子 ……22, 61  
太田敦子 ……16, 38, 60, 71  
太田昌孝 ……24, 60  
大妻女子大学国文学会  
……30~32, 66  
大伏春美 ……32, 46, 56, 65, 73  
大伏節子 ……46, 73  
大谷哲 ……24, 59  
大和博幸 ……23, 62  
大輪靖宏 ……42, 70  
岡一男 ……63  
岡崎和夫 ……46, 68  
尾形明子 ……47, 68  
岡田博子 ……56

岡野道夫 ……29, 65  
 岡本隆雄 ……42, 69  
 岡保生 ……54, 55  
 岡山典弘 ……47, 70  
 小木曾千代子 ……59  
 荻野恭茂 ……45, 68  
 奥出文子 ……28, 65  
 小倉肇 ……56  
 尾崎知光 ……9, 10, 60, 61  
 小沢正夫 ……55  
 小田剛 ……39, 40, 69, 73  
 小野恭靖  
 ……41, 42, 49, 68, 70, 71  
 小俣喜久雄 ……44, 71  
 小村宏史 ……9, 59

— か —

景山正隆 ……32, 33, 55, 65, 67  
 鋤武彦 ……19, 59  
 梶原正昭 ……57  
 片岡哲 ……56  
 片岡懋 ……54～56  
 片桐洋一 ……14, 27, 63, 64  
 片野達郎 ……32, 55, 67  
 片山ふゆき ……18, 62  
 勝倉壽一 ……4, 20, 62  
 勝山貴之 ……49, 70  
 加藤静子 ……18, 61  
 金井清光 ……55, 56  
 かな研究会 ……25, 64  
 金澤和美 ……10, 60  
 金木利憲 ……20, 61  
 釜田喜三郎 ……55  
 神尾暢子  
 ……30, 40, 54, 56～58, 65, 67  
 上島眞智子 ……5, 20, 62  
 上條彰次 ……55  
 紙宏行 ……18, 61  
 川上富吉  
 ……10, 26, 34, 61, 64, 73  
 川鍋義一 ……24, 60  
 川平ひとし ……32, 65  
 関西私家集研究会 ……14, 63  
 神作光一 ……28, 31, 64, 65  
 神田邦彦 ……19, 61

神田典城 ……10, 61

— き —

菊田茂男 ……64  
 菊池威雄  
 ……34, 40, 54, 57, 58, 68, 69  
 北原美紗子 ……56  
 岸上慎二 ……63  
 北島信一 ……50, 71  
 喜多義勇 ……64  
 木村正中 ……26, 66  
 京都橘大学日本語日本文学科  
 ……33, 67  
 京都仏教説話研究会 ……39, 70  
 雲英末雄 ……32, 65, 67

— く —

久喜の会 ……14, 63  
 久下晴康 ……28, 30, 54, 66, 67  
 久下裕利 ……55  
 日下幸男 ……57  
 くずし字研究会 ……25, 64  
 楠元六男 ……43, 55, 71  
 工藤浩 ……58  
 久保木哲夫 ……15, 63  
 久保木寿子 ……3, 14, 62  
 久保朝孝 ……37, 69  
 熊谷義隆 ……37, 71  
 熊本守雄 ……58  
 倉田実 ……54  
 倉橋正恵 ……23, 61  
 呉羽長 ……16, 60  
 桑原博史 ……30, 40, 64, 66, 67  
 桑原博行 ……23, 61

— け —

源氏物語を読む会  
 ……3, 16, 59, 60, 62

— こ —

小秋元段 ……20, 58, 61  
 小池章太郎 ……23, 61  
 小池博明 ……56  
 古池由美 ……57  
 小井土守敏 ……21, 61

基石雅利 ……26, 66  
 小内一明 ……31, 65  
 康林 ……58  
 小久保崇明  
 ……4, 18, 20, 30, 60, 62, 65  
 小財陽平 ……22, 61  
 小澤洋子 ……6, 37, 70  
 小島孝之 ……25, 30, 64, 67  
 古代中世文学論考刊行会  
 ……2, 11, 12, 62

古田島洋介  
 ……49, 51, 52, 67, 69～71  
 古典和歌研究会 ……26, 66  
 後藤康文 ……13, 60  
 小林一郎 ……45, 67  
 小林茂美 ……27, 65  
 小林裕子 ……46, 68  
 小林富久子 ……47, 68  
 小町谷照彦 ……27, 37, 66, 68  
 小松光三 ……9, 56, 67  
 小森潔 ……33, 67  
 小谷野純一  
 ……30, 38, 66, 68, 69, 71  
 小山利彦 ……29, 65  
 今栄蔵 ……55  
 近藤豊勝 ……55  
 今野厚子 ……58

— さ —

西條勉 ……35, 71  
 齊藤千恵 ……23, 61  
 佐伯雅子 ……17, 39, 59, 71  
 三枝和子 ……68  
 酒井敏 ……57  
 酒井茂幸 ……19, 21, 60, 61  
 坂口善保 ……58  
 阪倉篤義 ……64  
 坂卷甲太 ……55  
 桜井宏徳 ……18, 59, 61  
 桜井満 ……26, 65  
 桜井祐三 ……64  
 笹本正治 ……50, 70  
 佐藤恵里 ……57  
 佐藤勝明 ……32, 43, 65, 67, 73  
 佐藤勢紀子 ……15, 61

佐藤隆 .....9, 67  
佐藤智広 .....49, 72  
佐藤信雅 .....16, 61  
三野恵 .....42, 68

— し —

鹿野しのぶ .....19, 60  
繁田信一 .....38, 70  
柴田幸子 .....21, 60  
渋谷栄一 .....37, 70  
島内景二 .....55  
清水婦久子 .....37, 70  
清水文雄 .....63  
志水義夫  
.....35, 43, 52, 53, 69~72  
清水好子 .....64  
志村有弘 .....35, 45, 69, 70  
志村士郎 .....55, 57  
正道寺康子 .....58  
白井忠功 .....57  
白石広子 .....50, 70  
城崎陽子 .....34, 71  
信州平安文学研究会 .....13, 58  
新藤協三 .....58  
神保五彌 .....55

— す —

末澤明子 .....2, 13, 62  
陶智子 .....58  
杉崎重遠 .....54  
杉下元明 .....48, 71  
杉谷寿郎 .....14, 57, 63  
杉田昌彦 .....59  
杉本完治  
.....23, 26, 45, 61, 66, 69  
杉森暢男 .....55  
杉山重行 .....54  
鈴木一雄 .....29, 64  
鈴木啓吾 .....7, 41, 69, 70  
鈴木堅弘 .....23, 61  
鈴木淳 .....27, 64  
鈴木武晴 .....46, 69  
鈴木知太郎 .....63  
鈴木俊幸 .....22, 60  
鈴木元 .....41, 56, 72

鈴木久 .....40, 69  
鈴木宏昌 .....59  
鈴木啓之 .....10, 59  
鈴木泰恵 .....31, 66  
須田喜代次 .....55  
須藤圭 .....18, 60  
諏訪春雄 .....50, 70

— せ —

瀬川拓郎 .....50, 72  
妹尾好信 .....15, 36, 57, 62, 71

— そ —

曾沢太吉 .....63  
孫久富 .....55, 56, 58

— た —

高木浩明 .....20, 59  
高崎正秀 .....63  
高橋和夫 .....64  
高橋正治 .....64  
高橋忠彦 .....21, 60, 62  
高橋久子 .....21, 60, 62  
高橋博巳 .....50, 71  
高橋文二 .....56  
高松寿夫 .....58  
田口章子 .....43, 51, 69, 70  
武井和人 .....19, 61  
竹内正彦 .....58  
竹尾利夫 .....25, 66  
竹下豊 .....63  
竹下義人 .....32, 67  
竹田晃 .....9, 63  
竹野静雄 .....42, 54, 68  
武山隆昭 .....29, 65  
田代圭一 .....25, 48, 64, 72  
橘誠 .....28, 65  
橘りつ .....27, 65  
辰巳正明 .....6, 7, 26, 27, 34, 35,  
66, 68, 71~73  
田中康二 .....44, 69  
田中徳定 .....39, 58, 69  
田中裕 .....31, 65  
田中善信 .....22, 43, 54, 59, 63,  
68, 69, 71, 73

谷知子 .....63  
谷口基 .....59  
谷地快一 .....32, 58, 67  
谷脇理史  
.....32, 42, 54, 57, 67, 73  
玉上琢弥 .....63  
田村柳壺 .....30, 67  
多屋頼俊 .....64

— ち —

崔吉城 .....51, 73

— つ —

塚原鉄雄 .....25, 30, 54, 55, 57~  
59, 65, 66  
辻和良 .....15, 59  
津田大樹 .....10, 61  
土屋忍 .....24, 60  
堤和博 .....38, 71  
堤康夫 .....17, 57, 59  
津本信博 .....22, 23, 58, 60, 61

— て —

デートレフ・ティール  
.....52, 73  
寺本直彦 .....63

— と —

戸谷高明 .....54, 57  
外山敦子 .....58

— な —

中井賢一 .....16, 61  
永井義憲 .....54  
中川桂 .....44, 69  
長崎健 .....30, 31, 65, 66  
中沢けい .....68  
長島弘明 .....26  
中路基夫 .....59  
中城さと子 .....58  
中田節 .....51, 69  
中田剛直 .....64  
中田武司 .....28, 29, 64, 65  
中田雅敏 .....8, 44, 52, 73  
仲田庸幸 .....64

中西健治 ……17, 60  
 中西進 ……34, 49, 68, 73  
 中西智子 ……15, 62  
 長沼英二 ……55  
 長野一雄 ……58  
 中野猛 ……56  
 中畑充弘 ……51, 69  
 中哲裕 ……57  
 永藤靖 ……56  
 中村博雄 ……52, 73  
 中村幸弘 ……9, 26, 60, 66  
 中本真人 ……19, 38, 60, 72  
 中山和子 ……47, 68  
 名木橋忠大 ……23, 60  
 並木宏衛 ……26, 65  
 南波浩 ……64

— ㇿ —

西沢正二 ……32, 65  
 西田禎元 ……3, 15, 62  
 西原志保 ……37, 72  
 二松學舎大学文学部国文学科  
 ……48, 72  
 日記文学研究会 ……14, 67  
 仁平道明 ……17, 59  
 日本文学検定委員会 ……26, 66  
 丹羽みさと ……5, 23, 62

— ㇽ —

野口元大 ……29, 64, 65  
 野田千平 ……55  
 野田浩子 ……56  
 野村幸一郎 ……24, 45, 48, 51,  
 53, 67, 69, 70, 72, 73  
 野村貴次 ……54

— ㇾ —

萩谷朴 ……27, 29, 64, 66  
 迫徹朗 ……64  
 橋本不美男 ……31, 64, 65  
 長谷章久 ……64  
 長谷川啓 ……68  
 長谷川端 ……55, 58  
 畑恵里子 ……14, 59  
 畠山大二郎 ……13, 61

服部旦 ……54  
 花田富二夫 ……58  
 濱口博章 ……26, 34, 54, 66, 68  
 濱田敦 ……55, 57  
 濱田浩一郎 ……40, 72  
 濱田寛 ……17, 63  
 濱中修  
 ……7, 25, 39, 56, 66, 71, 72  
 林久美子 ……51, 73  
 林田正男 ……26, 54, 66  
 原國人  
 ……36, 45, 47, 56, 57, 69, 73  
 原田香織 ……41, 72  
 原豊二 ……16, 60  
 原楨子 ……13, 36, 60, 69  
 針原孝之 ……9, 59  
 播本眞一 ……23, 59  
 春田宣 ……31, 67  
 ハルトムート・ゲールケン  
 ……52, 73  
 半沢幹一 ……7, 47, 52, 70, 72  
 半田公平 ……58  
 半藤英明 ……9, 58, 61

— ㇿ —

日沖敦子 ……51, 68  
 東原伸明 ……57  
 人見千佐子 ……46, 69  
 日向一雅 ……54  
 平井芽阿里 ……51, 69  
 平田澄子 ……59  
 平田英夫 ……19, 60  
 平田喜信 ……29, 55, 57, 65  
 廣岡義隆 ……34, 70, 72  
 廣川晶輝 ……34, 70  
 廣川勝美 ……56  
 廣木一人 ……19, 32, 58, 61, 65  
 廣田收 ……4, 13, 21, 36, 39, 49,  
 60, 62, 69~71  
 邊恩田 ……5, 22, 62

— ㇽ —

深澤邦弘 ……53, 58, 73  
 深沢徹 ……38, 71  
 福寛美

…8, 39, 49, 50, 53, 70~73  
 藤岡忠美 ……63  
 藤澤友祥 ……10, 61  
 藤平春男 ……26, 66  
 藤本宗利 ……36, 67, 69  
 藤原マリ子 ……57  
 二又淳 ……32, 67  
 古屋明子 ……15, 61

— ㇾ —

平安私家集研究会 ……15, 63

— ㇿ —

保科恵 ……6, 35, 56, 70  
 星野五彦 ……55  
 堀切実 ……42, 70  
 堀口悟 ……30, 66  
 本宮洋幸 ……15, 62  
 本間洋一 ……25, 32, 66, 67

— ま —

前田雅之 ……60  
 増田繁夫 ……35, 67  
 増田みず子 ……68  
 松尾葦江 ……31, 67  
 松尾聡 ……63  
 松崎仁 ……32, 67  
 松園宣郎 ……55  
 松田存 ……20, 21, 60, 61  
 松野彩 ……15, 61  
 松村博司 ……63  
 松村雄二 ……31, 66  
 松本直樹 ……26, 58  
 松本治久 ……57  
 松本弘毅 ……10, 59  
 松本寧至 ……57  
 丸山茂 ……56  
 萬羽啓吾 ……44, 72

— み —

三瓶達司 ……54, 56  
 水田宗子 ……68  
 水原一 ……56  
 光延真哉 ……23, 61  
 峯岸義秋 ……32, 67

美夫君志会 ……57, 59  
 三村晃功 ……40, 41, 68, 69  
 宮岡薫 ……54  
 宮尾與男 ……43, 72  
 宮川葉子 ……58  
 宮崎莊平 ……13, 14, 36, 46, 53,  
 59, 61, 68, 71, 73  
 宮崎裕子 ……4, 20, 60, 62  
 宮脇真彦 ……32, 67

— む —

向田邦子研究会 ……47, 70  
 村井順 ……64  
 村尾誠一 ……40, 67  
 村瀬敏夫 ……56

— め —

目加田さくを ……64

— も —

馬上駿兵 ……45, 52, 72  
 元吉進 ……28, 67  
 桃澤匡行 ……23, 61  
 森岡常夫 ……63  
 森岡ゆかり ……45, 69, 71  
 森修 ……33, 65  
 森田喜郎 ……56  
 森野正弘 ……16, 60

森本元子 ……26, 29, 54, 65, 66  
 守屋省吾 ……29, 54, 57, 65  
 両角倉一 ……57

— や —

安川定男 ……64  
 矢内賢二 ……44, 70  
 柳澤浩哉 ……45, 69  
 柳澤良一 ……18, 63  
 柳田忠則 ……14, 27, 61, 66, 67  
 藪禎子 ……46, 68  
 山岡敬和 ……21, 48, 60, 70  
 山上義実 ……2, 15, 62  
 山岸徳平 ……25, 27, 28, 63～66  
 山崎かおり ……10, 60  
 山田純 ……10, 61  
 山田利博 ……35, 38, 58, 71, 72  
 山田直巳 ……55, 57  
 山田永 ……57  
 山中悠希 ……25, 64  
 山本英二 ……22, 60  
 山本啓介 ……19, 59  
 山本順子 ……52, 73

— ゆ —

湯浅幸代 ……16, 61  
 湯澤賢之助 ……57  
 由里幸子 ……47, 68

— よ —

吉江久彌 ……54  
 吉岡曠 ……64  
 吉海直人 ……36, 41, 42, 68～71  
 吉川発輝 ……55  
 吉田弥生 ……42, 71  
 吉田唯 ……5, 21, 62  
 吉成直樹 ……44, 70  
 吉丸雄哉 ……23, 44, 59, 71  
 吉村誠 ……27, 64

— り —

林叢 ……55

— わ —

鷲山茂雄 ……37, 70  
 和田琢磨 ……20, 25, 26, 61, 64  
 渡辺静子 ……31, 54, 65  
 渡邊澄子 ……68  
 渡辺信和 ……59  
 渡辺仁史 ……15, 60  
 渡辺善雄 ……58  
 綿拔豊昭 ……51, 57, 71  
 和田正美 ……48, 68  
 和田律子 ……59

## 新典社常備店一覧

\*小社の出版物は、下記書店のご協力により、店頭でご覧になれます。もし、ない場合には、全国どちらの書店からでもご注文いただけますので、書名・シリーズ名・巻数などを書店員にお伝え下さい。

### 【北海道】

札幌市 コーチャンフォー新川通り店  
札幌市 紀伊國屋書店札幌本店  
札幌市 MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店  
函館市 文教堂書店函館テオー店

渋谷区 MARUZEN&ジュンク堂書店渋谷店  
世田谷区 富山房インターナショナル日本大学文理学部売店  
豊島区 ジュンク堂書店池袋本店  
立川市 ジュンク堂書店立川高島屋店  
稲城市 コーチャンフォー若葉台店

### 【宮城県】

仙台市 ジュンク堂書店仙台TR店

### 【神奈川県】

横浜市 有隣堂伊勢佐木町本店  
藤沢市 ジュンク堂書店藤沢店

### 【福島県】

郡山市 ジュンク堂書店郡山店

### 【新潟県】

長岡市 宮脇書店長岡店  
新潟市 ジュンク堂書店新潟店

### 【栃木県】

宇都宮市 落合書店宝木店

### 【富山県】

富山市 文苑堂書店富山豊田店

【群馬県】  
高崎市 ブックマンズアカデミー高崎店  
前橋市 ブックマンズアカデミー前橋店  
太田市 ブックマンズアカデミー太田店

### 【福井県】

福井市 勝木書店SuperKaBoS新二の宮店

### 【茨城県】

ひたちなか市 蔦屋書店ひたちなか店

### 【山梨県】

都留市 都留文科大学学生協書籍部

### 【埼玉県】

さいたま市 押田謙文堂本店  
さいたま市 ジュンク堂書店大宮高島屋店

### 【長野県】

松本市 丸善松本店

### 【千葉県】

印西市 喜久屋書店千葉ニュータウン店  
習志野市 丸善津田沼店  
柏市 KaBoSららぽーと柏の葉店

### 【岐阜県】

大垣市 ACADEMIA大垣店

### 【愛知県】

名古屋市 丸善名古屋本店

### 【東京都】

千代田区 丸善丸の内本店  
千代田区 三省堂書店神保町本店  
港区 文教堂赤坂店

### 【三重県】

四日市市 宮脇書店四日市本店

【大 阪 府】

大 阪 市 ジュンク堂書店大阪本店  
大 阪 市 MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店  
大 阪 市 ジュンク堂書店天満橋店  
大 阪 市 ジュンク堂書店難波店

【兵 庫 県】

神 戸 市 ジュンク堂書店三宮店  
神 戸 市 喜久屋書店神戸南店  
姫 路 市 ジュンク堂書店姫路店  
明 石 市 ジュンク堂書店明石店

【岡 山 県】

倉 敷 市 喜久屋書店倉敷店

【広 島 県】

福 山 市 啓文社ポートプラザ店  
広 島 市 丸善広島店  
広 島 市 フタバ図書MEGA中筋店  
安 芸 郡 フタバ図書TERA広島府中店

【香 川 県】

高 松 市 宮脇書店本店  
高 松 市 ジュンク堂書店高松店  
高 松 市 宮脇書店総本店

【福 岡 県】

北九州市 喜久屋書店小倉店  
福 岡 市 丸善博多店

【大 分 県】

大 分 市 ジュンク堂書店大分店